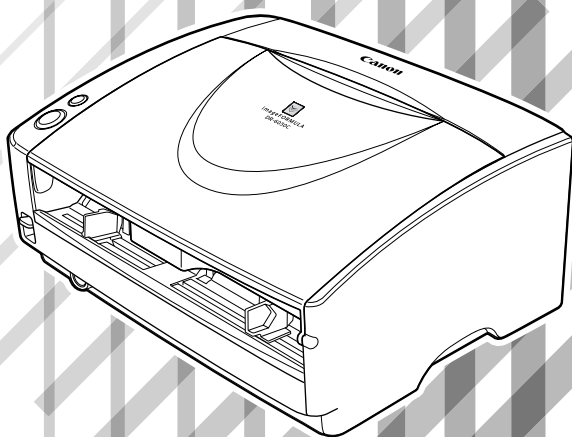


Canon

ドキュメントスキャナ

DR-6030C

ユーザーズガイド



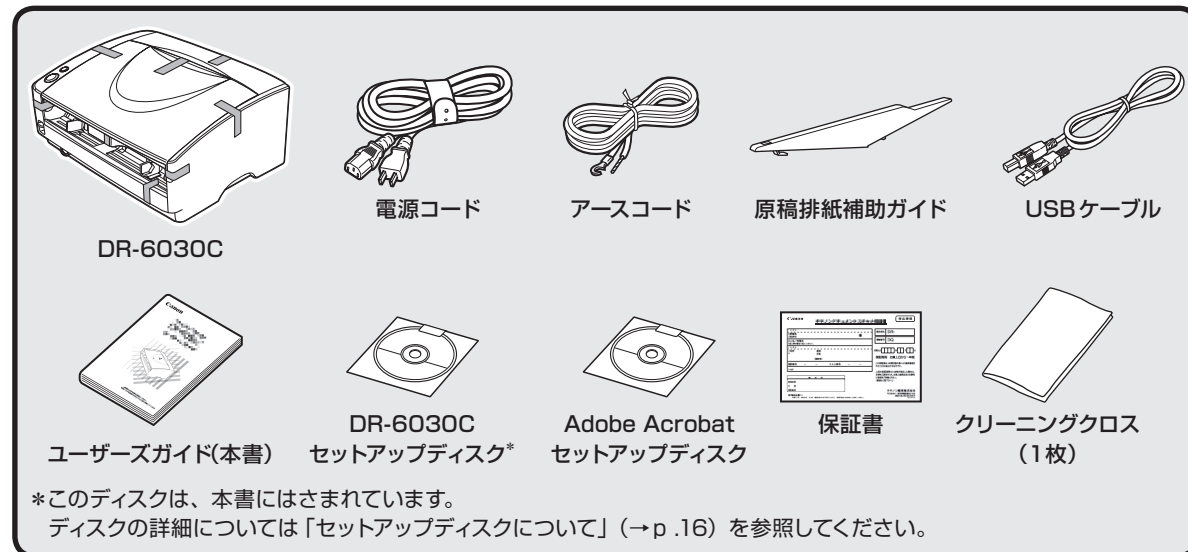
ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

DR-6030C 簡単スタートガイド 最初にお読みください

ここでは、本機をご使用いただくためのセットアップ手順について説明しています。本機の使用方法についてはP.11ページ以降の本編をよくお読みください。

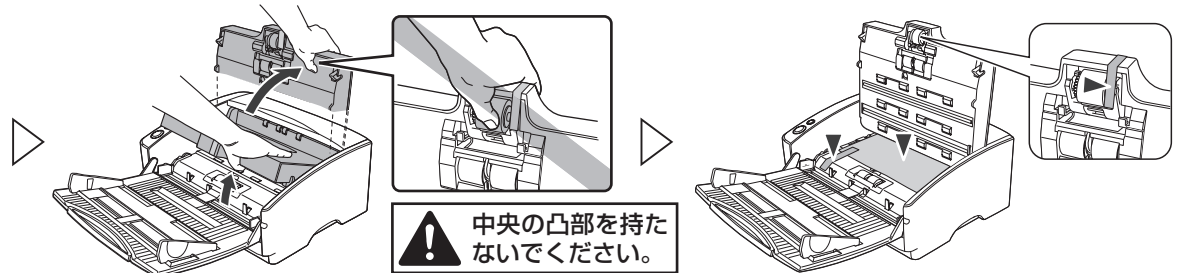
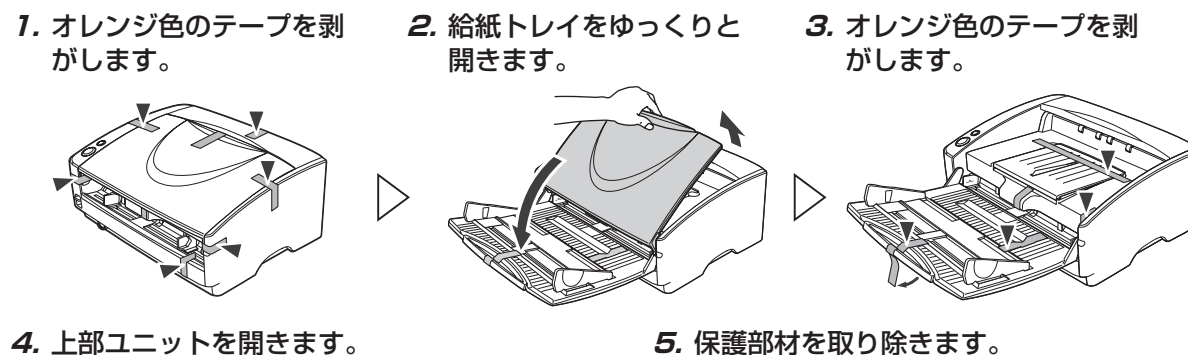
STEP 1 同梱品の確認

万一、不足品や損傷品がある場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
また、梱包箱および梱包材は本機の保管や輸送の際に必要ですので、捨てずに保管してください。
なお、同梱品は予告なく変更されることがあります。

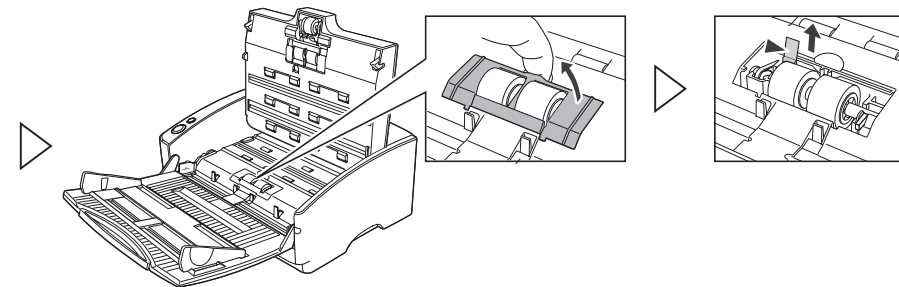


STEP 2 保護部材の取り外し

本体に貼られているオレンジ色のテープと保護部材をすべて取り除きます。すべて取り除いたあとは、カバーやユニットを元の位置に戻してください。



6. ローラカバーを取り外し、保護部材を取り除きます。



STEP 3 ソフトウェアのインストール

本機を使用するためのドライバ「DR-6030C ドライバ」と、スキャニングアプリケーション「CapturePerfect3.0」をコンピュータにインストールします。

!

- WindowsにはAdministrator権限のアカウントでログインしてください。
- ソフトウェアをインストールする前に他のアプリケーションはすべて終了させてください。

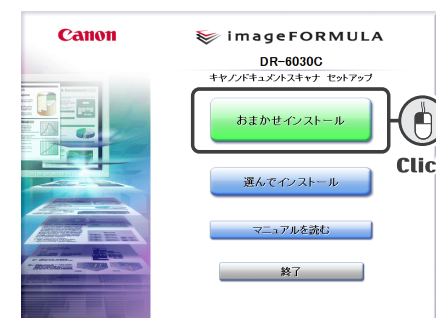
7. DR-6030CセットアップディスクをコンピュータのCDドライブにセットします。

CD-ROMをセットすると自動的にセットアップウィンドウが起動します。起動しないときは、CD-ROM内のsetup.exeを実行してください。

! Windows Vistaをお使いの場合

右の画面が表示された場合、Administrator権限でログインしているユーザーのパスワードを入力して[OK]をクリックしてください。

2. [おまかせインストール] から、画面に従ってインストールします。



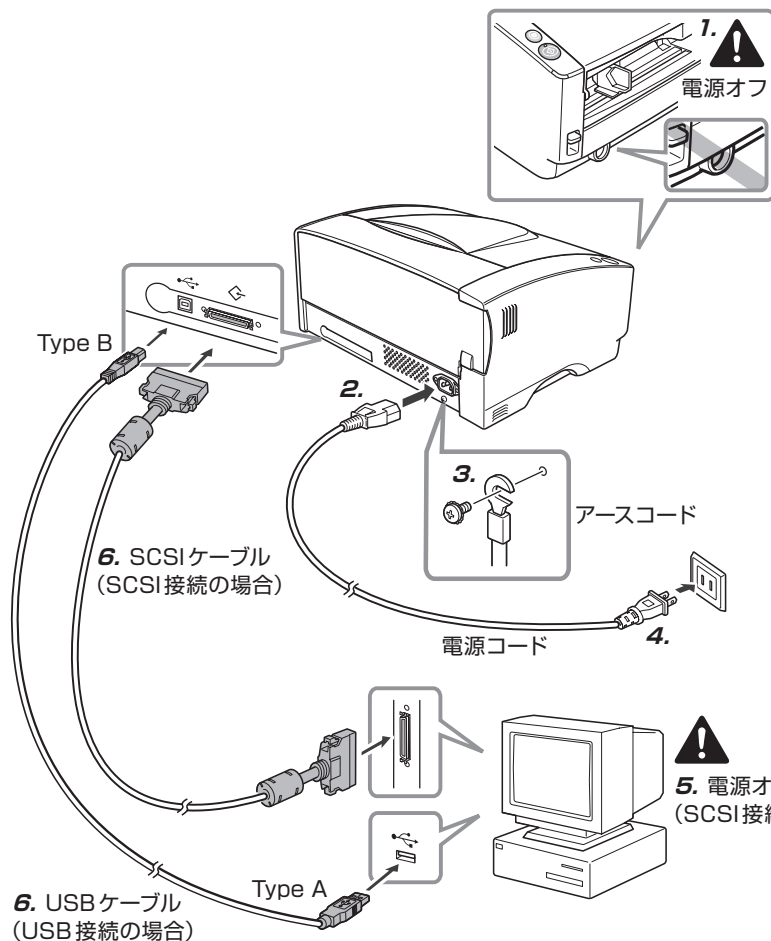
3. インストール後は[終了]をクリックし、インストール完了画面を閉じます。



STEP 4 コンピュータとの接続

下の1～6の手順で接続します。本機とコンピュータを接続する方法は2種類あります。お使いのコンピュータの環境にあわせて接続方法を選択してください。

- 「USB接続」…コンピュータに標準装備されているUSBポートを使用する
- 「SCSI接続」…コンピュータの拡張スロットにSCSIカードを装着して使用する



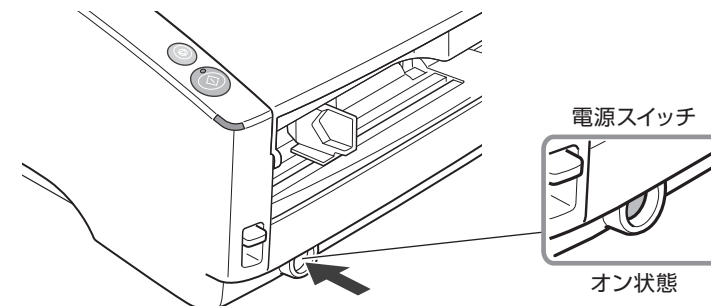
1. **▲**本機の電源スイッチをオフにします。
2. 電源コードを本体の電源コネクタに差し込みます。
3. アースコードを本体のアース端子に接続します。
4. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
5. **▲**コンピュータの電源をオフにします。(SCSI接続の場合)
6. USBケーブル、またはSCSIケーブルをコンピュータに接続します。

5. 電源オフ
(SCSI接続の場合)

STEP 5 電源のオン(スキャナの認識)

本機の電源をオンにするとWindowsが本機を認識し、ドライバのインストールを自動で行います。

1. 本機とコンピュータの接続を確認します。
2. 本機の電源をオンにします。
3. コンピュータの電源をオンにします。(SCSIの場合)
4. Windowsが本機を認識し、インストールを自動で行ない、完了します。



- ❗
- ❑ SCSIケーブルで接続している場合は、必ずスキャナ→コンピュータの順に電源をオンにしてください。コンピュータの電源を先にオンにするとスキャナを正常に認識できない場合があります。
- ❑ Windowsには Administrator 権限のアカウントでログインしてください。
- ❑ 本機の電源をオフし、再度電源をオンするときには10秒以上待ってください。

- 📄
- インストールが完了するとバルーンヘルプにインストール完了のメッセージが表示されます。
- DR-6030Cは、[デバイスマネージャ]の[イメージングデバイス]に[CANON DR-6030C USB] (または、[CANON DR-6030C SCSI])の名称で登録されます。

STEP 6 スキャナを選択

スキャンを行う前に、Step3でインストールした「CapturePerfect3.0」または、ISIS/TWAIN互換アプリケーションで本機を選択しておきます。

「CapturePerfect3.0」で本機を選択する場合は、本編のP.30ページを参照してください。

他のアプリケーションをお使いの場合は、お使いのアプリケーションのマニュアルを参照して本機を選択してください。

- ❗
- ❑ 「USB接続」と、「SCSI接続」は同時に行わないでください。
- ❑ 電源コード、アースコードは必ず同梱品をお使いください。
- ❑ SCSIケーブルは同梱されていません。本機とSCSIカードのコネクタ形状にあったSCSIケーブルをご用意ください。
- ❑ アースコードを接続する際は、絶対にガス管や水道管には接続しないでください。本機を使用する際、引火や爆発および感電する恐れがあります。
- ❑ 本機を他のSCSI機器とディジーチェーン接続で使用する場合、以下の点に注意してください。
 - SCSI IDは、工場出荷時に「SCSI ID=2」に設定されています。他のSCSI機器とSCSI IDが重複しないようにディップスイッチを設定してください。
 - 本機はターミネータを内蔵し、「ON」に固定されています。他のSCSI機器とディジーチェーン接続で使用する場合は、必ず本機が終端になるように接続し、他のSCSI機器のターミネータはすべて「OFF」にしてください。

出荷時の状態(SCSI ID=2)

SCSI ID	SW1	SW2
2	OFF	OFF
3	ON	OFF
4	OFF	ON
5	ON	ON

セットアップが完了しました

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機およびスキャナ等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

■ ご注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- ・ 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

■ 商標および登録商標について

- ・ Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標です。
- ・ Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe PDF ロゴ および Adobe Reader は、Adobe System Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・ ISIS は、EMC Corporation. の米国における商標です。
- ・ その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品に適合しています。

ソフトウェア製品のパッケージ開封前に必ずお読みください。

このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

弊社では、弊社のハードウェア製品と同梱のソフトウェア製品につきましては、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書を設けさせていただいており、お客様が下記契約書にご同意いただいた場合のみソフトウェア製品をご使用させていただいております。お手数ではございますが、本ソフトウェア製品のパッケージの開封前に下記契約書を十分にお読みください。下記契約にご同意いただけない場合には、本ソフトウェア製品を未開封のまま速やかに他の未使用の同梱製品とともにご購入いただいた販売店にご返却ください。この場合、お支払い済の代金をお返し致します。

なお、本ソフトウェア製品のパッケージを開封された場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キャノン電子株式会社（以下キャノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供するソフトウェア製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾プログラム」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾プログラム」およびその複製物に関する権利はその内容によりキャノンまたはキャノンのライセンサーに帰属します。

1. 使用許諾

- (1) お客様は、機械読取形態の「許諾プログラム」を一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾プログラム」を使用したり、また「許諾プログラム」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキャノンからその使用権を取得することが必要です。
- (2) お客様は、「許諾プログラム」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。
- (3) お客様は、本契約に特に定められている場合を除き、「許諾プログラム」の全部または一部を複製、翻訳、他のプログラム言語への変換、修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また、第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2. 「許諾プログラム」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムを1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムをお客様がご使用のコンピュータのハードディスクなどの記憶装置1台のみにコピーすることができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾プログラム」を複製できません。お客様は、「許諾プログラム」の複製物に含まれる著作権表示を改変あるいは除去してはなりません。

3. 保証

キャノンは、お客様が「許諾プログラム」を購入した日から90日の間、通常の使用状態にて、「許諾プログラム」が格納されている「プログラムディスク」に物理的な欠陥がないことを保証します。この保証は、「プログラムディスク」の欠陥が「許諾プログラム」の事故あるいは誤用による場合には適用しないものとします。この保証は、「許諾プログラム」に関するキャノンの保証のすべてであり、お客様ご自身に対してのみ保証いたします。

4. サポートおよびアップデート

キャノンおよび販売店は、「許諾プログラム」のメンテナンスおよびその使用についての援助を行わないものとします。「許諾プログラム」のアップデート、修理、およびサポートも行いません。

5. 保証の否認・免責

- (1) 第3項に定める場合を除き、キャノンおよび販売店は、「許諾プログラム」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾プログラム」にバグがないこと、その他「許諾プログラム」に関していかなる保証もいたしません。
- (2) キャノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾プログラム」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

6. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾プログラム」を直接または間接に輸出してはなりません。

7. 契約期間

- (1) 本契約は、お客様が「許諾プログラム」のパッケージを開封した時点で発効します。
- (2) お客様は、キヤノンに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
- (3) お客様は、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去することにより本契約を終了させることができます。
- (4) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
- (5) 本契約は、上記(2)、(3)または(4)により終了するまで有効に存続します。上記(2)、(3)または(4)により本契約が終了した場合、キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾プログラム」の代金の返還をキヤノンおよび販売店に請求できません。
- (6) お客様には、本契約の終了後2週間以内に、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

8. 一般条項

- (1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
- (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

9. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE:

The SOFTWARE is provided with RESTRICTED RIGHTS. Use, duplication or disclosure is subject to restrictions as set forth in either subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software Clause at DFARs 252.227-7013 or subparagraph (c) (1) and (2) of the Commercial Computer Software Restricted Rights Clause at FAR 52.227-19, as applicable.

10. 完全合意

本契約は「許諾プログラム」の使用に関して当事者間の合意のすべてを構成するものであり、当該事項に関する書面または口頭によるすべての事前および同時発生を理解や合意に優先します。本契約のいかなる修正や変更も書面によってなされ、正式に権限を授与されたキヤノンの代表者によってかかる書面に署名された場合のみ発効するものとします。

以上

キヤノン電子株式会社

はじめに

このたびはキヤノン DR-6030C スキャナをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みいただくとともに、お読みになったあとは必ず保管してください。

マニュアルの構成について

DR-6030C スキャナのマニュアルは、「ユーザーズガイド（本書）」の同梱マニュアルと、「CapturePerfect 操作ガイド」、「オンラインヘルプ」の電子マニュアルの構成になっています。

同梱品の確認からソフトウェアのインストール、コンピュータとの接続など、スキャナのセットアップについては本書に折り込みの「簡単スタートガイド」、スキャナの準備からスキャンなど、スキャナの取り扱いについては「ユーザーズガイド」を参照してください。

DR-6030C には以下のマニュアルが同梱またはインストールされます。
DR-6030C をお使いになる前に必ずお読みください。

簡単スタートガイド（本書に折り込まれています）

DR-6030C を箱から取り出してからスキャンを行なうまでのセットアップの手順について書かれています。

ユーザーズガイド（本書）

DR-6030C の取り扱いからソフトウェアの設定、メンテナンス、困った時のトラブルシューティングなどについて書かれています。

Captuerperfect 操作ガイド（電子マニュアル）

Captuerperfect の操作マニュアルです。CaptuerPerfect のインストールと同時に操作ガイドもコンピュータにインストールされます。（→ P.32）

本書内の表記について

ここでは、本書で使用している記号・表示について説明します。本書をお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P.12)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



お願い

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



メモ

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

目次

簡単スタートガイド	折り込み
はじめに	1
マニュアルの構成について	1
本書内の表記について	2
第1章 お使いになる前に	5
1. 安全にお使いいただくために	6
設置場所について	6
電源について	7
スキャナの移動	7
日常の取り扱いについて	8
廃棄について	9
2. DR-6030C の特長	10
3. 各部の名称と機能	12
4. 動作環境の確認	14
5. セットアップディスクについて	16
第2章 スキャナの使用法	17
1. 原稿について	18
2. 準備	20
給紙トレイの準備	20
排紙トレイの準備	21
原稿排紙補助ガイドの取付け	23
3. 原稿のセット	25
分離給紙の手順	25
非分離給紙の手順	28
4. スキャン方法	30
CapturePerfect について	30
スタートキーによる CapturePerfect3.0 の起動	36
Adobe Acrobat9.0 をお使いになる前に	40
5. パッチコードシートの利用	42
パッチコードシートについて	42
パッチコードパターンの機能	43
パッチコードシートの使い方	43
6. 紙詰まりの処理	45
7. その他の機能	48
重送検知機能	48
斜行検知機能	48
長尺モード	49
スタンバイモードの設定	52
マルチストリーム機能	53

第3章 ソフトウェアの設定	55
1. ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス	56
「基本」タブ	57
「明るさ」タブ	66
「画像処理」タブ	69
「その他」タブ	71
「アドオン」ダイアログボックス	75
2. こんなときは	83
両面原稿の読み取り	83
非定形サイズ原稿の読み取り	83
読み取り領域の調整	84
複数原稿の読み取り	85
スキャンするときの画像の調整	86
プレスキャン	89
設定の登録	89
第4章 付 録	91
1. 日常のお手入れ	92
本体の清掃	92
搬送路の清掃	92
読み取りガラスとローラの清掃	93
シェーディング板の清掃	96
2. ローラの取り外し / 取り付け	98
ローラの交換時期	98
カウンタのリセット	99
ピックアップローラの取り外し / 取り付け	102
フィードローラの取り外し / 取り付け	105
リタードローラの取り外し / 取り付け	108
3. 困ったときは	112
4. ソフトウェアのアンインストール	120
5. 仕様	123
本体仕様	123
交換部品	125
別売品	125
外形寸法図	126
保証とアフターサービス	127
サービス&サポートのご案内	128
保守サービスのご案内	129
アドビシステムズ社製品について	130
索引	132

第 1 章 お使いになる前に

1. 安全にお使いいただくために	6
設置場所について	6
電源について	7
スキャナの移動	7
日常の取り扱いについて	8
廃棄について	9
2. DR-6030C の特長	10
3. 各部の名称と機能	12
4. 動作環境の確認	14
5. セットアップディスクについて	16

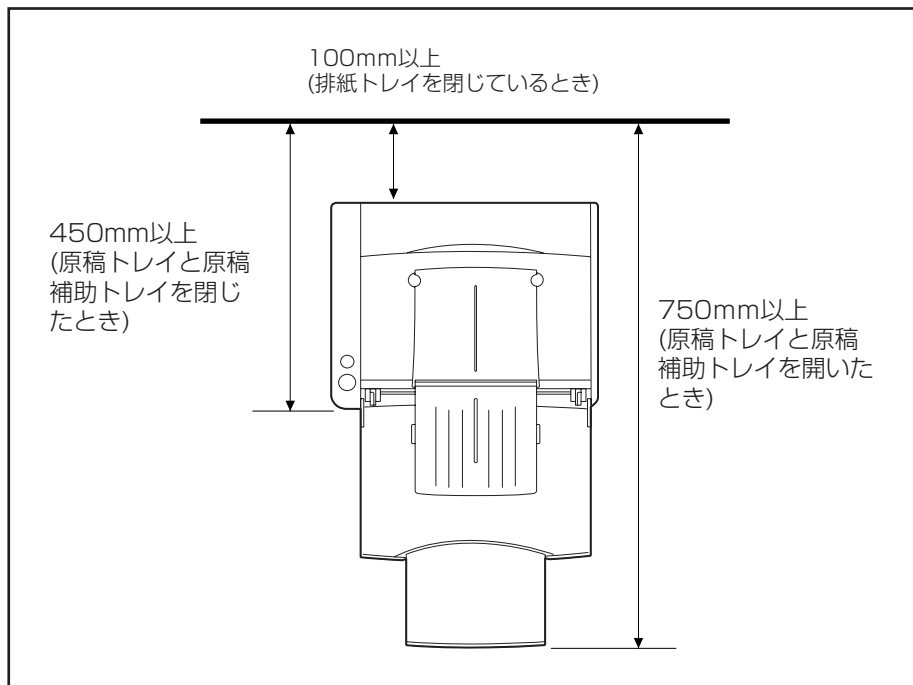
1. 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

設置場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が、次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



- 読み取った原稿を本機の後方に排紙する場合、本機の後方に原稿を排紙するためのスペースを十分確保してください。(→ P.21 「排紙トレイの準備」)
- 直射日光の当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。

- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。

室温 10℃—32.5℃
湿度 20%—80%RH

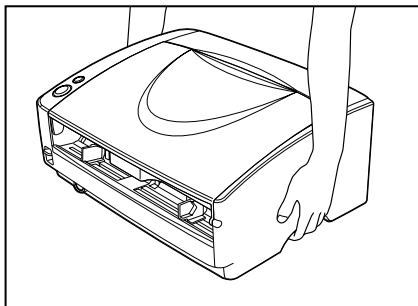
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気を発生する機器の近くは避けてください。

電源について

- 電源は必ず100Vのコンセントからとってください。
- AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- 電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。
- 安全のため、必ずアース線を接続してください。アース線は絶対にガス管や水道管には接続しないでください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

スキャナの移動

- スキャナを移動する場合は、本体を落とさないように必ず両手でしっかり持ってください。スキャナ本体の質量は約10.2kgです。



- スキャナを移動する場合は、インタフェースケーブルや電源コードを必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷することがあります。

日常の取り扱いについて



警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
- 本機の分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一本機が破損した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- **心臓ペースメーカーをお使いの方へ**
本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師に相談してください。

**注意**

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 通気孔をふさがないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 本機の上には、クリップ、ステイプルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間で使用にならないときは、安全のため、必ずACアダプタのプラグを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などにご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源スイッチを切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄について

- 本機を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するかお買い求めの販売店にご相談ください。

2. DR-6030C の特長

DR-6030C の主な特長は以下のとおりです。

- **高速原稿給紙**
小型ながら名刺サイズから A3 までの原稿を最大 60 枚 / 分で読み取ります。
(読取条件：白黒 / A4 縦 / 両面 / 200dpi)
- **USB/SCSI インタフェース対応**
コンピュータに標準搭載されている USB インタフェースおよび、拡張 SCSI カードに対応しています。(→ P.14 「動作環境の確認」)
- **カラー / グレースケール対応**
原稿を 24 ビットカラーや 256 階調グレースケールで読み取ることができます。
- **多様な読み取りモードをサポート**
原稿の種類によって以下のような様々な読み取りモードに対応しています。
 - 片面または両面モード
 - 連続または手差し給紙
- **前面給排紙 (U ターンパス)**
原稿の給紙と排紙を前面で行います。(→ P.21 「排紙トレイの準備」)
- **後方排紙 (ストレートパス)**
背面にある排紙トレイを開くことにより、原稿が後方に排紙されます。ただし、排紙された原稿の順番は、給紙したときの逆になります。(→ P.21 「排紙トレイの準備」)
- **自動原稿サイズ検知**
読み取った原稿のサイズを自動的に検知して保存します。サイズの異なる原稿が混在しているときや、非定形サイズの原稿を読み取ったときにできる黒い部分が削除されます。(→ P.60 「用紙サイズ」)
- **重送検知**
原稿が重なって搬送されたことを検知して搬送を停止します。(→ P.48 「重送検知機能」)
- **斜行検知**
斜めに給紙された原稿が給紙口の端に接触したことを検知して搬送を停止します。(→ P.48 「斜行検知機能」)
- **斜行補正**
斜めに給紙された原稿の画像を検知して、画像の傾きを補正します。(→ P.61 「斜行補正」)
- **カラー原稿自動検知**
読み取った原稿がカラーか白黒かを自動的に検知して画像を保存します。(→ P.58 「カラー白黒検知」)
- **カードスキャン**
ISO/JIS 規格に準拠したカードをスキャンすることができます。(→ P.18 「原稿について」)
- **文字向き検知**
原稿の中の文字の向きを検知し、文字の向きがまっすぐになるように読み取った画像を回転させます。(→ P.70 「文字向き検知」)

- **アドバンスドテキストエンハンスメントモード**
下地が濃い原稿や薄い鉛筆書きの原稿の文字の部分をはっきりと読み取ります。(→P.58「モード」)
* 原稿によっては有効に機能しない場合があります。
- **ドロップアウトカラー**
原稿の中の特定の色または色の範囲を指定し、指定した色を読み取らないようにします。(→P.70「カラードロップアウト」)
- **色強調**
原稿の中の特定の色または色の範囲を指定し、指定した色を強調します。(→P.70「カラードロップアウト」)
- **自動スタート**
原稿を給紙口にセットすると自動的にスキャンが開始される自動スタート機能を備えています。(→P.73「給紙オプション」)
- **自動白紙スキップ機能**
原稿が片面であるか両面であるかを気にせずにスキャンを行える、自動白紙スキップ機能を備えています。(→P.60「読み取り面」)
- **プレスキャン機能**
読み取りを行なう前にプレスキャンを行ない、プレスキャンした画像で明るさとコントラストを調整してから読み取りを行ないます。(→P.74、89「プレスキャン」)
- **バインダ穴消去**
バインダに綴じられていた原稿を読み取った時にできる黒い穴の部分の部分を消去します。(→P.70「バインダの穴を削除」)
- **マルチストリーム機能**
用途に合わせて読み取り条件の異なる2つの画像を1回のスキャンで同時に出力することのできるマルチストリーム機能に対応しています。ただし、この機能はお使いのアプリケーションがマルチストリーム機能に対応している場合にのみ使用できます。(→P.53「マルチストリーム機能」)
- **長尺紙対応**
本機の設定を長尺モードに設定することにより、最大3,000mmの長さの原稿までスキャンすることができます。(→P.49「長尺モード」)
- **感圧紙対応**
感圧紙もスキャンすることができます。
- **スタンバイモード**
本機は、スキャン実行時以外、スタンバイモードに移行する省エネ設計になっています。(→P.52「スタンバイモードの設定」)



メモ

記載されている機能によっては、お使いのアプリケーションソフトウェアで使えない場合があります。

3. 各部の名称と機能

ここでは各部の名称と機能について説明します。本機を使用する前にご確認ください。

■ 前面

給紙トレイ

読み取る原稿をセットします。(→ P.20)

給紙補助トレイ

原稿が原稿トレイからはみ出す場合に引き出します。(→ P.20)

原稿ガイド

原稿の幅に合わせて調整します。(→ P.26、28)

排紙トレイガイド

原稿が排紙トレイからはみ出す場合に開きます。(→ P.22)

原稿排紙補助ガイド

薄い原稿や長い原稿を読み取るときに原稿が詰らないように補助します。(→ P.23)

排紙トレイ 1

読み取られた原稿が排紙されます。(→ P.21)

原稿ガイド 2

小さい原稿や、短い原稿のときに使用します。(→ P.26、28)

■ 操作部

ストップキー

スキャンを中止します。

スタートキー

アプリケーションで「パネルで給紙」が設定されているときに、このキーによりスキャンを開始します。

給紙切替レバー

原稿の給紙方法を切替えます。

原稿を連続で給紙させる場合に上側 (☉) にします。(→ P.25)

原稿を1枚ずつ給紙、または複数枚綴りの伝票などを分離しないで給紙する場合には下側 (☉) にします。(→ P.28、73)

原稿ストッパ

給紙切替レバーに連動して上下します。(→ P.25、28)

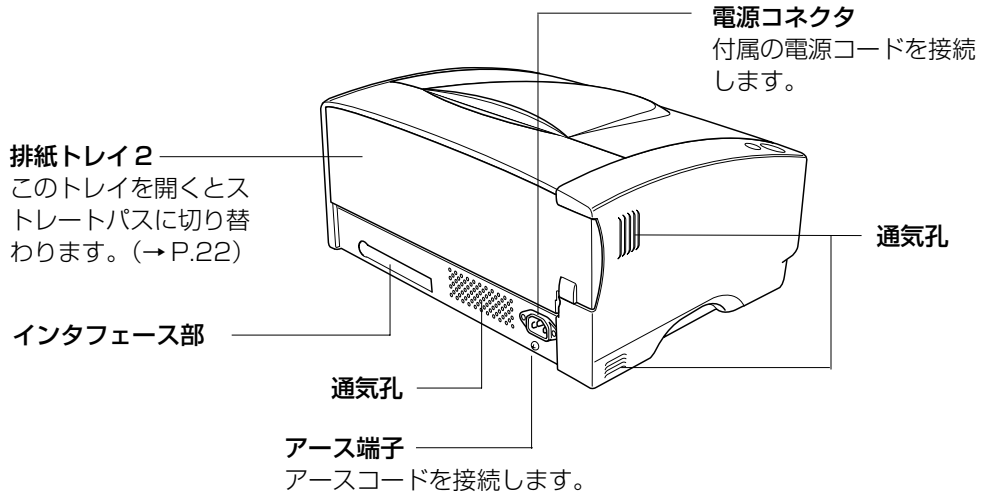
電源ランプ

スキャナの電源をオンにすると点灯します。

電源スイッチ

スキャナの電源をオン、オフします。

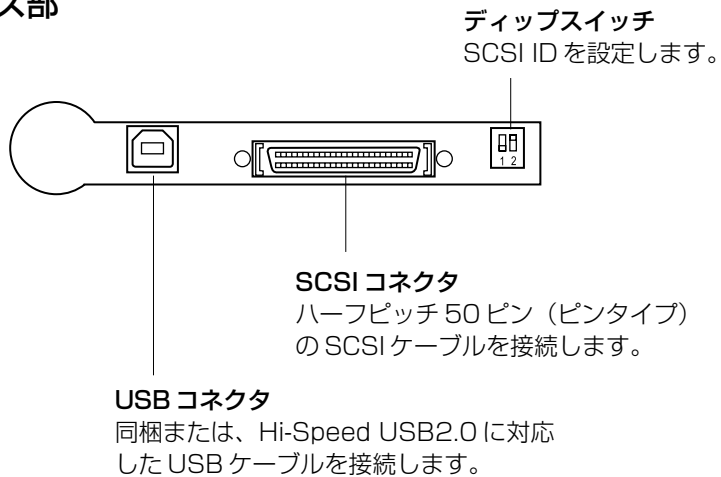
■ 背面



注意

通気孔をふさがないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■ インターフェース部



注意

USB ケーブルと SCSI ケーブルを同時に接続しないでください。故障の原因になります。

4. 動作環境の確認

本書に記載されている仕様を満たし、DR-6030C を快適にお使いいただくためには次のシステム要件を推奨します。

- オペレーティングシステム
 - ・ Microsoft Windows XP Professional SP3 以上
 - ・ Microsoft Windows XP Home Edition SP3 以上
 - ・ Microsoft Windows XP Professional x64 Edition SP2 以上
 - ・ Microsoft Windows Vista Home Basic SP2 以上
 - ・ Microsoft Windows Vista Home Premium SP2 以上
 - ・ Microsoft Windows Vista Business SP2 以上
 - ・ Microsoft Windows Vista Ultimate SP2 以上
 - ・ Microsoft Windows Vista Enterprise SP2 以上
 - ・ Microsoft Windows 7 Home Premium x32 Edition/x64 Edition
 - ・ Microsoft Windows 7 Professional x32 Edition/x64 Edition
 - ・ Microsoft Windows 7 Ultimate x32 Edition/x64 Edition
- パーソナルコンピュータ
 - ・ CPU : Celeron M 1.4GHz 以上
 - ・ メモリ : 512MB 以上
 - ・ ハードディスク : 1GB 以上の空き容量
 - ・ USB インタフェースまたは、SCSI カード
 - ・ モニタ : 解像度 1024 × 768(XGA)以上
- USB インタフェース
 - ・ Hi-Speed USB 2.0 /USB Full-Speed (USB 1.1 相当)
- SCSI カードは、本機が推奨する以下の SCSI カードをお使いください。
Adaptec 社製 SCSI カード (PCI バス用)
 - ・ AVA-2915LP
 - ・ AVA-2930LP**RATOC Systems 社製 SCSI カード (Card bus 用)**
 - ・ REX-CB31
- 上記のシステム環境で正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア。



お願い

- お使いのコンピュータのシステム要件が不明な場合には、コンピュータをお買い求めになった販売店または、コンピュータメーカーのサポート窓口にお問い合わせください。
- USB インタフェースと SCSI カードは同時に接続しないでください。

- **コンピュータに標準搭載のUSB インタフェースで使用する場合、以下の点に注意してください。**
 - ・ USB2.0 ドライバはマイクロソフト社から提供されている最新のドライバをお使いください。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
 - ・ コンピュータに標準装備されたすべてのUSB インタフェースにおいて、動作を保証するものではありません。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
 - ・ コンピュータに標準装備されたUSB インタフェースがUSB Full-Speed (USB1.1 相当) の場合、スキャン速度が低下します。
 - ・ USB ケーブルは、同梱品または Hi-Speed USB2.0 対応のケーブルをお使いください。
- **SCSI カードで使用する場合、以下の点に注意してください。**
 - ・ SCSI カードのコンピュータへの取り付けは、必ずお使いの SCSI カードおよびコンピュータの取扱説明書に記載されている手順にしたがって行ってください。
 - ・ 使用できる SCSI ケーブルの総延長は、SCSI の規格によって決められています。詳細は、お使いの SCSI カードの取扱説明書を参照してください。
- **CPU、メモリ、インタフェースカード等、コンピュータの推奨仕様を満たさない場合、スキャン速度が大幅に低下したり転送速度に時間を要する場合があります。**
- **コンピュータの推奨仕様を満たしている場合でも、読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。**
- **同梱されている ISIS/TWAIN ドライバは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。**



64 ビット版オペレーティングシステムで使用する場合の注意事項

- **本製品の ISIS/TWAIN ドライバでのスキャンが可能なのは 32 ビット版アプリケーションに限られます。**
- **32 ビット版アプリケーションでも、すべての ISIS/TWAIN 互換アプリケーションでの動作を保証するものではありません。**
- **使用するコンピュータの仕様によっては、スキャン速度が遅くなる場合があります。**

ソフトウェアのインストール方法について

本製品の取扱説明書に記載されている手順でインストールしてください。各オペレーティングシステムの違いにより表示画面やフォルダの名称が異なる箇所については、適宜読み替えて手順を実行してください。

5. セットアップディスクについて

DR-6030C セットアップディスクには、以下のソフトウェアが収納されています。

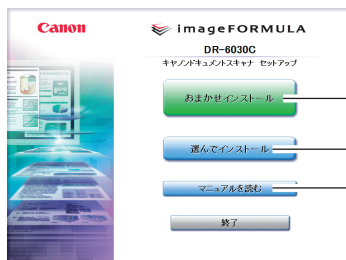
- **DR-6030C Driver**
DR-6030C を使用するためのスキャナドライバです。
- **CapturePerfect3.0**
キヤノンドキュメントスキャナ用に開発された、ISIS 互換スキャニングアプリケーションです。



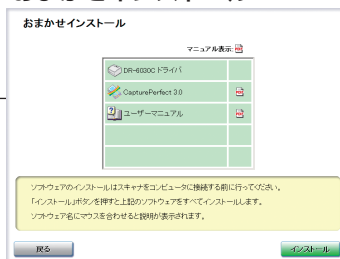
メモ

- DR-6030C セットアップディスクは、以下の構造になっています。ソフトウェアのインストールは、「おまかせインストール」または「選んでインストール」から実行します。

メニュー画面

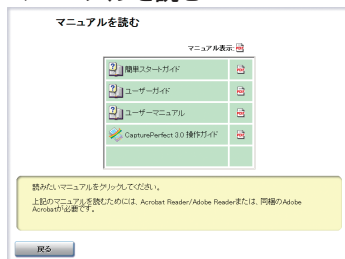


おまかせインストール



*表示されているすべてのソフトウェアがインストールされます。

マニュアルを読む



* スキャナに同梱されている「簡単スタートガイド」、「ユーザーズガイド」および、「CapturePerfect3.0操作ガイド」です。

選んでインストール



* チェックマークを付けたソフトウェアがインストールされます。

第2章 スキャナの使用法

1. 原稿について	18
2. 準備	20
給紙トレイの準備	20
排紙トレイの準備	21
原稿排紙補助ガイドの取付け	23
3. 原稿のセット	25
分離給紙の手順	25
非分離給紙の手順	28
4. スキャン方法	30
CapturePerfect について	30
スタートキーによる CapturePerfect3.0 の起動	36
Adobe Acrobat9.0 をお使いになる前に	40
5. パッチコードシートの利用	42
パッチコードシートについて	42
パッチコードパターン機能	43
パッチコードシートの使い方	43
6. 紙詰まりの処理	45
7. その他の機能	48
重送検知機能	48
斜行検知機能	48
長尺モード	49
スタンバイモードの設定	52
マルチストリーム機能	53

1. 原稿について

本スキャナは、名刺、小切手などの小さい原稿から A3 サイズまでの原稿を読み取ることができます。また、ISO/JIS 規格に準拠したカードの読み取りにも対応しています。

本スキャナで読み取ることのできる原稿のサイズ大きさは以下のとおりです。

排紙方向 (*1)	Uターンパス	ストレートパス
幅	53 - 300 mm	53 - 300 mm
長さ	70 - 432 mm (*2)	70 - 432 mm (*2)
厚さ (*3) 分離給紙の場合	52 - 128 g/m ² (0.06 - 0.15 mm)	52 - 128 g/m ² (0.06 - 0.15 mm)
非分離給紙の場合	42 - 157 g/m ² (0.05 - 0.20 mm)	42 - 546 g/m ² (0.05 - 0.66 mm)
ISO/JIS規格準拠 カード	読み取り不可	読み取り可 (非分離給紙にて) サイズ：53.9 x 85.5 mm カード厚：0.76±0.08 mm 但し、エンボス無きこと

(*1) 排紙方向については「排紙トレイの準備」(→P.21)を参照してください。

(*2) 本スキャナの設定を長尺モードに設定することにより、最大 3,000mm までの原稿を読み取ることができます。(→P.49 「長尺モード」)

(*3) 給紙方法については「原稿のセット」(→P.25)を参照してください。

読み取る原稿について、以下の注意をよくお読みください。

- 複数枚の原稿を一度に読み取るときは、原稿のサイズ、厚さ、紙質をそろえてください。異なる条件の原稿を給紙すると、紙詰まりの原因になります。
- インクが乾いていない原稿は、ローラや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。
- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取ったあとは、スキャナの内部を清掃してください。
- 薄い原稿を読み取ったときに、裏面の文字等が画像に写り込むことがあります。このような時は、読み取り条件の明るさを調整してください。

- 次のような原稿を読み取ろうとすると、紙詰まりや故障の原因になります。このような原稿を読み取る時は、複写機でコピーしてから行ってください。



しわや折り目が入っている



半透明の薄紙など極端に薄い



カール（巻き付け）がある



カーボン紙



クリップやステイプルの針が付いている



破れている



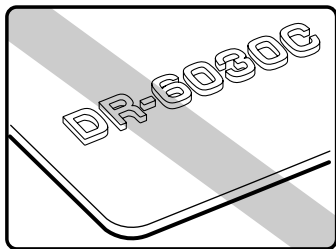
表面がコーティングされている

- 感圧紙の束をスキャンするときは、原稿をよくさばいてからスキャンしてください。
- 光沢のある原稿やカードの場合、光の反射により、正常にスキャンできなかったり、原稿サイズ検知や斜行補正などの機能が正常に動作しない原因になりますのでご注意ください。
- ISO/JIS 規格準拠カードを読み取る場合、非分離給紙、ストレートパスで行なってください。



注意

エンボスの付いたカードの読み取りは保証外です。エンボスの付いたカードをスキャンした場合、読み取りガラスにキズをつけることがありますのでご注意ください。



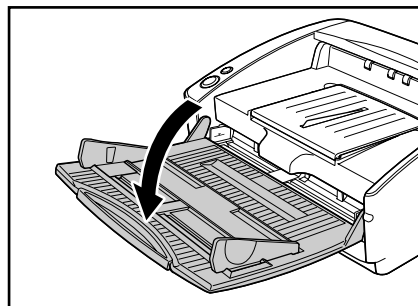
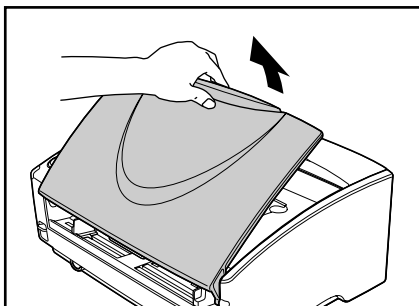
エンボス付カード

2. 準備

原稿のサイズや給排紙の方法に応じてトレイを準備します。

給紙トレイの準備

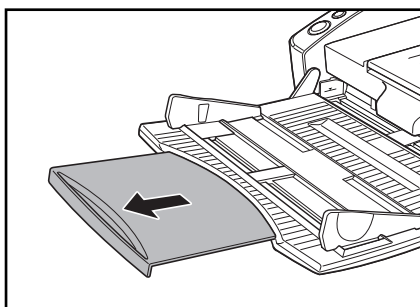
- 1 給紙トレイの中央を持ち、ゆっくりと給紙トレイを手前に開きます。



注意

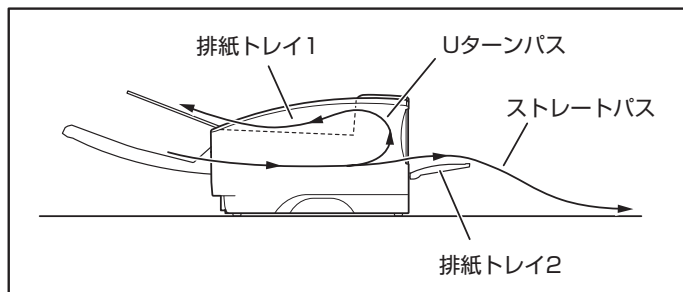
給紙トレイの上に原稿以外のものを載せないでください。本体から落下して思わぬけがをしたり、本体が破損され、読み取り品質の低下につながります。

- 2 サイズの大きな原稿を読み取るときは、給紙補助トレイを引き出して使します。



排紙トレイの準備

本機には原稿を前面に排紙するUターンパスと、原稿を背面に排紙するストレートパスの2つの排紙方法があります。排紙方法の切り替えは、**排紙トレイ2の開閉により行なわれます**。必要に応じて排紙方法を選択してください。



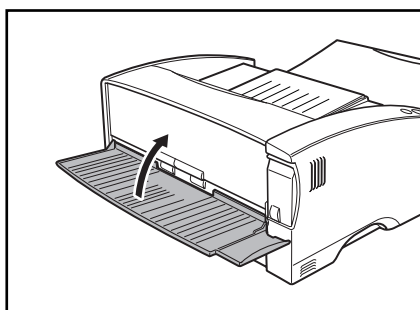
メモ

- Uターンパスは、一般的な紙厚の原稿をスキャンするときに使用します。スキャンした原稿は排紙トレイに排紙されます。
- ストレートパスは、厚紙や紙厚の薄い紙など、Uターンパスで正常に搬送できない原稿、ISO/JIS規格準拠カードの読み取りに使用します。スキャンした原稿はスキャナの後方に排紙されます。

Uターンパスの場合



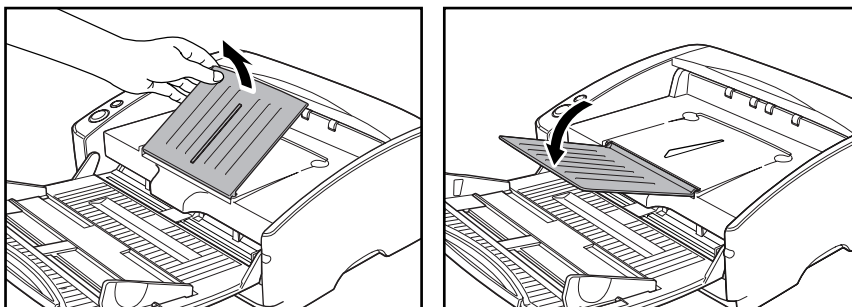
1 排紙トレイ2が開いているときは、排紙トレイ2を閉じます。



メモ

排紙トレイ2が開いているとUターンパスになりません。

2 排紙トレイガイドを手前に開きます。

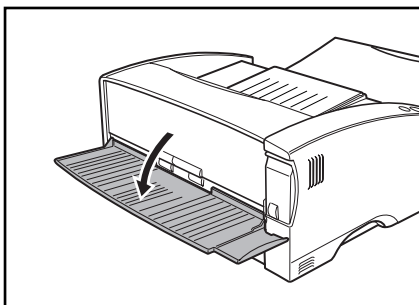


お願い

排紙トレイガイドは必ず開いた状態でお使いください。排紙トレイガイドが開いていないと排紙された原稿がトレイより飛び出して紙詰まりの原因になります。

ストレートパスの場合

1 排紙トレイ 2 を開きます。



メモ

ストレートパスの場合、排紙された原稿の順番は、給紙したときの逆になります。



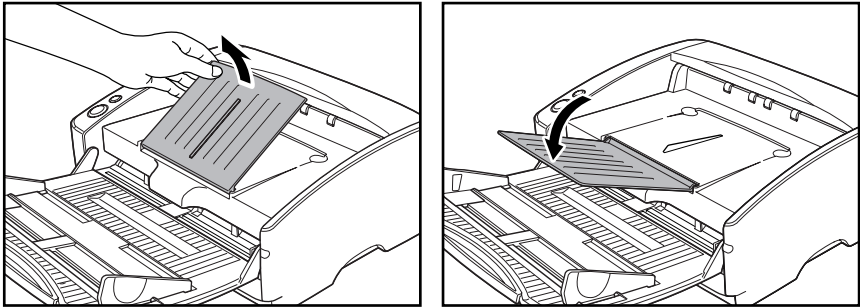
お願い

- ストレートパスの場合、スキヤナの後方に原稿を排紙するスペースを十分確保してください。排紙のためのスペースが不足している場合、原稿の破損や紙詰まりの原因になります。
- 排紙トレイ 2 の開閉は、スキャン開始前に行なってください。スキャン中に排紙トレイ 2 の開閉を行なった場合、紙詰まりの原因になります。

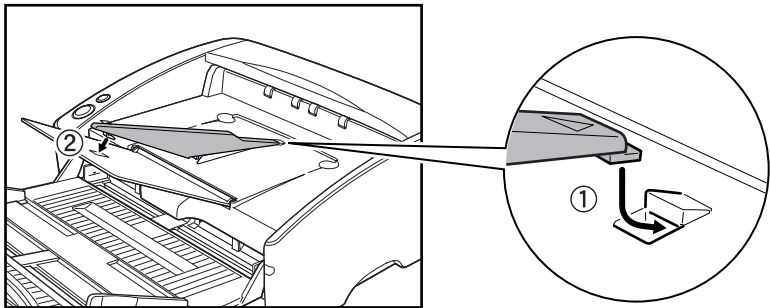
原稿排紙補助ガイドの取付け

特に薄い原稿や長い原稿を読み取る際は、紙詰まりなどのトラブルを避けるために付属の原稿排紙補助ガイドを取付けて使用してください。

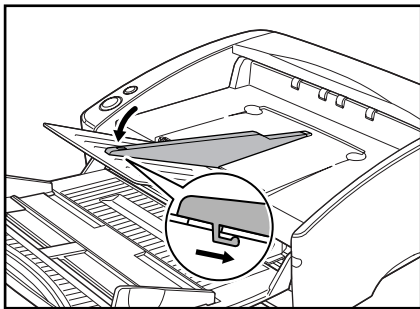
1 排紙トレイガイドを手前に開きます。



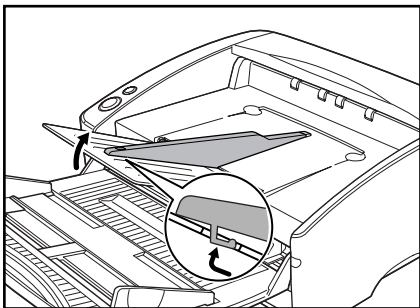
2 原稿排紙補助ガイドを①、②の順に取り付けます。



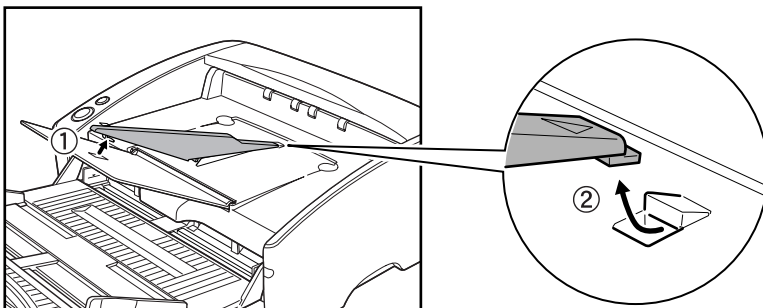
3 原稿排紙補助ガイドを押して排紙トレイにフックします。



- 4** ▶ 原稿排紙補助ガイドを取り外すときは、排紙トレイを少し持ち上げて排紙トレイからフックを外します。



- 5** ▶ 取り付けたときの逆の手順で取り外します。



3. 原稿のセット

原稿の給紙方法として、セットされた原稿の束を1枚ずつ分離しながら連続給紙する「分離給紙」と、原稿を1枚ずつ手差しで給紙および、複数枚綴りの伝票を綴じたまま読み取ることのできる「非分離給紙」があります。給紙方法は、給紙切替レバーにより切り替えます。



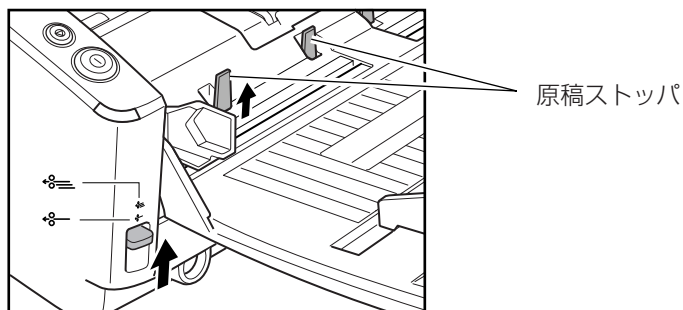
お願い

- 原稿をセットする前に、クリップやステイブルの針などが紛れ込んでいないか必ず確認してください。万一これらが紛れ込んでいると、大事な原稿が破れたり、紙詰まりを起こしたり、あるいは本機の故障の原因になります。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などはご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源プラグを本体から抜いて機械を停止してください。
- 原稿の先端がカールしていると原稿が折れたり紙詰まりの原因になります。カールが大きい場合にはカールを矯正してからスキャナにセットしてください。
- 紙厚の薄い原稿を分離給紙で連続スキャンした場合、原稿にしわが寄ったり、原稿が折れて紙詰まりの原因になることがあります。このようなときは、非分離給紙でスキャンしてください。

分離給紙の手順



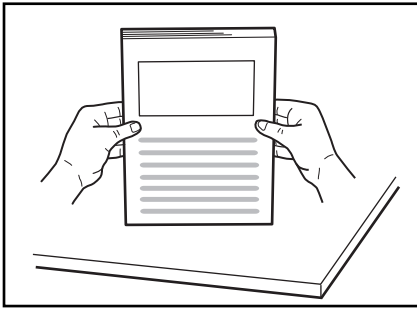
1 前面左下にある給紙切替レバーを上側(☺)にします。



メモ

給紙切替レバーを上げると、原稿ストッパが上がります。

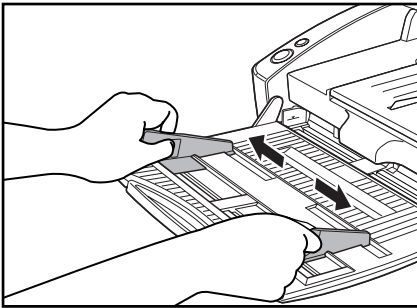
2 読み取る原稿の束を揃えます。



! 注意

- スキャナ本体の上で原稿をそろえないでください。故障の原因になります。
- 原稿をセットするときは慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。

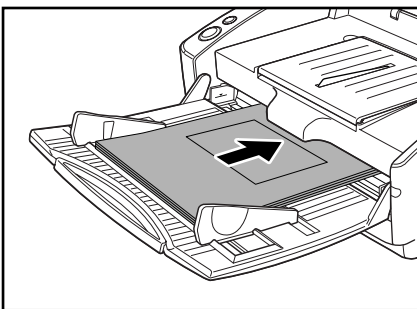
3 原稿ガイドの位置を読み取る原稿の幅より広くします。



👉 お願い

小さい原稿や短い原稿をスキャンするときは、原稿ガイド2を原稿の幅に合わせて使用してください。

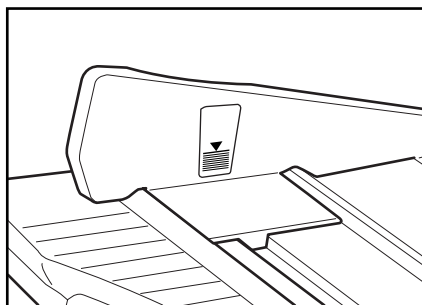
4 原稿のおもての面を上にし、ストッパに当たるようにセットします。



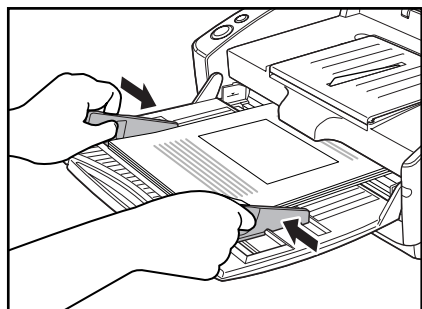


お願い

原稿ガイドには積載制限マーク(▼)があります。このマーク（一般的なコピー用紙：80g/m²の用紙で約100枚の厚さ）以上に原稿をセットしないでください。紙詰まりの原因になります。



5 原稿ガイドを原稿の幅に合わせて調整します。



メモ

スキャンを始める前に、原稿が正しくセットされていることを確認してください。原稿が丸まっていたり折れている状態でスキャンを行うと原稿が破損することがあります。



6 アプリケーションソフトウェアで、スキャンを開始します。

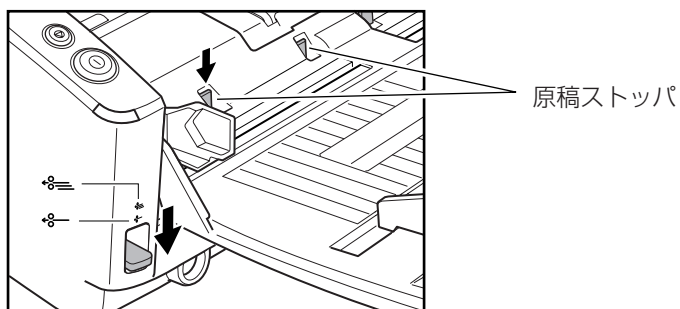


お願い

- 読み取り中に、システムエラーまたは紙詰まりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み込み作業を続けてください。
- 紙厚の薄い原稿は、まれに排紙トレイから落下することがありますのでご注意ください。
- 読み取りが終了し、スキャナを使用しないときは、機械の損傷を防ぐために給紙トレイや排紙トレイガイドを閉じてください。

非分離給紙の手順

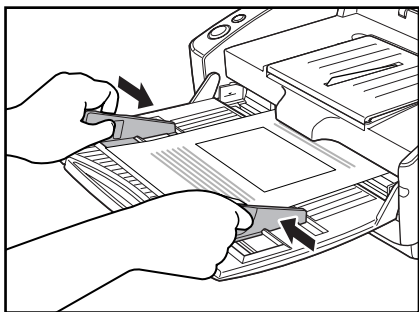
- 1 前面左下にある給紙切替レバーを下側（※）にします。



メモ

- 給紙切替レバーを下げると、原稿ストップが下がります。
- 給紙切替レバーを下げると、ISIS/TWAIN ドライバの設定が「手差し給紙」になります。（→ P.73 「給紙オプション」）

- 2 給紙トレイに原稿を1枚置いて、原稿ガイドの位置を調整します。

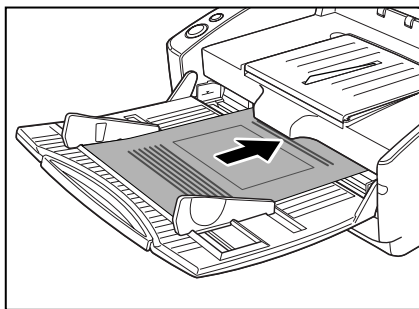


お願い

小さい原稿や短い原稿をスキャンするときは、原稿ガイド2を原稿の幅に合わせて使用してください。

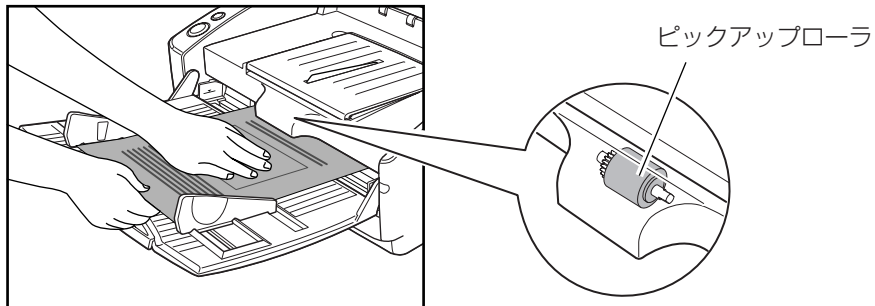
- 3 アプリケーションソフトウェアで、スキャンを開始します。

- 4 ▶ 原稿を1枚給紙口に押し当てます。原稿が搬送され読み取りが行われます。



お願い

- 複数枚綴りの伝票などをセットするときは、綴じてある側を先端にしてセットしてください。
- 非分離給紙で綴じられていない複数枚の原稿を一度にセットすると、まとめて搬送されますので注意してください。
- 特に薄い原稿やカールした原稿を手差し給紙するとき、うまく給紙されないことがあります。そのようなときは原稿の先端を手で軽く押さえながらセットするようにしてください。その際、ピックアップローラの下に手を入れないように注意してください。



- 読み取りが終了し、スキャナを使用しないときは、機械の損傷を防ぐために給紙トレイや排紙トレイガイドを閉じてください。

4. スキャン方法

DR-6030C でスキャンする場合、同梱の「CapturePerfect3.0」または、ISIS/TWAIN 互換アプリケーションが必要です。

本項では、DR-6030C に同梱されている「CapturePerfect3.0」の概略とスキャンの手順について説明します。

なお、CapturePerfect3.0 および ISIS/TWAIN ドライバのインストールについては「簡単スタートガイド」を参照してください。



お願い

コンピュータのメモリを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリ不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリ不足が表示されたときはアプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。

CapturePerfect について

CapturePerfect は、キャノンドキュメントスキャナ用に開発された ISIS 互換アプリケーションソフトウェアです。

CapturePerfect には、以下のスキャン方法があり、スキャンメニューからスキャン方法を選択してスキャンを行ないます。

- **スキャンバッチファイル**

設定した読み取り条件でスキャンを行ない、指定したフォルダに画像ファイルを保存します。

- **スキャンバッチプリント**

設定した読み取り条件でスキャンを行ない、指定したプリンタでスキャンした画像を印刷します。

- **スキャンバッチメール**

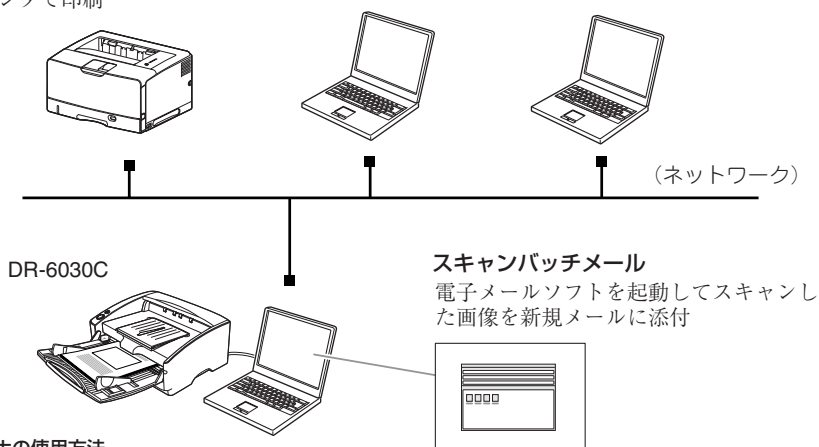
設定した読み取り条件でスキャンを行ない、電子メールソフトを起動させて、スキャンした画像を新規メールに添付します。

スキャンバッチプリント

スキャンした画像を指定したプリンタで印刷

スキャンバッチファイル

スキャンした画像を指定したフォルダへ保存

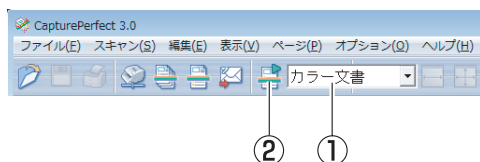


- スキャン1ページ

原稿を1枚スキャンして終了します。

- スキャンジョブ

読み取り条件とスキャン方法（スキャンバッチファイル、スキャンバッチプリント、スキャンバッチメール）をあらかじめジョブとして登録しておき、ジョブスキャンの実行は、ツールバーでジョブを選択（①）→スキャンジョブの実行（②）の2つの操作で行ないます。



メモ

スキャンジョブには、あらかじめ以下の2つのジョブが登録されています。

- ・ カラー文書

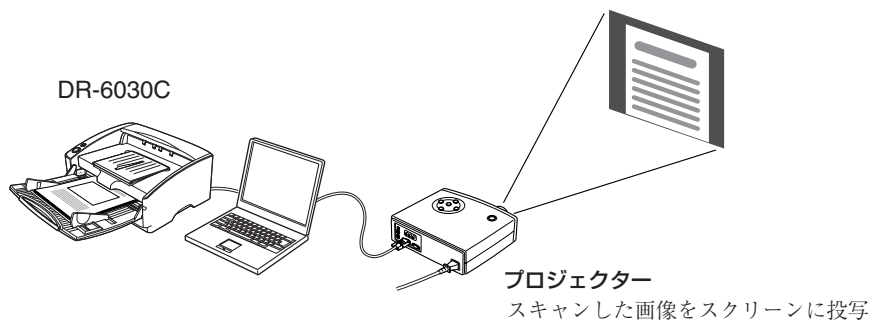
原稿を24ビットカラー、片面300dpiでスキャンし、画像ファイルを [ユーザー] フォルダの中にある [マイ ピクチャ] フォルダにPDF形式で保存します。

- ・ 白黒文書

原稿を白黒、片面200dpiでスキャンし、画像ファイルを [ユーザー] フォルダの中にある [マイ ピクチャ] フォルダにPDF形式で保存します。

- スキャンバッチプレゼンモード

プレゼンテーションの会場など、大型ディスプレイやプロジェクターが接続された環境で使用する場合に有効なモードで、CapturePerfectを全画面表示に切り替えてスキャンを行ない、スキャンした画像をディスプレイに全画面表示します。



メモ

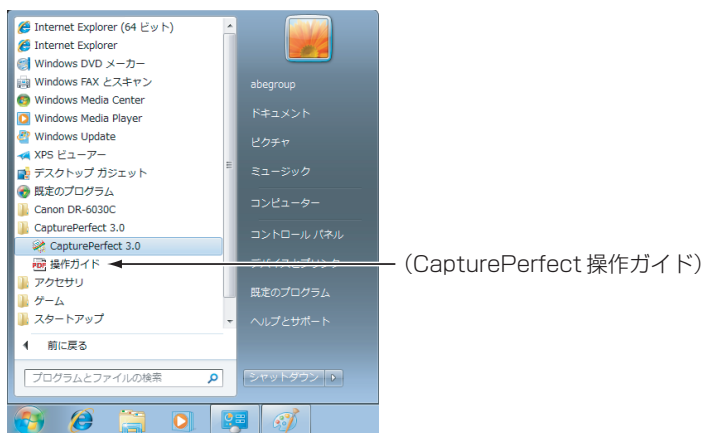
CapturePerfectの詳細については、CapturePerfect操作ガイドおよび、CapturePerfectのヘルプに記載されています。CapturePerfectをお使いになる前にCapturePerfect操作ガイドまたは、ヘルプを参照してください。

CapturePerfect の操作手順

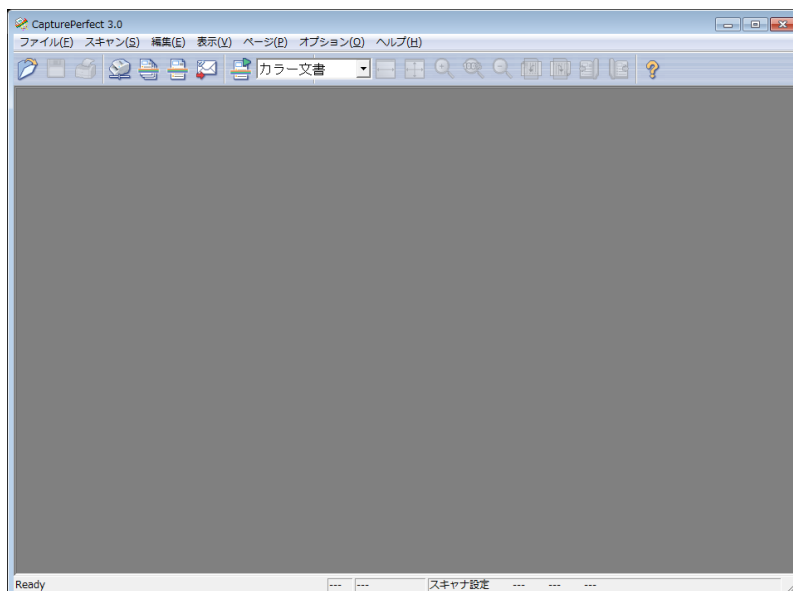
ここでは、CapturePerfect の起動からスキャナを選択までの手順と、「スキャンバッチファイル」によるスキャンまでの手順について説明します。

詳細については、CapturePerfect 操作ガイドまたは、ヘルプを参照してください。

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]-[CapturePerfect3.0]-[CapturePerfect3.0]をクリックします。

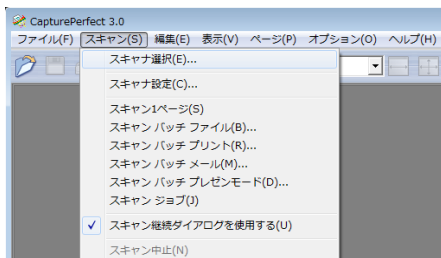


CapturePerfect が起動します。

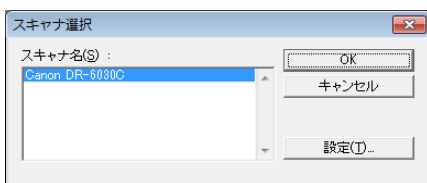


2 ▶ 使用するスキャナとしてDR-6030Cを以下の手順で選択します。

1. [スキャン] メニューから[スキャナ選択]をクリックします。



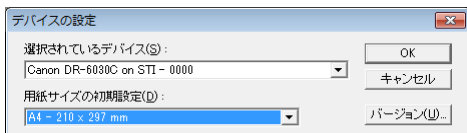
2. [Canon DR-6030C]を選択し、[OK]をクリックします。



メモ

[Canon DR-6030C]が表示されないときは、ISIS/TWAINドライバのインストールをやり直してください。(→簡単スタートガイド「Step3. ソフトウェアのインストール」)

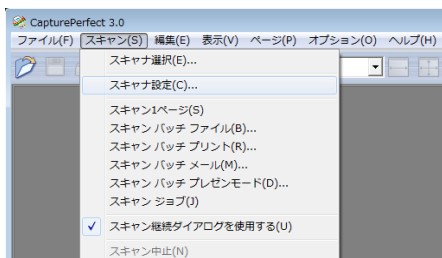
3. 用紙サイズの初期サイズを設定します。



メモ

このダイアログボックスは、[Canon DR-6030C]を初めて選択して[OK]をクリックした時、または「スキャナの選択」画面で[設定]をクリックすると表示されます。

3 ▶ [スキャン] メニューから[スキャナ設定]をクリックします。

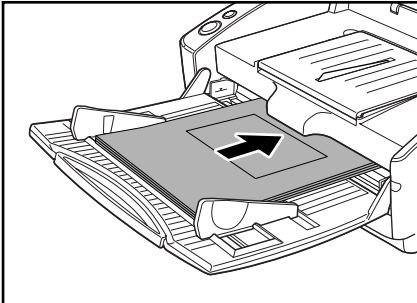


ISIS ドライバの設定ダイアログボックスが開きます。

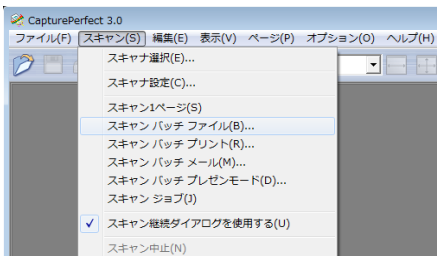


4 読み取り条件を設定します。
読み取り条件の設定については「第3章ソフトウェアの設定」(→P.55) または、ISIS/TWAIN ドライバのヘルプを参照してください。

5 原稿をセットします。(→P.25「原稿のセット」)



6 [スキャン] メニューから [スキャンバッチファイル] を選択します。
ここでは、スキャンバッチファイルの操作手順について説明します。他のスキャン方法については、CapturePerfect 操作ガイドまたは、ヘルプを参照してください。



スキャンバッチファイル設定ダイアログボックスが開きます。

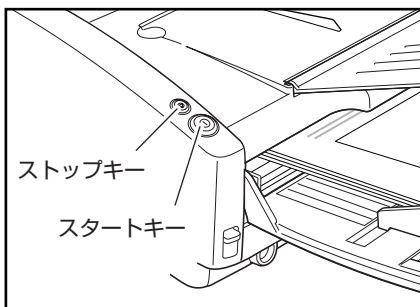


7 保存するファイル名、ファイル形式を指定し、[保存] をクリックしてスキャンを開始します。

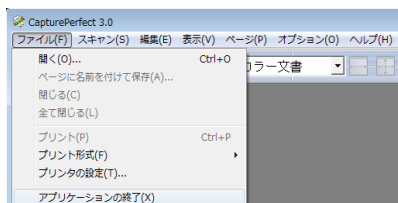
スキャンバッチファイル設定ダイアログボックスの設定については、「CapturePerfect 操作ガイド」または、ヘルプを参照してください。

8 セットした原稿がなくなるとスキャンが中断します。スキャナ設定の給紙オプションの設定に合わせてスキャンを再開 / 終了します。

- 給紙オプションの設定が [標準給紙] の場合
 継続ダイアログボックスが表示されます。次の原稿をセットし [スキャン継続] をクリックしてスキャンを再開します。または、[スキャンストップ] をクリックしてスキャンを終了します。
- 給紙オプションの設定が [自動給紙] の場合
 次の原稿をセットします。スキャナが原稿を検知してスキャンを再開します。または、ストップキーを押してスキャンを終了します。
- 給紙オプションの設定が [パネルで給紙] の場合
 次の原稿をセットし、スタートキーでスキャンを再開します。または、ストップキーを押してスキャンを終了します。



- 9 スキャンが終了したら、[ファイル]メニューから[アプリケーションの終了]を選択し、CapturePerfect を終了させます。



スタートキーによる CapturePerfect3.0 の起動

DR-6030C および Captureperfect3.0 は、Windows のイベント機能に対応しています。ISIS/TWAIN ドライバと CapturePerfect3.0 をインストールしたあと、スキャナのスタートキーを押すだけで CapturePerfect3.0 を自動起動させることができます。



メモ

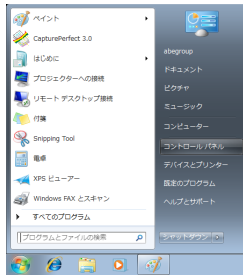
DR-6030C をセットアップした直後の初期状態では、イベント機能に対応したすべてのアプリケーションの起動が有効になります。そのため、イベント機能に対応したアプリケーションが複数インストールされていると、スタートキーを押したときに、アプリケーションを選択するダイアログボックスが表示されます。アプリケーションを選択するダイアログボックスが表示されたときは、アプリケーションを選択して起動させるか、[キャンセル] をクリックしてイベントの設定を変更してください。

イベントの設定

イベントの設定は以下の手順で設定してください。

1 「イベント」の設定ダイアログボックスを以下の手順で開きます。

1. [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックしてコントロールパネルを開きます。



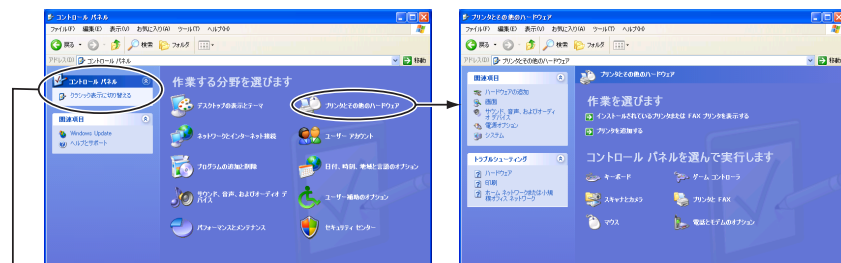
2. お使いのオペレーティングシステムにしたがって操作します。

■ Windows XP の場合

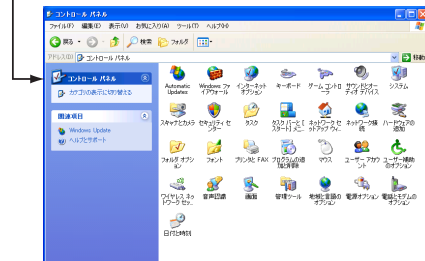
コントロールパネルをクラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で「プリンタとその他のハードウェア」を選択してください。

コントロールパネル (カテゴリ表示)

プリンタとその他のハードウェア



コントロールパネル (クラシック表示)



■ Windows Vista の場合

コントロールパネルをクラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で「ハードウェアとサウンド」を選択してください。

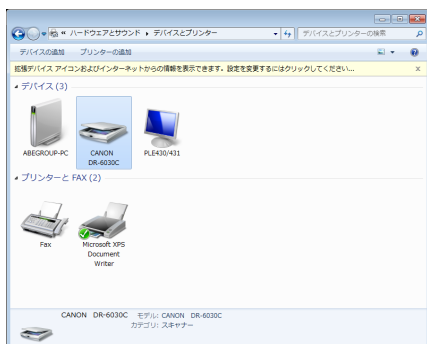
■ Windows 7 の場合

コントロールパネル右上の「表示方法」をクリックして、一覧から「大きいアイコン」または「小さいアイコン」を選択します。または、カテゴリで「ハードウェアとサウンド」を選択してください。

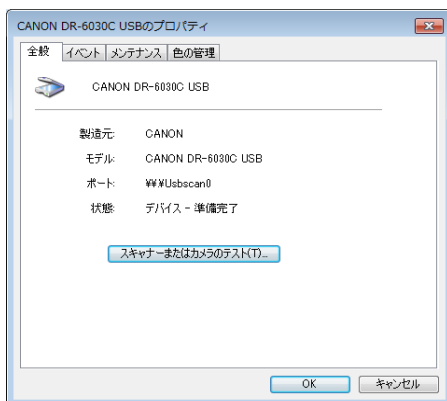
3. 「デバイスとプリンターの表示」(Windows XP および Windows Vista の場合は「スキャナとカメラ」) をクリックします。



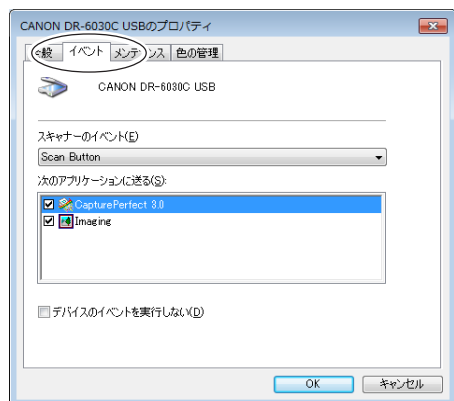
4. [CANON DR-6030C] (または、[CANON DR-6030C SCSI]) を選択して右クリックし、[スキャンプロパティ] (Windows XP および Windows Vista の場合は選択して [プロパティ]) をクリックします。



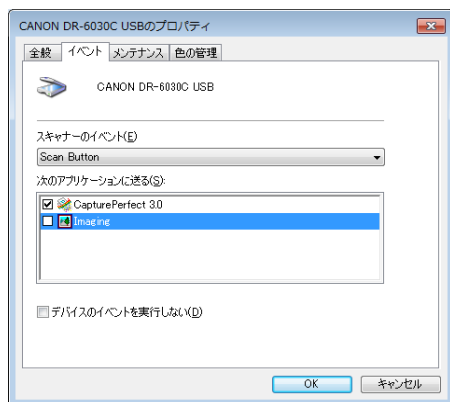
[Canon DR-6030C USB のプロパティ] (または、[CANON DR-6030C SCSI のプロパティ]) が表示されます。



5. [イベント] タブをクリックします。



- 2▶ 初期状態では「次のアプリケーションに送る」に表示されているすべてのアプリケーションがチェックされています。「アプリケーション起動」で起動させるアプリケーションを1つ選択し、その他のアプリケーションのチェックをすべて外してから [OK] (Windows XP の場合は [適用]) をクリックします。(→ P.36)



メモ

スタートキーによるアプリケーションの起動を使用しない場合、[デバイスのイベントを実行しない]をチェックします。

- 3▶ [OK] をクリックして「スキャナとカメラのプロパティ」を閉じます。
- 4▶ イベント機能の設定変更を有効にするために Windows を再起動させます。

Adobe Acrobat9.0 をお使いになる前に

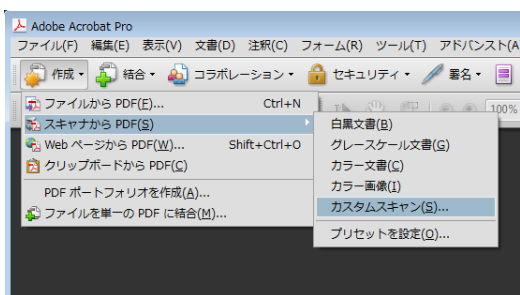
同梱されている Adobe Acrobat9.0 でスキャナからスキャンする場合、あらかじめスキャン条件が設定されている「プリセット」（白黒文書、グレースケール文書、カラー文書、カラー画像）を指定するスキャン方法と、スキャン条件を選択してスキャンする「カスタムスキャン」の2つのスキャン方法があります。さらに、「カスタムスキャン」には、スキャナのネイティブインタフェイス（本機のスキャナ設定画面）を表示させてからスキャンを行う方法と、ネイティブインタフェイスを表示させないでスキャンする方法があります。

本機で Adobe Acrobat9.0 をお使いになる場合は、以下の理由により「カスタムスキャン」で、スキャナのネイティブインタフェイスを表示させてからスキャンを行ってください。

- ネイティブインタフェイスを表示させないでスキャンした場合、指定した用紙サイズで正常にスキャンできないことがあります。
- 「プリセット」は、ネイティブインタフェイスを表示させないでスキャンを行うため、指定した用紙サイズで正常にスキャンできないことがあります。

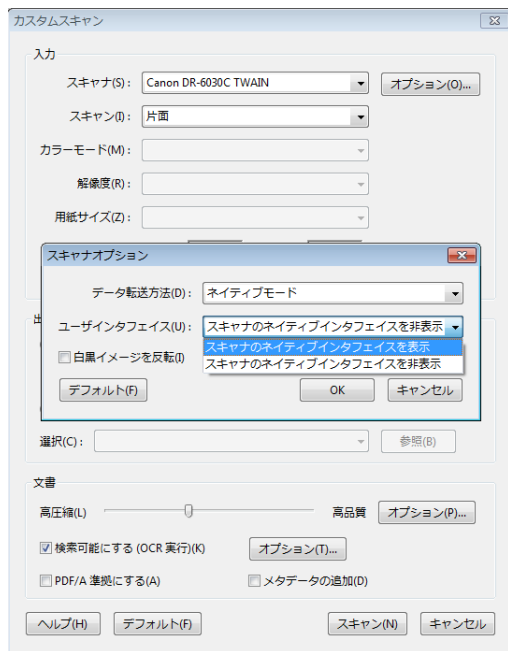
カスタムスキャンでネイティブインタフェイスを表示させる手順

- 1 ▶ 【作成】メニューから、[スキャナから PDF] - [カスタムスキャン] をクリックします。



- 2 ▶ カスタムスキャンダイアログボックスにある【オプション】をクリックして、[スキャナオプション] ダイアログボックスを表示させます。

- 3 「ユーザインタフェイス」で、「スキャナのネイティブインタフェイスを表示」を選択し、[OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。



- 4 (カスタムスキャンダイアログボックスの) [OK] をクリックするとカスタムスキャンを実行し、ネイティブインタフェイス（本機のスキャナ設定画面）が表示されます。



メモ

インストーラ画面にて、Portuguese は Portuguese (Brasil) と Portuguese が選択可能ですが、実際には Portuguese (Brasil) のみが使用可能となります。

5. パッチコードシートの利用

DR-6030C ISIS ドライバおよび CapturePerfect3.0 は、パッチコードシートによる自動ファイル区切り機能に対応しています。

パッチコードシートは、ファイルを自動区切りするためのパッチコードパターンが印刷されたシートです。スキャン中にスキャナがパッチコードシートを認識すると、パッチコードシートまたはパッチコードシートの次の原稿の画像から、ファイルを自動で区切ります。

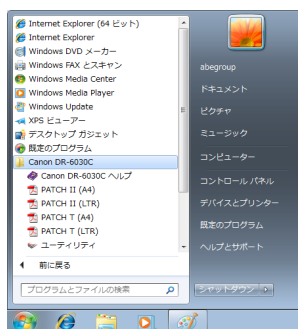


メモ

- パッチコードシートの使用に際しては、「ISIS/TWAIN Driver ヘルプ」と合わせてごらんください。
- TWAIN ドライバはパッチコードシートに対応していません。
- パッチコードシートはお使いの ISIS 互換アプリケーションがパッチコードパターンによるファイル区切りをサポートしている場合にのみ有効です。
- マルチストリーム機能 (→ P.53) を使用する場合、パッチコードシートは使用できません。

パッチコードシートについて

パッチコードシートは、PDF(Portable Document Format)形式のデータで、用紙サイズとパターンの組み合わせにより、[PATCH II (A4)]、[PATCH II (LTR)]、[PATCH T (A4)]、[PATCH T (LTR)]の4種類が用意されています。Windows のスタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Canon DR-6030C] - [PATCH X(XX)] を開き、プリンタで印刷したものを使用します。



メモ

- パッチコードシートを開く場合には、同梱の CapturePerfect または PDF (Portable Document Format) 形式のファイルに関連付けされたアプリケーションが必要です。
- パッチコードシートを印刷するときは、必ず等倍で印刷します。拡大、縮小した場合、パッチコードシートとして正常に認識できない場合があります。

パッチコードパターンの機能

パッチコードには2種類あり、パターンによってその働きが異なります。

■ PATCH T (FILE A)



このパッチコードが印刷されたシートを認識したときは、このシートの次の原稿からファイル区切りを行います。このシートの画像は、アプリケーションによって保存する/しないを設定します。

■ PATCH II (FILE B)



このパッチコードが印刷されたシートを認識したときは、このシートからファイル区切りを行います。このシートの画像は、アプリケーションの設定にかかわらず、必ず保存されます。

パッチコードシートの使い方

- ▶ パッチコードシートをプリンタで印刷します。このとき、パッチコードシートのデータと同じサイズの内紙に等倍で印刷してください。



メモ

- [PATCH II (A4)], [PATCH T (A4)]は、A4サイズの内紙に印刷
- [PATCH II (LTR)], [PATCH T (LTR)]は、レターサイズの内紙に印刷

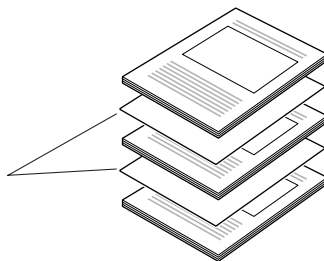


お願い

パッチコードシートは汚さないように注意してください。特にパターンを検知する有効範囲内を汚さないようにしてください。また、折り曲げたり、しわにならないようにしてください。正しく読み取ることができなくなります。

- 2** パッチコードシートをファイルを区切る原稿の前に挿入してからスキャナにセットします。

パッチコードシートをファイル区切りを変更する原稿の先頭に入れてセットします。



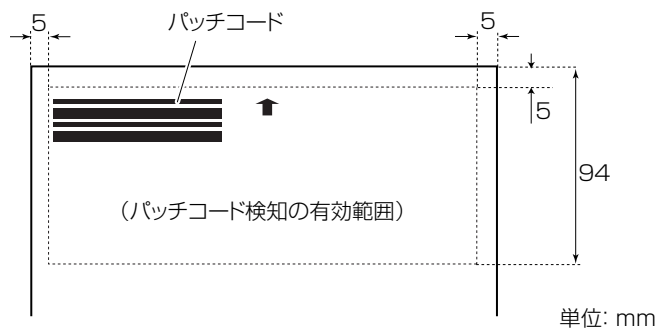
- 3** ISIS ドライバのバッチ区切りの設定を [パッチコード] にしてスキャンを実行します。



お願い

パッチコードパターンをコピーして別のサイズのパッチコードシートを作るときは、以下に注意してください。

- パッチコードパターンをコピーするときは、コピーしたものがオリジナルのパターンと同サイズ、同濃度となるようにしてください。コピーの濃度が薄すぎるまたは濃すぎると正しく読み取れないことがあります。
- パッチコードは、以下の有効範囲に入るように調整してください。



6. 紙詰まりの処理

スキャン中に紙詰まりが発生したら、以下の手順に従って紙詰まりの処理を行なってください。



注意

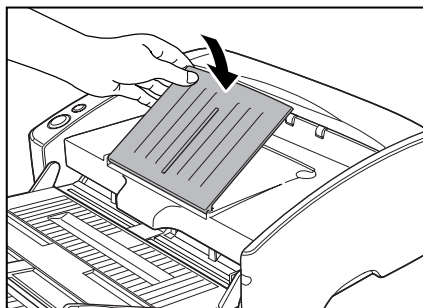
詰まった紙を取り除くときは慎重に行ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。



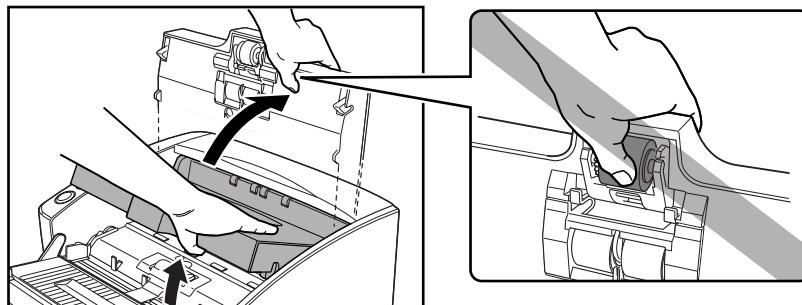
1 排紙トレイに原稿が残っている場合は原稿を取り除きます。



2 排紙トレイガイドを閉じます。



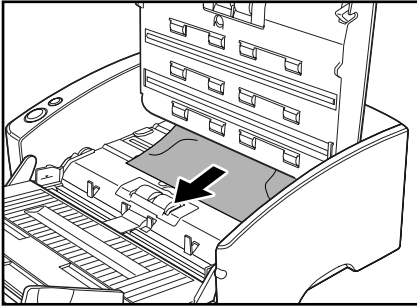
3 上部ユニットの端を図のようにつかみ、詰まった原稿が取り除けるところまでゆっくりと開きます。



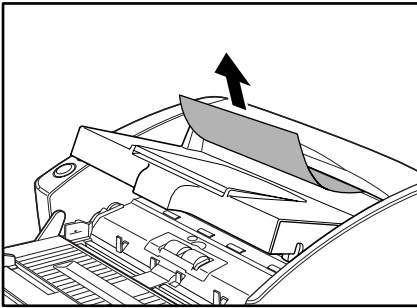
お願い

上部ユニット中央の凸部には、ピックアップローラがあります。上部ユニットを開く際に凸部を持たないでください。ピックアップローラの変形や搬送エラーの原因になります。

- 4** 詰まった原稿を取り除きます。
■ 給紙部で紙詰まりが起こった場合



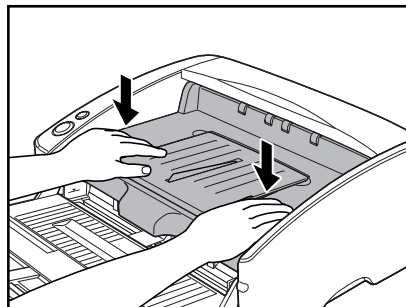
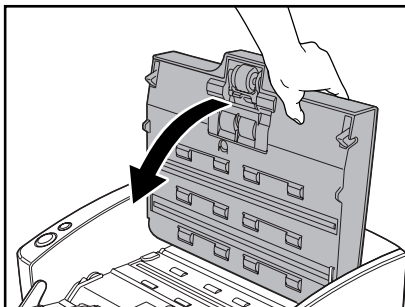
- 排紙部で紙詰まりが起こった場合



お願い

原稿は無理に引っ張らず慎重に取り除いて下さい。万一原稿が破れてしまった場合は、残りの紙片も必ず取り除いてください。

- 5** 上部ユニットを静かに閉じます。そして、上部ユニットの両端を両手で押し、カチッと音がして確実に閉じたことを確認してください。





お願い

上部ユニットを無理に閉じないでください。本体の故障の原因になります。



メモ

- 紙詰まりの処理が終わったら、最後に記録された画像を確認し、作業を続けてください。
- ISIS/TWAIN ドライバの設定で「継続モード」を有効にすると、紙詰まりを起こした原稿の画像を保存しないで中断します。そのため、紙詰まりの処理が終わったら、紙詰まりを起こした原稿からスキャンを継続することができません。(→P.72「継続モード」)

7. その他の機能

本スキャナには、その他に以下の機能があります。

- 重送検知 P.48
- 斜行検知 P.48
- 長尺モード P.49
- スタンバイモードの設定 P.52
- マルチストリーム機能 P.53

重送検知機能

本スキャナは、連続してスキャンする際に、原稿が重なって搬送されてしまったこと（重送）を自動的に検知する「重送検知機能」を備えています。

重送検知には以下の2つの方法があり、ISIS/TWAIN ドライバの設定により検知方法を選択します。（→P.73「重送検知」）

原稿の長さで重送を検知

サイズと同じ原稿の束をスキャンする際に有効な検知方法で、1枚目の原稿の長さを基準とし、基準の長さより50mm以上長い、または短い原稿を検知した時に重送と判断し、搬送を停止させます。

超音波で重送を検知

サイズの異なる原稿の束をスキャンする際に有効な検知方法で、重なって搬送された原稿と原稿の間隙を超音波で検知した時に重送と判断し、搬送を停止させます。



メモ

- 超音波による重送検知は、原稿の重なりが50mm以上ある場合に有効です。
- 静電気などにより原稿が密着しているようなときは、超音波による重送検知が正常に検知できない場合があります。

斜行検知機能

長い原稿が斜行した場合、原稿が給紙口や搬送路の端に当たり原稿が破損することがあります。本スキャナは、斜行した原稿が給紙口の端に接触したことを検知する「斜行検知機能」を備えています。原稿の斜行を検知した時にエラーメッセージを表示し、搬送を停止させます。



メモ

小さい原稿の場合、斜行してもセンサに検知されません。

長尺モード

本機でスキャンすることのできる原稿の長さは通常で 432mm で、本機の設定を長尺モードに変更することにより、最大 3,000mm までの原稿をスキャンすることができます。

長尺モードを使用する場合には、スキャナのプロパティにより、スキャナ本体の設定を長尺モードに変更し、ISIS/TWAIN ドライバの「用紙サイズ」の設定を [自動検知] にすることにより 3,000mm までの長さの原稿を検知してスキャンすることができます。(→ P.60 「用紙サイズ」)



お願い

長尺モードを使用する場合、以下の点について注意してください。

- 長尺モードを設定して自動サイズ検知でスキャンした場合、処理速度が遅くなる場合があります。
- 長尺モードを使用する場合、原稿が傾いてセットされるとスキャナの給紙部の両端に当たり原稿を破損する場合があります。原稿の傾きには充分注意してください。
- 長尺モードを使用する場合、紙詰まりの検知が遅れ原稿を破損する場合があります。紙詰まりには充分注意してください。
- 長尺原稿のスキャンは、必ず非分離給紙で行ってください。

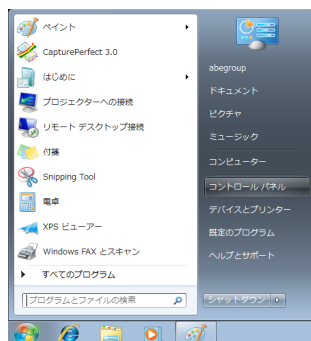
長尺モードの設定

長尺モードは、以下の手順で設定してください。



1. Canon DR-6030C USB (または、Canon DR-6030C SCSI) のプロパティを以下の手順で開きます。

1. [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックしてコントロールパネルを開きます。



2. お使いのオペレーティングシステムにしたがって操作します。

■ Windows XP の場合

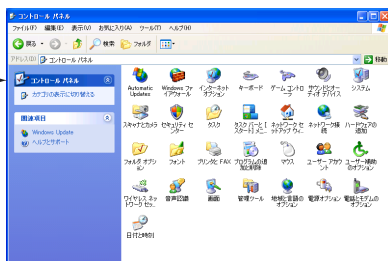
コントロールパネルをクラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で「プリンタとその他のハードウェア」を選択してください。

コントロールパネル (カテゴリ表示)

プリンタとその他のハードウェア



コントロールパネル (クラシック表示)



■ Windows Vista の場合

コントロールパネルをクラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で「ハードウェアとサウンド」を選択してください。

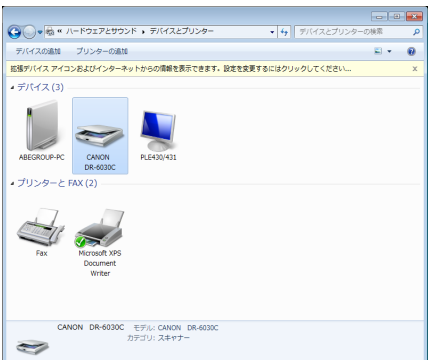
■ Windows 7 の場合

コントロールパネル右上の「表示方法」をクリックして、一覧から「大きいアイコン」または「小さいアイコン」を選択します。または、カテゴリで「ハードウェアとサウンド」を選択してください。

3. 「デバイスとプリンターの表示」(Windows XP および Windows Vista の場合は「スキャナとカメラ」) をクリックします。



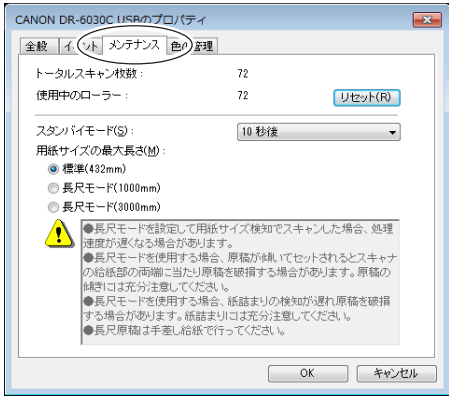
4. [CANON DR-6030C] (または、[CANON DR-6030C SCSI]) を選択して右クリックし、[スキャンプロパティ] (Windows XP および Windows Vista の場合は選択して [プロパティ]) をクリックします。



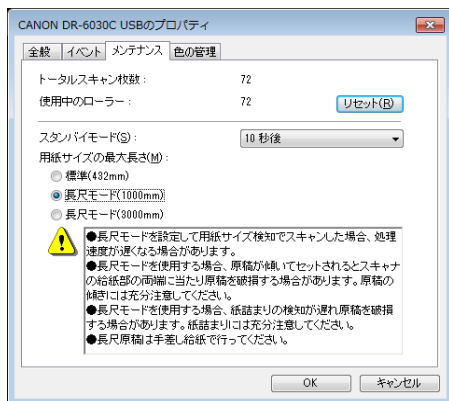
[Canon DR-6030C USBのプロパティ] (または、[CANON DR-6030C SCSIのプロパティ]) が表示されます。



2 [メンテナンス] タブをクリックします。



- 3 [長尺モード(1000mm)] または [長尺モード(3000mm)] をチェックします。



- 4 [OK] をクリックしてスキャナの設定を変更し、「スキャナとカメラのプロパティ」を閉じます。

- 5 スキャナの電源を入れ直してください。

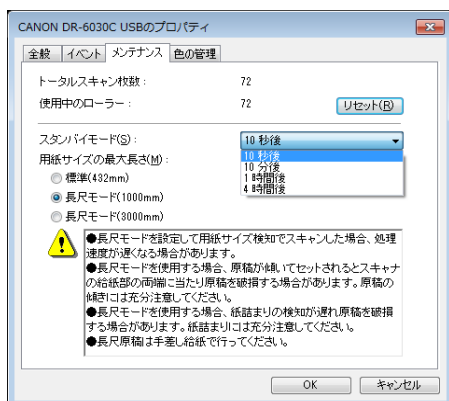


お願い

SCSI 接続で使用している場合、コンピュータの電源を切ってからスキャナの電源を入れ直してください。

スタンバイモードの設定

本機は、一定時間使用しないとスタンバイモードに移行する省電力設計になっています。スタンバイモードへの移行時間は、[10 秒] (工場出荷時)、[10 分]、[1 時間]、[4 時間] から選択可能で、スタンバイモードの設定を変更する場合には、前記の長尺モードと同じ [Canon DR-6030C USBのプロパティ] の [メンテナンス] 画面で設定を変更します。

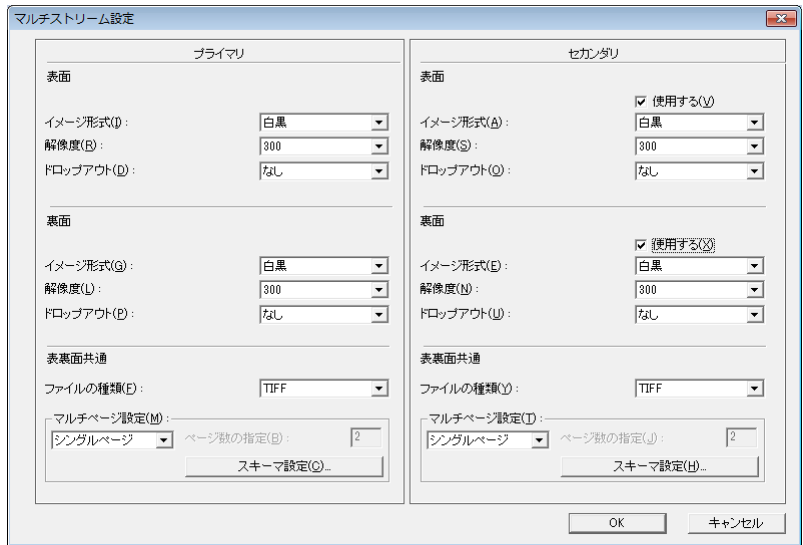


マルチストリーム機能

マルチストリーム機能は、お使いのアプリケーションがマルチストリーム機能に対応している場合に有効で、1回のスキャンで、スキャン条件の異なる2種類の画像（プライマリ画像、セカンダリ画像）を同時に出力することができます。

本機に同梱されている Capture Perfect はマルチストリーム機能に対応しており、以下の設定が可能です。

- **イメージ形式（モード）、解像度、ドロップアウトの設定をプライマリ、セカンダリ画像および、表面、裏面、でそれぞれ設定することができます。**
- **プライマリ画像、セカンダリ画像でファイル形式を変更することができます。ただし、表面、裏面でファイル形式を変更することはできません。**



 **メモ**

Capture Perfect でマルチストリームを使用する場合、「白紙スキップ」、「プレスキャン」、「文字向き検知」、「バッチ区切り」の機能が無効になります。

第3章 ソフトウェアの設定

ここでは、「ISIS/TWAIN ドライバ」の設定ダイアログボックスの説明および、実際に ISIS/TWAIN ドライバを設定する際の設定例について説明しています。設定の詳細についてはヘルプと合わせてお読みください。

1. ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス	56
「基本」タブ	57
「明るさ」タブ	66
「画像処理」タブ	69
「その他」タブ	71
「アドオン」ダイアログボックス	75
2. こんなときは	83
両面原稿の読み取り	83
非定形サイズ原稿の読み取り	83
読み取り領域の調整	84
複数原稿の読み取り	85
スキャンするときの画像の調整	86
プレスキャン	89
設定の登録	89

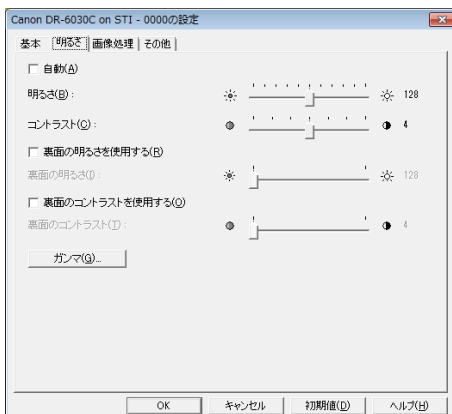
1. ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス

ISIS/TWAIN ドライバの設定ダイアログボックスは「基本」、「明るさ」、「画像処理」、「その他」の4つのタブで構成されています。詳細についてはそれぞれのタブの説明を参照してください。

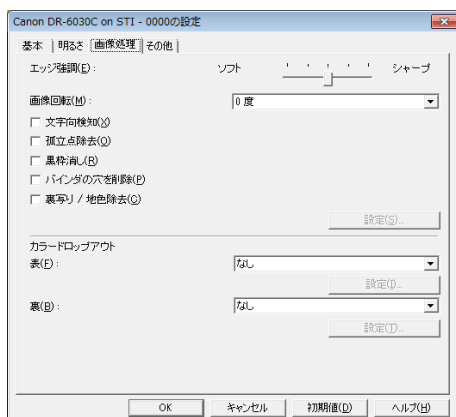
【基本】 タブ (→P.57)



【明るさ】 タブ (→P.66)



【画像処理】 タブ (→P.69)



【その他】 タブ (→P.71)



【OK】 ボタン (ISIS ドライバ)

設定した内容を反映させてダイアログボックスを閉じます。

【スキャン】 ボタン (TWAIN ドライバ)

TWAIN 互換アプリケーションの場合、[OK] ボタンの代わりに [スキャン] ボタンが表示され、設定した内容でスキャンを実行します。

【キャンセル】 ボタン

設定した内容を反映させないでダイアログボックスを閉じます。

【初期値】 ボタン

設定を初期状態に戻します。

【ヘルプ】 ボタン

開いているタブおよびダイアログボックスのヘルプを表示します。

【基本】タブ

ISIS ドライバの「基本」タブは、使用するアプリケーションによって機能が異なります。実際に表示される画面に合わせて設定を行ってください。

「基本」タブ (ISIS/TWAIN ドライバ)



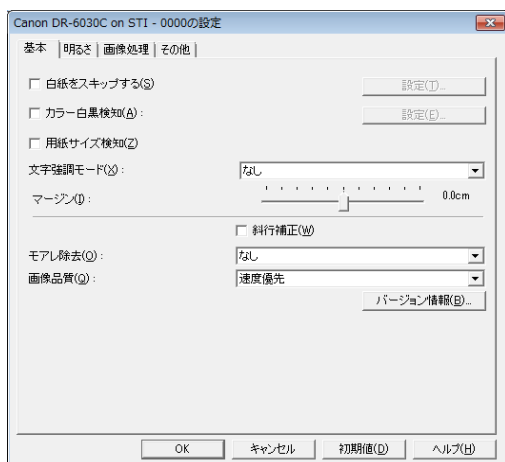
ISIS ドライバ



TWAIN ドライバ

「基本」タブ拡張版 (ISIS ドライバのみ)

ISIS 互換アプリケーションで、スキャンまたは設定用に用意された独自のダイアログボックスから「DR-6030C ISIS ドライバ」を呼び出したときに表示される「基本」タブです。この「基本」タブでは、独自の設定ダイアログボックスでサポートされない DR-6030C の機能の設定を行います。

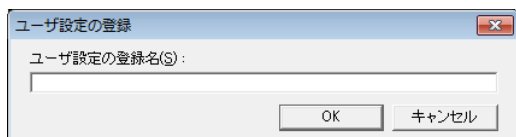


☞ 「白紙をスキップする」、「カラー白黒検知」、「用紙サイズ検知」、「文字強調モード」、「マージン」については、以下の機能の説明を参照してください。

- ・ 「白紙をスキップする」 → 「読み取り面」
- ・ 「カラー白黒検知」 → 「モード」
- ・ 「用紙サイズ検知」 → 「用紙サイズ」
- ・ 「文字強調モード」 → 「モード」
- ・ 「マージン」 → 「スキャン領域」ダイアログボックス

ユーザ設定

「登録」ボタンをクリックすると「ユーザ設定の登録」ダイアログボックスが開きます。



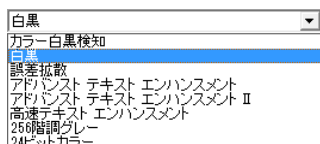
「ユーザ設定の登録」ダイアログボックスは、現在の設定をユーザ設定として名前を付けて登録します。

登録したユーザ設定をリストボックスから選択すると、選択したユーザー設定の内容がダイアログボックスに反映されます。

- ☞ 入力できる文字数は、半角で32文字、全角で16文字以下です。ただしWindows 7では、半角・全角とも32文字まで入力できます。

モード

スキャンするモードを選択します。



- ☞ モードの設定によって機能の一部が制限されます。(→ P.59「モードによる機能の制限」、P.66「明るさタブ」)
- ☞ テキストエンハンスメントモードは、文字の背景に色や模様がある原稿を白黒で読み取る際に適したモードで、文字の周りの背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。
- ☞ テキストエンハンスメントは背景の種類に合わせて3種類のモードが用意されています。原稿に適したモードを選択し、スキャン前にプレスキャンで画像を確認することをお勧めします。

【カラー白黒検知】

スキャンした原稿が、白黒かカラーかを検知して、白黒画像またはカラー画像で保存します。

- ☞ カラー白黒検知を選択すると「設定」ボタンが有効になり、「カラー白黒検知設定」ダイアログボックスを開いてカラー原稿と判断するときの設定と、白黒と判断したときに読み取るモードを選択します。
- ☞ アプリケーションによっては、[カラー白黒検知]を使用すると動作が不安定になる場合があります。このようなときは、[カラー白黒検知]を使用しないでください。

【白黒】

文字や線画の原稿を白黒2値で読み取ります。

【誤差拡散】

写真などの原稿を白黒2値で読み取るためのモードです。

【アドバンスドテキストエンハンスメント】

背景色が濃い原稿や、背景が模様など均一でない原稿を読み取る際に適しています。

- ☞ 背景が均一のときは、文字の周りの背景を除去します。
- ☞ 背景が模様など均一でない場合には、文字が読みやすくなるように背景を処理します。

【アドバンステキストエンハンスメントⅡ】

背景色が均一で、文字や背景が薄い原稿の読み取りに適しています。

- ☞ 文字の感覚が狭い部分の背景は除去できない場合があります。
- ☞ 文字が薄い原稿は、「明るさ」タブにあるコントラストを調整することにより文字が読みやすくなります。
- ☞ 背景が模様など均一でない場合には、背景が表示され文字が読みにくくなる場合があります。

【高速テキストエンハンスメント】

背景の処理をスキャナ本体で行うことにより処理速度を向上させたモードで、背景が薄く文字が濃い原稿の読み取りに適しています。

- ☞ 文字と背景に濃度差がない原稿の場合、文字が読みにくくなる場合があります。
- ☞ 背景色が均一な部分は不均等に白抜きになる場合があります。
- ☞ 背景の処理をスキャナ本体で行うため、他のモードよりも読み取りガラスの汚れの影響を受けやすく、スキャンした画像にスジが入ることがあります。このようなときは、読み取りガラスの汚れを清掃してからやり直すか、[アドバンステキストエンハンスメント]または、[アドバンステキストエンハンスメントⅡ] を選択してください。

【256階調グレー】

写真などの原稿をグレースケールで読み取ります。

【24ビットカラー】

カラー写真などの原稿をフルカラーで読み取ります。

モードによる機能の制限

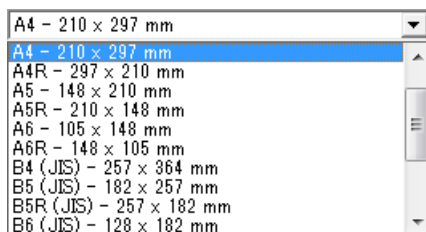
モードの設定により以下のタブの機能の一部が無効になります。「明るさ」タブの機能については P.66「明るさ」タブを参照してください。

設定タブ \ 読み取りモード	基本		画像処理						その他		
	斜行補正	モアレ除去	エッジ強調	孤立点除去	黒枠消し	裏写り/地色除去	白黒反転 (TMAP/トイバ)	カラーロープレアウプ	JPEG転送	バッチ区切り (SSドライブ)	プレスキャン
カラー白黒検知	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×
白黒	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
誤差拡散	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○
アドバンステキストエンハンスメント	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
アドバンステキストエンハンスメントⅡ	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
高速テキストエンハンスメント	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○	○
256階調グレー	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○
24ビットカラー	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○

×：使用不可

用紙サイズ

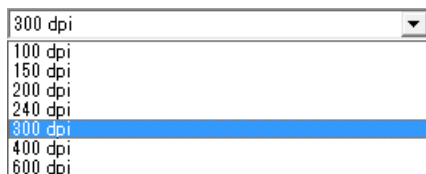
スキャンする原稿に合わせて読み取りサイズを選択します。



- ☞ 以下のような原稿をスキャンするときは、[自動検知] を選択します。
 - ・ 非定形サイズの原稿
 - ・ サイズの異なる原稿が混在している場合
 - ・ 長尺モードを使用する場合 (→ P.49 「長尺モード」)
- ☞ [自動検知] を選択した場合、スキャン領域ダイアログボックスの領域の設定が無効になります。
- ☞ 以下のようなときは、[自動検知] が正常に機能しないことがあります。このような原稿をスキャンするときは定形サイズ ([A4]、[レター] など) を選択するか、[領域] ボタンをクリックしてカスタム用紙サイズを登録します。(→ P.64 「スキャン領域ダイアログボックス」)
 - ・ 左右の端部に暗い部分がある原稿をスキャンする場合
 - ・ 光沢のある、光を反射するような原稿をスキャンする場合
 - ・ 明るさの設定が適切でない場合
 - ・ ガンマ設定ダイアログボックスが、カスタム設定になっている場合
- ☞ アプリケーションによっては、[自動検知] を使用すると動作が不安定になる場合があります。このようなときは、[自動検知] を使用しないでください。

解像度

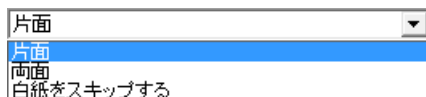
スキャンする解像度を選択します。



- ☞ 解像度を高くすると画像はきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなります。
- ☞ 解像度が 300dpi 以下の場合、「モアレ除去」の設定が有効になり、スキャンした画像にモアレが発生するようになるときにモアレ除去の設定をします。
- ☞ 解像度が 400/600dpi の場合、「画像品質」の設定が有効になります。

読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。



[片面]

給紙口にセットされた原稿のおもて面 (上側) をスキャンします。

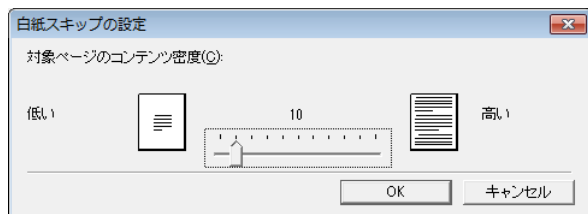
[両面]

原稿の両面をスキャンします。

[白紙をスキップする]

スキャンした画像から原稿が白紙であるかないかを判断し、白紙と判断された画像の保存をスキップします。

- ☞ [白紙をスキップする] を選択すると、[設定] ボタンが有効になり、[設定] ボタンをクリックして「白紙スキップの設定」ダイアログボックスを開きます。
- ☞ 白紙がスキップされなかったり、白紙でない原稿がスキップされるようなときは「白紙スキップの設定」ダイアログボックスで、コンテンツ密度を調整します。



コンテンツ密度は白紙スキップさせる原稿内にあわせて調整し、白紙原稿がスキップされないときはコンテンツ密度を高く、白紙でない原稿がスキップされるようなときはコンテンツ密度を低く調整します。

- ☞ ガンマ設定ダイアログボックスが [カスタム設定] になっている場合、白紙スキップが正常に動作しないことがあります。
- ☞ TWAIN ドライバで、「基本」タブにあるスキャンオプションを [1 ページスキャン] にすると、読み取り面の設定は [片面] になります。
- ☞ アプリケーションの設定に読み取り面の設定 (片面、両面) がある場合、片面に設定してください。

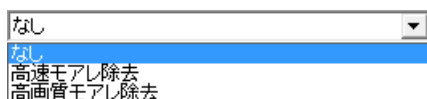
[斜行補正] チェックボックス

原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像で斜行を検知して画像の傾きを修正します。

- ☞ 以下のような時は斜行補正が正常に動作しません。斜行補正をオフにしてください。
 - ・ 周辺部の暗い部分がある原稿をスキャンする場合
 - ・ 光沢のある、光を反射するような原稿をスキャンする場合
 - ・ 明るさの設定が適切でない場合
 - ・ ガンマ設定ダイアログボックスが、カスタム設定になっている場合
- ☞ その他の場合でも、原稿によっては画像の傾きが正しく補正されなかったり、画像の一部が欠落する場合がありますので注意してください。

モアレ除去

解像度が300dpi以下のとき有効になり、スキャンした画像にモアレが発生するようときに使用します。

**[なし]**

モアレ除去を行いません。

【高速モアレ除去】

読み取り速度を優先させるモードで、300dpi でスキャンした画像から指定した解像度の画像を生成します。解像度が300dpiの場合、【高速モアレ除去】は表示されません。

【高画質モアレ除去】

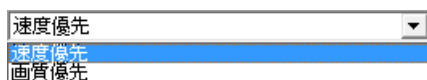
画質を優先させるモードで、600dpi でスキャンした画像から指定した解像度の画像を生成します。

画質は高画質になりますが、スキャン速度は低下します。

- ☞ 原稿サイズを「自動検知」にし、モードを「24ビットカラー」、読み取り面を「両面」にした組み合わせのときに【高画質モアレ除去】を選択してスキャンすると、スキャナ本体のメモリ不足により、原稿の一部がスキャンできないことがあります。このようなときは、「速度優先」で画質を落としてスキャンするか、読み取り面を「片面」にしてスキャンしてください。

画像品質

解像度が400/600dpiのときに有効になり、【速度優先】、【画質優先】を選択します。



【速度優先】

読み取り速度を優先させるモードで、300dpi でスキャンした画像から400/600dpiの画像を生成します。

読み取り速度は速くなりますが画質が若干低下します。

【画質優先】

画質を優先させるモードで、600dpi でスキャンを行います。

解像度が400dpiの場合、スキャンした600dpiの画像から400dpiの画像を生成します。

- ☞ 原稿サイズを「自動検知」にし、モードを「24ビットカラー」、読み取り面を「両面」にした組み合わせのときに【画質優先】を選択してスキャンすると、スキャナ本体のメモリ不足により、原稿の一部がスキャンできないことがあります。このようなときは、「速度優先」で画質を落としてスキャンするか、読み取り面を「片面」にしてスキャンしてください。

スキャンオプション (TWAIN ドライバのみ)

TWAIN 互換アプリケーションで連続スキャンをするときの動作を設定します。

【標準】

スキャンした原稿を排紙してから次の原稿をスキャンします。

【先読みスキャン】

原稿を連続してスキャンするため【標準】にくらべてスキャン速度が早くなります。

【1 ページスキャン】

「基本」タブの読み取り面の設定が【片面】になり、原稿を1枚だけスキャンします。

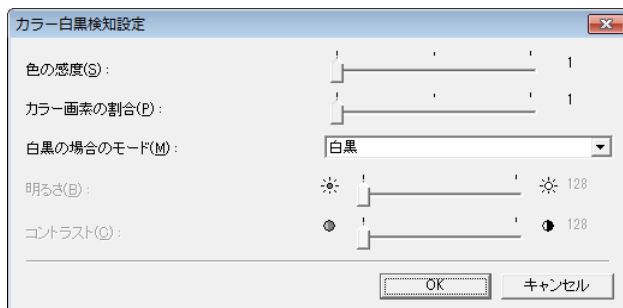
【領域】 ボタン

「スキャン領域」ダイアログボックスを開き、スキャンする領域を設定します。(→ P.64 「スキャン領域ダイアログボックス」)

- ☞ 使用しているアプリケーション側に領域を設定する機能があるときは、【領域】ボタンは表示されません。

「カラー白黒検知設定」ダイアログボックス

モードで「カラー白黒検知」を選択したときに、スキャンした原稿をカラー原稿と判断するための設定と、白黒と判断したときのモードを選択します。



色の感度 / カラー画素の割合

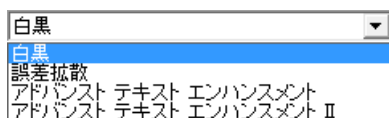
原稿をカラー原稿と判断するための設定です。

色の感度により原稿の色彩を検知し、カラー画素の割合でスキャンした原稿をカラー原稿として判断します。

- ☞ 通常は、初期設定のまま使用し、色彩の薄い原稿を白黒原稿として判断させる場合に設定を変更します。
- ☞ 初期設定でカラー原稿が白黒原稿として判断されてしまうような場合は、「[24ビットカラー]」を選択してください。「[カラー白黒検知]」では、「[高速テキストエンハンスメント]」は選択できません。

白黒の場合のモード

原稿を白黒と判断したときの読み取りモードを設定します。



- ☞ 「[カラー白黒検知]」では、「[高速テキストエンハンスメント]」は選択できません。

明るさ

白黒の場合のモードで「[アドバンスドテキストエンハンスメント]」、「[アドバンスドテキストエンハンスメント II]」を選択したときの明るさを調整します。その他のモードでの明るさは、「明るさ」タブの明るさの設定が反映されます。

コントラスト

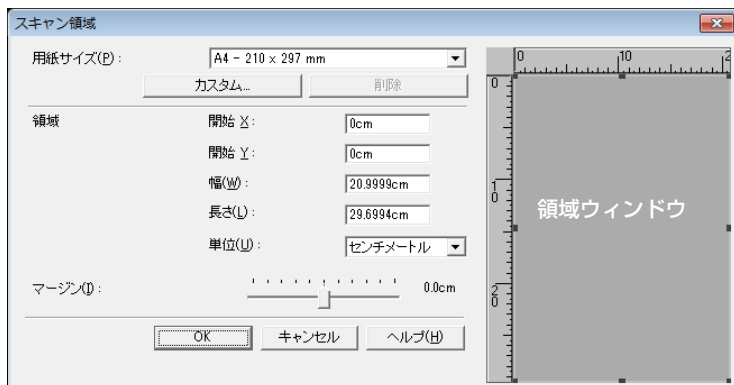
白黒の場合のモードで「[アドバンスドテキストエンハンスメント II]」を選択したときのコントラストを調整します。その他のモードでのコントラストは、「明るさ」タブのコントラストの設定が反映されます。

「スキャン領域」ダイアログボックス

用紙サイズで指定したサイズの原稿の一部を読み取るときや、非定形の原稿サイズを登録するためのダイアログボックスです。

スキャン領域ダイアログボックスは ISIS ドライバ、TWAIN ドライバで異なります。

スキャン領域ダイアログボックス (ISIS ドライバ)



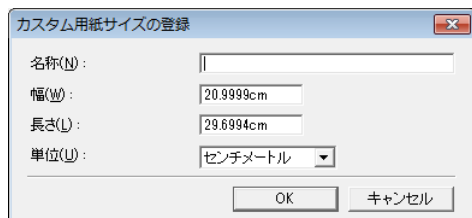
スキャン領域ダイアログボックス (TWAIN ドライバ)



用紙サイズ

「用紙サイズ」の設定と連動し、スキャンする原稿のサイズを選択します。

- ☞ 「カスタム」ボタンを押すと、「カスタム用紙サイズの登録」ダイアログボックスが開き、非定型サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。



領域

スキャンする領域を選択します。

- ☞ 以下の設定のとき、領域の設定は無効になります。
 - ・用紙サイズが [自動検知]
 - ・「画像処理」タブの [文字向検知] が有効
- ☞ 「基本」タブの [斜行補正] が有効になっていると、指定した領域がズレてスキャンされます。

領域ウィンドウ

用紙サイズの設定に連動して領域ウィンドウの表示が変化し、領域の設定に合わせて領域ウィンドウ内の領域が変化します。

- ☞ 領域ウィンドウ内の領域は、マウスで■をドラッグして領域を指定することもできます。
- ☞ CapturePerfect では、最後にスキャンした画像が領域ウィンドウに表示されます。

マージン

スキャン領域の上下左右にマージンを設定し、原稿の端が欠けないようにしたり、画像のまわりに黒い枠がつかないようにスキャン領域を調整します。

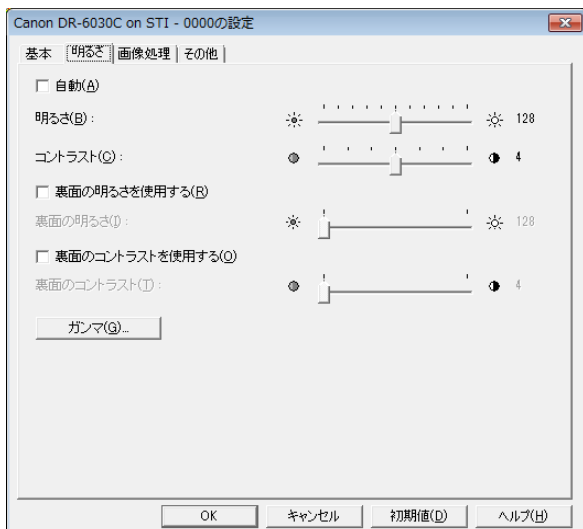
- ☞ 原稿の端が欠けるようなときはスライダを右に動かしてスキャン領域を広くします。
- ☞ 画像のまわりに黒い枠がつかないようにするときにはスライダを左に動かしてスキャン領域を狭くします。
- ☞ マージンの単位は、「単位」の設定に合わせて変更します。ただし、「基本」タブ拡張版 (→ P.57) にあるマージンでは「単位」の変更はできません。

プレビューボタン (TWAIN ドライバのみ)

「プレビューボタン」をクリックすると、原稿を1枚スキャンして領域ウィンドウにプレビュー画像が表示されます。(→ P.84 「読み取り領域の調整」)

「明るさ」タブ

「明るさ」タブでは、スキャンするときの明るさとコントラストの設定とガンマの設定を行います。明るさとコントラストの設定は「基本」タブのモードの設定によって調整できる設定が異なり、また、ガンマの設定をカスタムにした場合、すべての設定が固定になります。



明るさとコントラストの設定は、「基本」タブのモードの設定によって調整できる設定が以下のようになります。

モード	自動	明るさ	コントラスト	裏面の明るさ	裏面のコントラスト
カラー白黒検知	×	○	○	○	○
白黒	○	○	○	○	○
誤差拡散	×	○	○	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	×	○	×	×	×
アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ	×	○	○	×	×
高速テキストエンハンスメント	×	○	○	×	×
256階調グレー	×	○	○	○	○
24ビットカラー	×	○	○	○	○

○：設定可 ×：設定不可または自動

【自動】 チェックボックス

読み取りモードが「白黒」のときに有効になり、原稿に合わせて明るさとコントラストを調整します。

明るさ

スキャンする画像の明るさを調整します。

- ☞ 画像が濃い場合や、裏面の文字が写り込むようなときにはスライダーを右に動かして設定値を高くします。
- ☞ 画像が薄い場合にはスライダーを左に動かして設定値を低くします。
- ☞ 「自動」チェックボックスがオンの場合、明るさの自動調整のレベルを調整します。

コントラスト

スキャンする画像のコントラストを調整します。

【裏面の明るさを使用する】チェックボックス

原稿の表裏の濃淡に差がある場合に、裏面の明るさを調整します。

【裏面のコントラストを使用する】チェックボックス

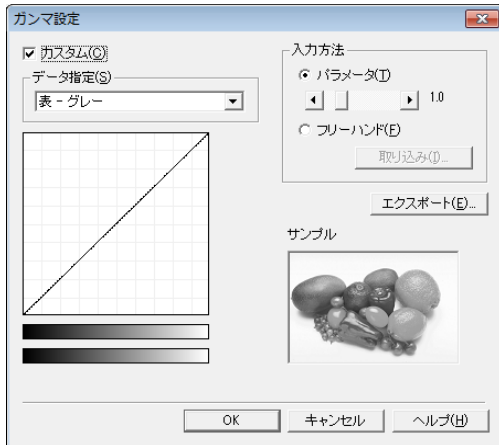
原稿の表裏の濃淡に差がある場合に、裏面のコントラストを調整します。

【ガンマ】 ボタン

「ガンマ設定」ダイアログボックスを開き、ガンマカーブを設定します。

「ガンマ設定」ダイアログボックス

ガンマ設定ダイアログボックスは、ガンマ補正値の設定を変更するときに設定します。



【カスタム】 チェックボックス

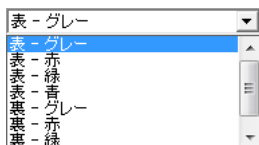
ガンマ補正をカスタム設定にする場合にチェックします。

☞ ガンマ設定を「カスタム」にした場合、[明るさ] タブの設定はすべて自動になります。



データ指定

カスタム設定を適用する面と色を指定します。



☞ 指定した色に合わせてカラーバー、サンプル画像の色が変わります。

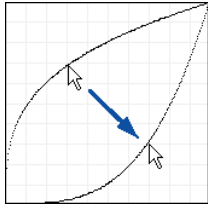
入力方法

設定方法を選択してガンマ補正値を設定します。

[パラメータ]

スライダを左右に動かして0.2～5.0の範囲でガンマ補正値を指定します。

- ☞ ガンマ補正値とガンマカーブグラフ、サンプル画像の色は連動して変化します。
- ☞ ガンマカーブグラフ上のポイントをマウスでクリックすると、クリックしたポイントに合わせてガンマカーブ、サンプル画像の色が変化します。
- ☞ ガンマカーブグラフ上でマウスでドラッグして移動させると、ガンマカーブが追従します。



[フリーハンド]

ガンマテーブルの入力値に対する出力値をマウスで指定します。

- ☞ ガンマカーブグラフ上のポイントをマウスでクリックすると、クリックしたポイントに出力値が設定されます。
- ☞ ガンマカーブグラフ上でマウスでドラッグして移動させると、マウスの動きに合わせて出力値が設定されます。

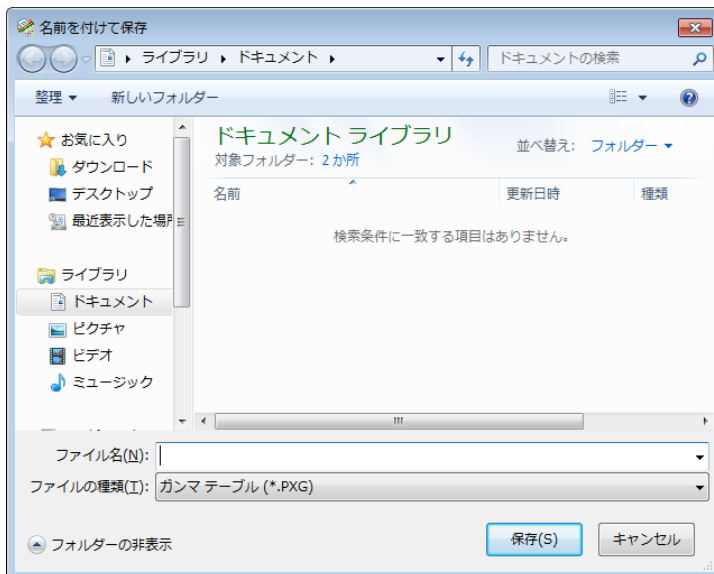
[取り込み] ボタン

[エクスポート] ボタンで書き出したガンマテーブルデータ (*.pxg) を取り込みます。

- ☞ 取り込んだガンマデータは、ガンマカーブグラフに反映されます。

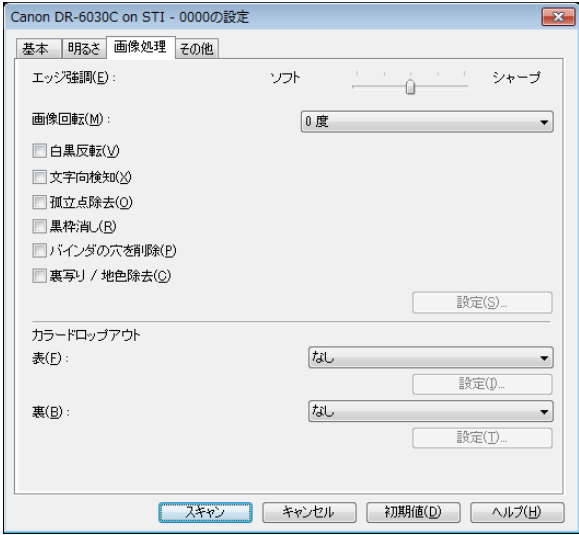
[エクスポート] ボタン

設定したガンマ補正値を、ガンマテーブルデータ (*.pxg) としてファイルに書き出します。



「画像処理」タブ

「画像処理」タブでは、スキャンした画像を処理するための設定を行います。設定項目の一部については、「基本」タブのモードの設定によって無効になる機能があります。詳細についてはP.59「モードによる機能の制限」を参照してください。



【白黒反転】 チェックボックス (TWAIN ドライバのみ)

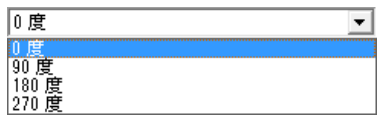
原稿を白黒2値でスキャンするとき原稿を白黒反転させてスキャンします。

エッジ強調

画像の輪郭を調整します。スライダを「ソフト」方向に動かすと画像の輪郭が柔らかくなり、「シャープ」方向に動かすと画像の輪郭がくっきりとします。

画像回転

スキャンした画像の向きが正常になるように回転角度を指定します。



👁️ セットした原稿の向きと指定した角度によりスキャンした画像が次のように回転します。

フィーダ 原稿：上向き				
画像回転 (右回転)	0度	90度	180度	270度
出力画像				

【文字向検知】 チェックボックス

画像の中にある文字の向きを検知し、文字の向きが正常になるように画像を90度単位で回転させます。

- ☑ 文字向検知を有効にすると、[画像回転] と、スキャン領域ダイアログボックスの領域の設定が無効になります。
- ☑ アプリケーションによっては文字向き検知に対応していない場合があります。文字向き検知を有効にするとアプリケーションが正常に動作しなくなるようなときは、文字向き検知を無効にしてください。

【孤立点除去】 チェックボックス

白地の中で孤立した3×3ドット以内の黒い点を除去します。

【黒枠消し】 チェックボックス

スキャンした画像の周りにできる黒い部分を白にします。

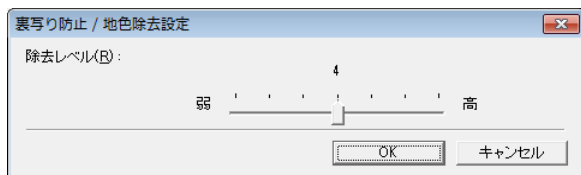
【バインダの穴を削除】 チェックボックス

バインダに綴じられていた原稿をスキャンするときにできる黒い穴の部分を白にします。

- ☑ 文字や図形の上に穴が開けられている場合、穴の部分が図形として認識されるため、削除されないことがあります。

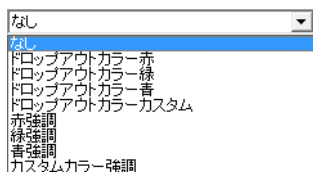
【裏写り / 地色除去】 チェックボックス

薄い原稿や裏面が濃い原稿をスキャンした時に起きる裏写りや、原稿の地色を除去します。このチェックボックスをチェックすると「設定」ボタンが有効になり、「裏写り防止 / 地色除去設定」ダイアログボックスで除去レベルを調整できます。

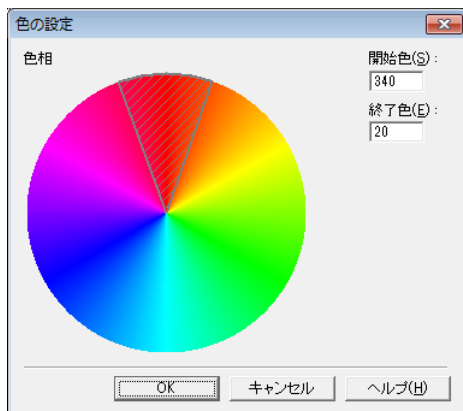


カラードロップアウト

読み取りのモードが [24ビットカラー] 以外のときに有効で、赤 / 緑 / 青色の読み飛ばし (ドロップアウト) または、色強調を設定します。



[ドロップアウトカラーカスタム]、[カスタムカラー強調] を選択すると [設定] ボタンが有効になり、「色の設定」ダイアログボックスで色の範囲を指定してドロップアウトまたは、色強調させることができます。



- ☞ 斜線部の領域の色がドロップアウトまたは、色強調されます。
- ☞ 斜線部の領域は、マウスでドラッグして領域を移動することができます。
- ☞ 斜線部の枠をマウスでドラッグすると、領域の範囲を変更することができます。
- ☞ モニタ上で指定した色と実際にドロップアウト/強調される色はお使いのコンピュータの環境により異なり、指定した色が処理されない場合もあります。

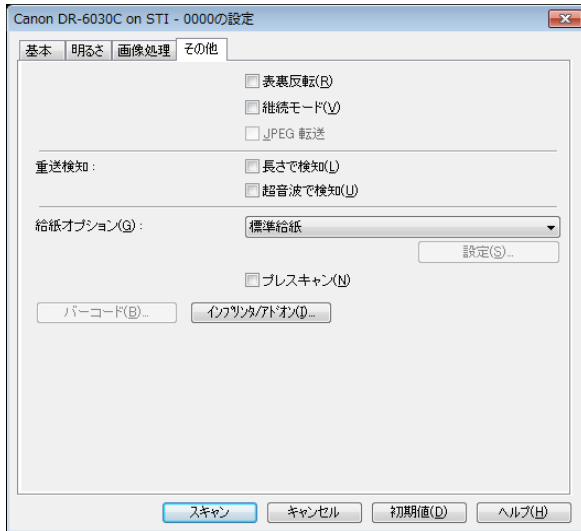
「その他」タブ

「その他」タブは ISIS ドライバ、TWAIN ドライバで設定できる機能が異なります。また、設定項目の一部については、「基本」タブのモードの設定によって無効になる機能があります。詳細については P.59 「モードによる機能の制限」を参照してください。

「その他」タブ (ISIS ドライバ)



「その他」タブ (TWAIN ドライバ)



【表裏反転】 チェックボックス

読み取り面の設定により以下の読み取りを行います。

- ☑ 読み取り面の設定が [片面] の場合、原稿のうら面をスキャンします。
- ☑ 読み取り面の設定が [両面]、[白紙をスキップ] の場合、原稿のうら→おもての順に画像を保存します。

【継続モード】 チェックボックス

読み取り中に紙詰まりなどで搬送が停止したときに、アプリケーション側にエラーを送信しないで読み取りを中断します。搬送が停止した原因を処理した後、通常の操作で読み取りを継続することができます。

【JPEG 転送】 チェックボックス

スキャンした画像データを JPEG 圧縮してコンピュータに出力します。

スキャンした画像データは、ISIS/TWAIN ドライバ、またはアプリケーションからの要求により「非圧縮転送」または「JPEG 転送」によりスキャナから出力されます。

- ☑ 「非圧縮転送」は、読み取った画像データを圧縮しないで出力します。そのため、画像データが大きい場合、スキャナからコンピュータへのデータ転送に時間を要します。
- ☑ 「JPEG 転送」は、グレースケール、カラー画像の出力に有効で、読み取った画像データをスキャナ内部で JPEG 圧縮した画像データを出力します。

出力される画像データを小さくすることにより、スキャナからコンピュータへのデータ転送時間が短くなります。

JPEG 転送をオンにすると、スキャナからの画像データは、必ず JPEG 圧縮された画像データが出力されます。

- ☑ アプリケーションでの保存形式が非圧縮のファイル形式になっている場合、JPEG 圧縮された画像データを非圧縮データに伸長してからアプリケーションに転送します。そのため、画質が若干劣化します。
- ☑ アプリケーションが「JPEG 転送」を要求している場合、JPEG 転送の設定は無視されません。
- ☑ アプリケーションからの要求は、アプリケーションの仕様により異なります。

重送検知

原稿が重なって搬送されたことを検知して搬送を停止させる機能で、スキャンする原稿に合わせて検知方法を選択します。(→ P.48 「重送検知」)

【長さで検知】

サイズの同じ原稿の束をスキャンする時に有効な検知方法で、1枚目の原稿の長さを基準とし、基準の長さより50mm以上長い、または短い原稿を検知したときに重送として判断して搬送を停止させます。

【超音波で検知】

サイズの異なる原稿の束をスキャンする時に有効な検知方法で、重なって搬送された原稿と原稿の間隙(50mm以上)を超音波で検知したときに重送として判断して搬送を停止させます。

- ☞ 2つの検知方法は、同時に使用することもできます。
- ☞ 原稿の重なりが50mmないときや、静電気などで原稿が密着しているときには超音波による重送検知が正常に検知できない場合があります。

給紙オプション

原稿の給紙方法を選択します。



【標準給紙】

一度にセットできる少ない原稿の束をスキャンするときに有効で、セットした原稿がなくなるとスキャンを停止します。

【パネルで給紙】

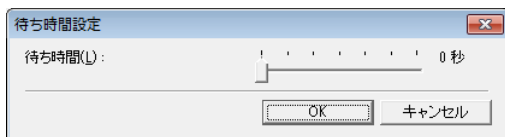
サイズの異なる用紙が混在している原稿の束を連続してスキャンするときに有効で、原稿をセットした後、ジョブボタンに割り当てられたスタートボタンでスキャンを開始し、ストップボタンでスキャンを停止します。

- ☞ サイズの異なる原稿が混在しているときなど、原稿をセットした後に原稿ガイドの位置を調整しながらスキャンすることができます。

【自動給紙】

同じサイズの原稿の束を連続してスキャンするときに有効で、原稿のセットをスキャナが検知するとスキャンを開始し、ストップボタンでスキャンを停止します。

- ☞ [自動給紙]を選択すると、「設定」ボタンが有効になり、「待ち時間設定」ダイアログボックスで原稿を検知してからスキャンを開始するまでの時間を設定できます。(→ P.85「複数原稿の読み取り」)



- ☞ スキャナ本体の給紙切替えレバーが下側(⚙)になっていると、給紙オプションは[手差し給紙]になり、変更できなくなります。(→ P.28「非分離給紙の手順」)



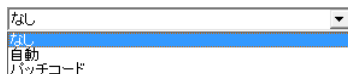
バッチ区切り (ISIS ドライバのみ)

給紙オプションの設定で選択肢が異なり、アプリケーションでバッチ区切りを有効にしてスキャンを開始したときのバッチ区切りのタイミングを選択します。

給紙オプションが【標準給紙】の場合



給紙オプションが【自動】の場合



【自動】

原稿の束ごとにバッチが区切られます。

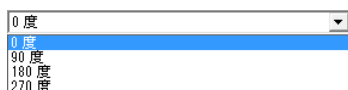
【バッチコード】

原稿の間に挿入されたパッチコードシートを検知した時にバッチが区切られます。









(→ P.42 「パッチコードシートの利用」)

パッチコードの向き (ISIS ドライバのみ)

バッチ区切りの設定を「パッチコード」にしたときに有効になり、パッチコードの向きに合わせて設定します。



☞ 原稿内のパッチコードと「パッチコードの向き」設定は以下のようになります。

PATCH T (FILE A)				
PATCH II (FILE B)				
パッチコードの向き	0度	90度	180度	270度

【プレスキャン】 チェックボックス

スキャン開始時に原稿を1枚スキャンしてプレスキャンパネルを表示します。スキャンした画像をプレスキャンウィンドウに表示し、明るさとコントラストを確認/調整してからスキャンを続行します。(→ P.89 「プレスキャン」)

【バーコード】 ボタン

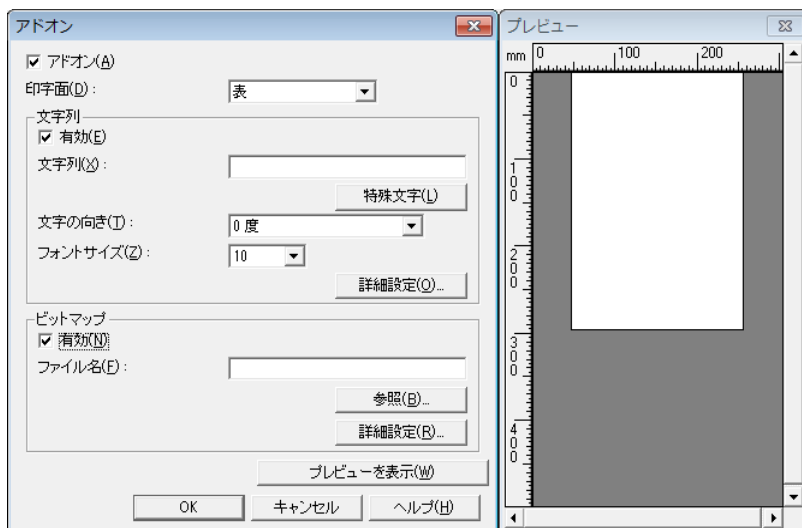
オプションの「バーコードモジュール」をインストールすると有効になり、バーコードダイアログボックスを開いて原稿内にあるバーコードを検知する設定を行います。詳細については、ISIS/TWAIN ドライバのヘルプまたは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

【アドオン】 ボタン

「アドオン」ダイアログボックスを開き、スキャンした画像に任意の文字列やビットマップ画像をアドオンするための設定を行います。(→ P.75 「アドオン」ダイアログボックス)

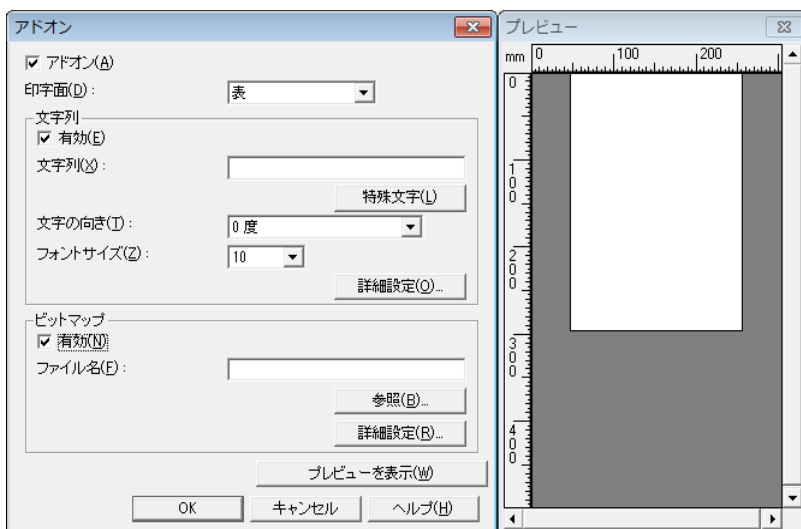
「アドオン」ダイアログボックス

「アドオン」ダイアログボックスは、「その他」タブにある「アドオン」ボタンをクリックしたときに開くダイアログボックスで、スキャンした画像に任意の文字列や画像をアドオンするための設定を行います。



アドオンダイアログボックス

文字列およびビットマップの「詳細設定」ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログボックスで、アドオンする文字列およびビットマップ画像の設定を行います。



「アドオン」チェックボックス

スキャンした画像へのアドオンを行う場合にチェックします。

アドオン(A)

「文字列」の設定

「有効」チェックボックス

このチェックボックスをオンにすると、アドオンする文字列の設定が有効になります。

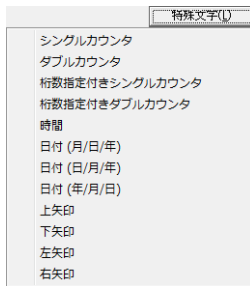
文字列

アドオンする任意の文字列を入力します。

入力できる文字列は以下の通りです。

- ・ 数字：0～9
- ・ アルファベット：A～Z、a～z
- ・ 記号：! " ' # \$ % & ' () * + - . / : ; < > = ? @ [] { } ~ ` ¥

- ☞ カウンタや日時、矢印などの特殊文字は、[特殊文字] ボタンをクリックして表示されるリストから選択します。文字列にはそれぞれの省略文字が入力されます。



[シングルカウンタ] 省略文字：<C>

9桁のカウンタを1つアドオンします。

[ダブルカウンタ] 省略文字：<CC>

9桁のカウンタを2つアドオンします。

[桁数指定付きシングルカウンタ] 省略文字：<Cx>

シングルカウンタの桁数を指定するダイアログボックスが表示されます。指定した桁数のカウンタをアドオンします。

[桁数指定付きダブルカウンタ] 省略文字：<CxCx>

ダブルカウンタの桁数を指定するダイアログボックスが表示されます。指定した桁数のカウンタをアドオンします。

[時間] 省略文字：<TIME>

スキャンした時刻を24時間表示で8桁アドオンします。

[日付 (月/日/年)] 省略文字：<MYD>

スキャンした日付けを月/日/年の順に西暦表示で10桁アドオンします。

[日付 (日/月/年)] 省略文字：<DYM>

スキャンした日付けを日/月/年の順に西暦表示で10桁アドオンします。

[日付 (年/月/日)] 省略文字：<YMD>

スキャンした日付けを年/月/日の順に西暦表示で10桁アドオンします。

[上矢印] 省略文字：<U>

上向きの矢印 (↑) をアドオンします。

[下矢印] 省略文字：<D>

下向きの矢印 (↓) をアドオンします。

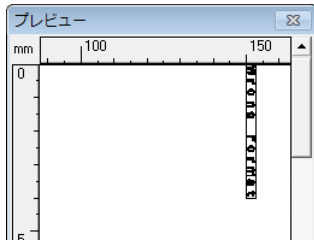
[左矢印] 省略文字：<L>

左向きの矢印 (←) をアドオンします。

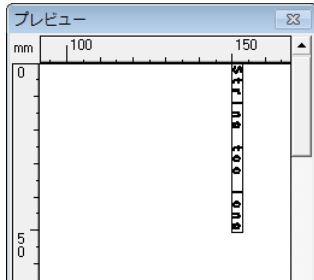
[右矢印] 省略文字：<R>

右向きの矢印 (→) をアドオンします。

- ☞ 特種文字から入力できるカウンタは1種類です。カウンタを2種類入力した場合、プレビューウィンドウの表示がエラー表示になります。



- ☞ アドオンできる文字数は最大96文字です。フォントサイズによって入力できる文字数が制限されます。アドオンされる文字数が制限値を越えた場合、プレビューウィンドウの表示がエラー表示になります。



- ☞ 特殊文字を入力した場合、入力した文字数は少なくとも実際にアドオンされる文字数は多くなります。

文字の向き

アドオンする文字の向きを指定します。



- ☞ 文字の向きは搬送方向に対して以下のようになります。

文字の向き	0度	90度	180度	270度
アドオン	↑ A B C...	↑ : C B A	↑ A B C...	↑ A B C :

フォントサイズ

アドオンするフォントのサイズを指定します。

フォントサイズ (ポイント) : 3, 4, 6, 8, 9, 10, 12, 16, 18, 20, 24, 28, 30, 38

- ☞ 画像にアドオンする場合、スキャンする解像度によって画像としての文字の大きさが変わります。

【詳細設定】 ボタン (文字列)

文字列設定ダイアログボックスを表示します。(→P.80「文字列設定/ビットマップ設定ダイアログボックス」)

「ビットマップ」の設定

【有効】 チェックボックス

このチェックボックス をチェックすると、ビットマップ画像のアドオンが有効になります。

- ☞ ビットマップ画像をアドオンする場合、スキャン開始時にビットマップ画像の処理を行います。そのため、スキャン開始から実際にスキャンが開始されるまでの時間はビットマップ画像のサイズおよび設定によって変化します。
- ☞ ビットマップ画像をアドオンする場合、スキャンが開始されるまでの間メッセージ画面が表示されます。

ファイル名

アドオンする画像ファイルを指定します。

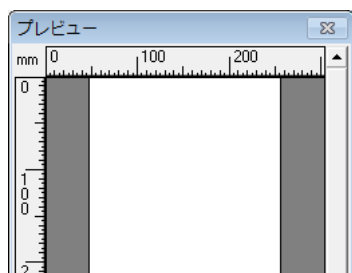
- ☞ ファイル名で指定したビットマップ画像は、右に90度回転させてアドオンされます。
- ☞ アドオンできるのはビットマップファイル (*.bmp) のみです。

【詳細設定】 ボタン

ビットマップ設定ダイアログボックスを表示します。(→P.80「文字列設定/ビットマップ設定ダイアログボックス」)

プレビューウィンドウ

プレビューウィンドウには、設定した内容がプレビュー表示されます。



- ☞ プレビュー表示は、マウスの左ボタンで4段階に拡大、右ボタンで縮小されます。

【プレビューを表示】 ボタン

このボタンをクリックすると、プレビューウィンドウがアクティブになります。

文字列設定 / ビットマップ設定ダイアログボックス

文字列およびビットマップの「詳細設定」ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログボックスで、アドオンする文字列およびビットマップ画像の設定を行います。

アドオンの文字列設定ダイアログボックス

	カウンタ1	カウンタ2
スタート値:	0	0
カウントアップ量:	1	1
カウントアップタイミング:	毎ページ	ニューファイル
リセット値:	0	0
リセットタイミング:	ニューファイル	なし

アドオンの設定ダイアログボックス

水平方向の印字位置

給紙口の端からの距離を入力します。

150 (0-300 mm)

- ☑ 表面にアドオンする場合は、給紙口左端からの距離を入力します。
- ☑ 裏面にアドオンする場合は、給紙口右端からの距離を入力します。
- ☑ 入力値はアドオンする文字列（ビットマップ画像）の左端の位置を入力します。

垂直方向の印字位置

用紙の先端からの距離を入力します。

0 (0-500 mm)

印字幅

ビットマップ画像をアドオンする幅を入力します。

25 (5-25 mm)

- ☞ ビットマップ画像は右に90度回転させ、指定した印字幅に縮小してアドオンされます。
- ☞ 画像ファイルのサイズによってはエラーが表示される場合があります。エラーが表示されるときは印字幅を小さくしてください。

カウンタ 1

シングルカウンタまたは、ダブルカウンタのカウンタ 1 の設定を表示します。

- ☞ 設定の変更はカウンタ 1 の設定ダイアログボックスで行います。

カウンタ 2

ダブルカウンタのカウンタ 2 の設定を表示します。

- ☞ 設定の変更はカウンタ 2 の設定ダイアログボックスで行います。

【変更】 ボタン

カウンタの設定ダイアログボックスを開きます。

カウンタ 1、2 の設定ダイアログボックス

文字列設定ダイアログボックスの【変更】 ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログボックスで、アドオンするカウンタの設定を行います。

スタート値

カウンタのスタート値を設定します。

カウントアップ量

カウンタの増加量を設定します。ここで設定した数ずつカウンタが増加します。

カウントアップタイミング

カウントアップするタイミングを指定します。

【ニューファイル】 (ISIS ドライバのみ有効)

「その他」タブのバッチ区切りの設定でバッチが区切られたときにカウントアップします。
(→ P.74 「バッチ区切り」)

【毎ページ】

1 ページ毎にカウントアップします。

【なし】

カウントアップしません。

リセット値

カウンタがリセットされたときの最初の値を選択します。

リセットタイミング

カウンタをリセットするタイミングを選択します。

[ニューファイル] (ISIS ドライバのみ有効)

「その他」タブのバッチ区切りの設定でバッチが区切られたときにカウントアップします。
(→ P.74 「バッチ区切り」)

[毎ページ]

1 ページ毎にカウンタをリセットします。

[なし]

カウンタをリセットしません。

2. こんなときは

DR-6030C ISIS/TWAIN ドライバの設定例です。ISIS/TWAIN ドライバを設定する際の参考にしてください。該当項目の説明については、「ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス」(→ P.56) を参照してください。

両面原稿の読み取り

- 両面原稿をスキャンしたい。

「基本」タブの読み取り面の設定を「両面」に設定します。(→ P.60 「読み取り面」)

読み取り面(S): 両面

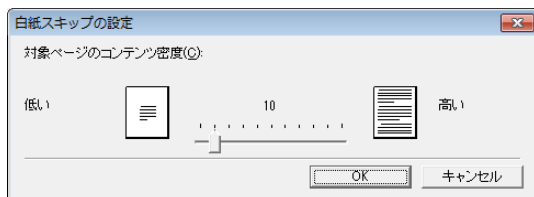
- 原稿の裏面などの白紙のページをスキャンしないようにしたい。

「基本」タブの読み取り面の設定を「白紙をスキップする」に設定します。両面スキャンを行ない、白紙と判断したページの画像を保存しません。(→ P.60 「読み取り面」)

読み取り面(S): 白紙をスキップする

- 白紙スキップにしても白紙がスキップされない。

「白紙スキップの設定」でコンテンツ密度を高く調整します。薄い地色のある原稿に対してコンテンツ密度が低く設定されていると白紙としてスキップされない場合があります。(→ P.60 「読み取り面」)



- 文字のある原稿が白紙としてスキップされる。

「白紙スキップの設定」でコンテンツ密度を低く調整します。文字量の少ない原稿に対してコンテンツ密度が高く設定されていると白紙としてスキップされる場合があります。(→ P.60 「読み取り面」)

非定形サイズ原稿の読み取り

- 非定形サイズの原稿をスキャンしたい。

「基本」タブの用紙サイズの設定で、定形サイズを指定して非定形サイズの原稿をスキャンすると、原稿の周りに黒い部分ができます。非定形サイズの原稿をスキャンするときは、「用紙サイズ」の設定を「自動検知」に設定します。原稿のサイズが自動検知されます。(→ P.60 「用紙サイズ」)

用紙サイズ(P): 自動検知

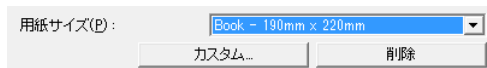
- 長尺の原稿をスキャンしたい。

スキャナ本体の設定を長尺モードに設定し、基本設定ダイアログボックスの「用紙サイズ」の設定を「自動検知」に設定します。3,000mmまでの原稿をスキャンすることができます。(→ P.49 「長尺モード」、P.60 「用紙サイズ」)



- 非定形サイズの原稿を用紙サイズに登録したい。

用紙サイズに登録されていない非定形サイズの原稿は、スキャン領域ダイアログボックスにある「カスタム」ボタンをクリックして「カスタム用紙サイズ」として登録することができます。(→ P.58 「ユーザ設定」)



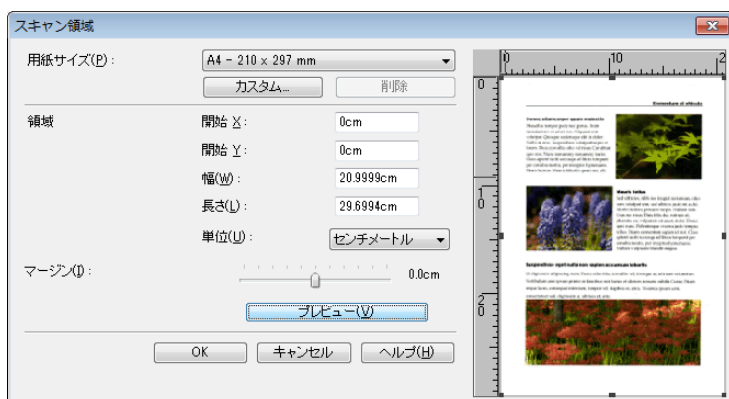
読み取り領域の調整

- 原稿の一部をスキャンしたい。

スキャン領域ダイアログボックスで、任意の領域を指定します。但し、読み取りサイズの設定が「自動検知」のときは領域の設定が無効になります。(→ P.64 「スキャン領域ダイアログボックス」)



TWAINドライバの場合、スキャナに原稿をセットして「プレビュー」ボタンをクリックすると原稿を1枚スキャンします。スキャンした画像が領域ウィンドウに表示されるので、プレビュー画像を見ながら領域を設定することができます。(→ P.65 「プレビューボタン」)



CapturePerfectでは、最後にスキャンした画像が領域ウィンドウに表示されます。「スキャン1ページ」を実行してからスキャン領域ダイアログボックスを開くとスキャンした画像が領域ウィンドウに表示されるので、プレビュー画像を見ながら領域を設定することができます。

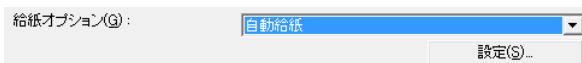
- 原稿のズレによる画像の欠けや、画像の周りにできる黒い枠をなくしたい。
スキャン領域ダイアログボックスにある「マージン」でスキャン領域を調整します。



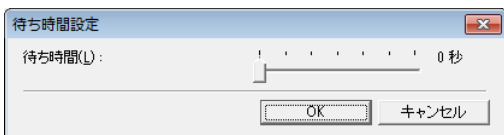
画像が欠けるようなときはスライダを右に動かしてスキャン領域を広くします。逆に、画像の周りに黒い枠ができないようにするときは、スライダを左に動かしてスキャン領域を狭くします。

複数原稿の読み取り

- 1度にセットできない原稿の束を複数の束に分けて連続スキャンしたい。
「その他」タブの「給紙オプション」の設定を「自動給紙」または、「パネルで給紙」にします。(→ P.73 「給紙オプション」)
給紙オプションを「自動給紙」にした場合、原稿のセットをスキャナが検知してスキャンを開始するため、原稿を繰り返しセットするだけで連続スキャンを行なうことができます。

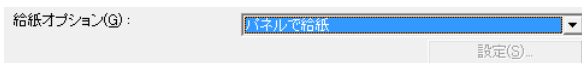


「設定」ボタンは、原稿をセットしてからスキャンを開始するまでの待ち時間を設定します。



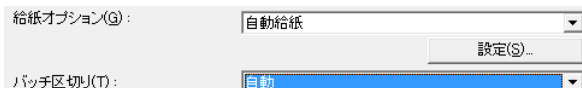
自動給紙で原稿をセットしたあとに原稿ガイドを調整したり、原稿を揃える必要があるときに待ち時間を設定してください。

給紙オプションを「パネルで給紙」にした場合は、原稿をセットしたあと、スタートボタンを押すまでスキャンが開始されません。



サイズの異なる原稿をセットしたあとに原稿ガイドを調整したり、原稿を揃えてからスタートボタンを押してスキャンを開始します。

- 連続スキャンで原稿の束ごとにファイルを分けたい。(ISISドライバのみ)
給紙オプションの設定を「自動給紙」または「パネルで給紙」に設定し、バッチ区切りの設定を「自動」にします。原稿の束ごとにファイルが区切られます。(→ P.74 「バッチ区切り」)



- 原稿の束を1枚ずつスキャンしたい。

給紙オプションの設定を「自動給紙」または「パネルで給紙」に設定して1枚ずつスキャンします。原稿を1枚スキャンするとスキャナが待機状態になります。

給紙オプション(O): 自動給紙

給紙オプションを「自動給紙」にした場合、次の原稿をセットするとスキャナが原稿を検知してスキャンを行ないます。

給紙オプション(O): パネルで給紙

給紙オプションを「パネルで給紙」にした場合は、次の原稿を1枚セットし、スタートボタンを押してスキャンを行ないます。

- 原稿が重なって搬送されたときにスキャナを停止させたい。

「その他」タブの「重送検知」の検知方法を、スキャンする原稿に合わせてチェックします。(→ P.73 「重送検知」)

重送検知: 長さで検知(L) 超音波で検知(U)

スキャンするときの画像の調整

- 背景のある原稿の文字をはっきりさせたい。(白黒2値で読み取る場合)

「基本」タブのモードの設定で「アドバンスドテキストエンハンスメント」を選択します。文字の背景が除去または処理され、文字が強調されて読みやすくなります。(→ P.58 「モード」)

モード(M): アドバンスドテキストエンハンスメント

- 原稿の表裏の濃淡に差がある原稿をスキャンしたい。

「明るさ」タブで裏面の明るさとコントラストを調整します。ただし、読み取りモードがテキストエンハンスメントモードのときは、裏面の調整はできません。(→ P.66 「明るさタブ」)

裏面の明るさを使用する(B)
裏面の明るさ(D):
☀
☀
128

裏面のコントラストを使用する(O)
裏面のコントラスト(T):
●
●
4

- 雑誌などの写真をスキャンするときに見えるモアレを除去したい。

「基本」タブにあるモアレ除去から「高速モアレ除去」または「高画質モアレ除去」を選択します。ただし、解像度の設定が300dpi以下の場合、「高速モアレ除去」は表示されません。(→ P.61 「モアレ除去」)

モアレ除去(O): 高速モアレ除去

● スキャンした画像を任意の角度で回転させたい。

「画像処理」タブの画像回転で回転角度（0度、90度、180度、270度）を指定します。（→ P.69 「画像回転」）



セットした原稿の向きと指定した角度によりスキャンした画像が以下のように回転します。

フィーダ 原稿：上向き				
画像回転（右回転）	0度	90度	180度	270度
出力画像				

● 原稿の文字にあわせて画像を回転させたい。

「画像処理」タブの「文字向検知」をチェックします。原稿内の文字の向きを検知し、文字の向きが正しくなるようにスキャンした画像が90度単位で回転します。



「文字向検知」をチェックすると、画像回転は使用できません。

● スキャンした画像を白黒反転させたい。（TWAIN ドライバのみ）

「画像処理」タブの「白黒反転」をチェックします。スキャンした画像が白黒反転されます。（→ P.69 「白黒反転」）



● 特定の色を読み取らないようにしたい。

「画像処理」タブのカラードロップアウトの設定で、ドロップアウトさせる色（読み飛ばす色）を指定すると、指定した色がスキャンされません。（→ P.70 「カラードロップアウト」）



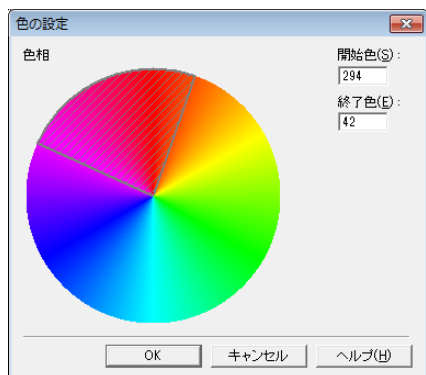
● 特定の色を強調したい。

「画像処理」タブのカラードロップアウトの設定で、強調させたい色を指定すると、指定した色が強調されます。（→ P.70 「カラードロップアウト」）



- 中間色を読み飛ばし / 強調したい。

「画像処理」タブのカラードロップアウトの設定で、カスタムカラーを指定すると、「色の設定」ダイアログボックスが表示されます。色の範囲を指定してドロップアウトまたは、色強調させることができます。(→ P.70 「カラードロップアウト」)



- 画像の輪郭をはっきりさせたい。

「画像処理」タブのエッジ強調の設定を調整します。(→ P.69 「エッジ強調」)



- 薄紙の裏面の文字などの写り込み（裏写り）や原稿の地色を除去したい。

「画像処理」タブの「裏写り / 地色除去」をチェックします。薄紙での裏写りや原稿の地色が除去されます。(→ P.70 「裏写り / 地色除去」)

裏写り / 地色除去(C)

- 画像の周りにできる黒い部分を削除したい。

「画像処理」タブの「黒枠消し」をチェックします。画像の周りにできる黒い部分が削除されます。(→ P.70 「黒枠消し」)

黒枠消し(B)

- バインダに綴じられていた原稿をスキャンしたときにできる穴の部分を削除したい。

「画像処理」タブの「バインダの穴を削除」をチェックします。原稿の穴の開いた黒い部分が削除されます。(→ P.70 「バインダの穴を削除」)

バインダの穴を削除(B)

プレスキャン

- スキャンする前に画像を確認したい。

基本設定ダイアログボックスの「プレスキャン」チェックボックスをチェックしてスキャンを行います。スキャンを実行すると、原稿を1枚スキャンしてプレスキャンパネルを表示します。

プレスキャン(N)

- プレスキャンパネルについて



プレスキャンパネルは、1枚目の原稿の画像で明るさとコントラストを確認/調整してからスキャンを行うためのものです。

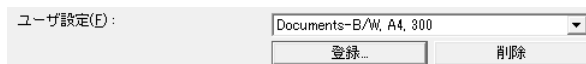
プレビューウィンドウに表示された画像は、拡大して確認することができます（プレビューウィンドウにマウスを移動すると、左ボタンで画像を拡大、右ボタンで画像を縮小することができます）。

明るさとコントラストの設定値を変更すると、プレビューウィンドウに表示された画像に反映されます。画像を確認した後、スタートボタンをクリックすると調整した設定でスキャンを続行します。ストップボタンをクリックするとスキャンを中止します。

設定の登録

- 設定したスキャン条件を次回も使用したい。

ユーザー設定に名前を付けて登録します。登録したユーザー設定の名前を選択すると、設定条件が反映されます。



第4章 付 録

1. 日常のお手入れ	92
本体の清掃	92
搬送路の清掃	92
読み取りガラスとローラの清掃	93
シェーディング板の清掃	96
2. ローラの取り外し / 取り付け	98
ローラの交換時期	98
カウンタのリセット	99
ピックアップローラの取り外し / 取り付け	102
フィードローラの取り外し / 取り付け	105
リタードローラの取り外し / 取り付け	108
3. 困ったときは	112
4. ソフトウェアのアンインストール	120
5. 仕様	123
本体仕様	123
交換部品	125
別売品	125
外形寸法図	126
保証とアフターサービス	127
サービス&サポートのご案内	128
保守サービスのご案内	129
アドビシステムズ社製品について	130

1. 日常のお手入れ

読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃を行ってください。

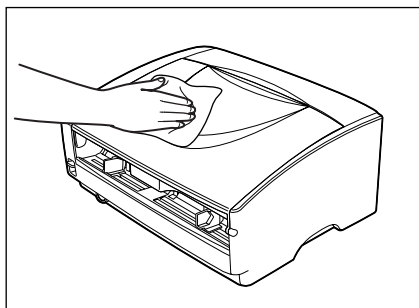


注意

- 本体および内部の清掃を行なうときは、安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてから清掃を行ってください。
- ローラおよびシェーディング板の清掃を行なうときは、電源をオンにしておく必要があります。電源が入った状態で作業するため感電等に十分注意して作業を行なってください。
- 清掃の際、スプレー容器は使用しないでください。精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤は決して使用しないでください。外装が変形、変色したり溶解する恐れがあります。また、火災や感電の原因になることもあります。

本体の清掃

本体表面は、水を染み込ませ固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布で拭きます。



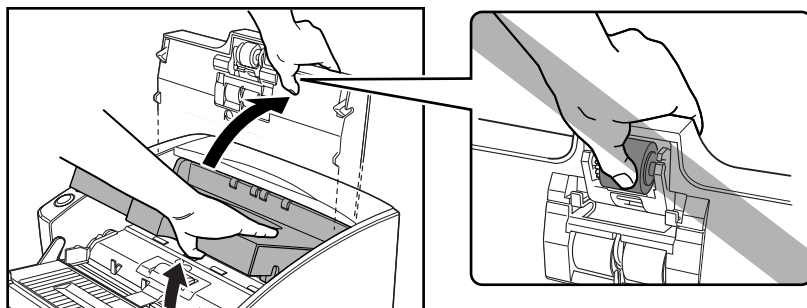
搬送路の清掃

給紙口や本体内部の搬送路にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。給紙口や本体内部にたまったほこりや紙粉はブローなどを使って定期的に取り除いてください。また、大量の原稿をスキャンしたときなどは、スキャナの電源を切った後に紙粉の除去を行なってください。

読み取りガラスとローラの清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にある読み取りガラスやローラが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

- 1 上部ユニットを図のようにつかみ、止まるところまでゆっくりと開きます。

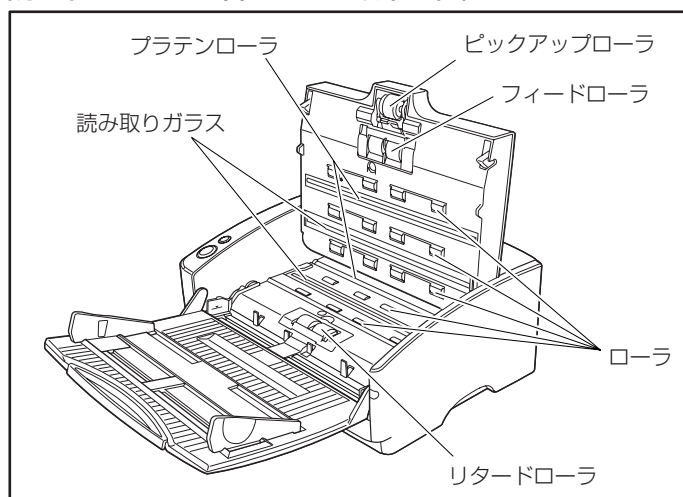


注意

上部ユニット中央の凸部には、ピックアップローラがあります。上部ユニットを開く際に凸部を持たないでください。ピックアップローラの変形や搬送エラーの原因になります。

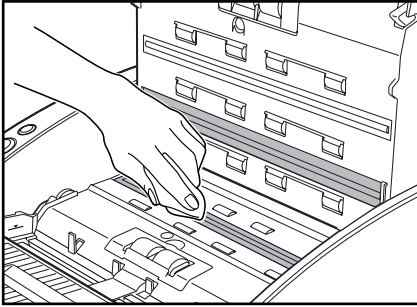
メモ

読み取りガラス、各ローラは以下の位置にあります。



2 ブロアなどを使って、本体内部にたまったほこりや 紙粉を取り除きます。

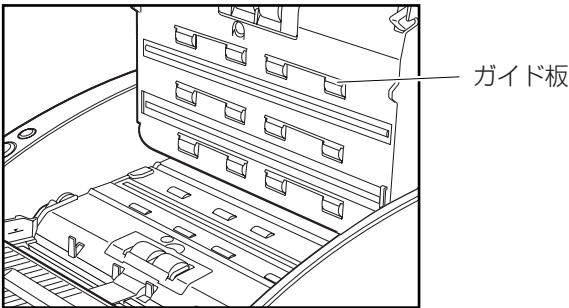
3 きれいな乾いた布で読み取りガラスの汚れを拭き取ります。
読み取りガラスは上下に2つあります、両方ともきれいに拭いてください。



お願い

読み取りガラスにキズがあるとスキャンした画像にすじが入ったり、搬送エラーの原因になります。読み取りガラスにキズがあるようなときは、お買い求めの販売店または、担当サービスに連絡し、読み取りガラスを交換してください。

4 ローラを回転させながら、水を含ませて固くしぼった布で、ローラの汚れを拭き取ります。

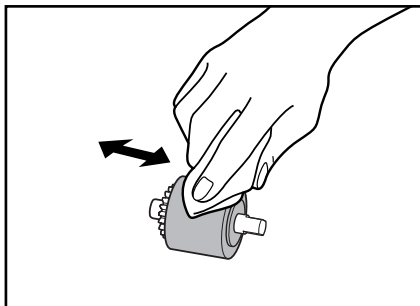


お願い

- ローラの清掃には、中性洗剤を使用しないでください。ローラに洗剤が残り搬送エラーの原因になります。
- ローラが回転しないようなときには、ローラを無理に回転させないで、見えている部分の汚れのみを拭き取ってください。ローラを無理に回転されると、搬送エラーの原因になることがあります。
- 上部ユニットのローラに付いているガイド板は折り曲げないように注意してください。

- 5 ▶ ピックアップローラ、フィードローラ、リタードローラを取り外します。
- ピックアップローラの取り外し (→P.102)
 - ピックアップフィードの取り外し (→P.105)
 - リタードローラの取り外し (→P.108)

- 6 ▶ 水を含ませて固くしぼった布で、取り外したローラの汚れを拭きとります。

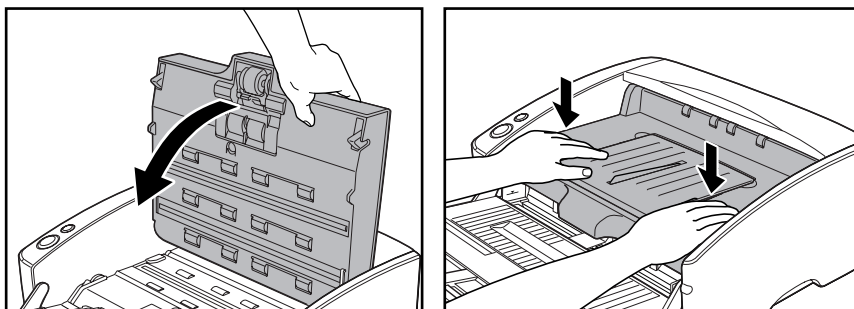


! 注意

ローラを清掃する際、中性洗剤は使用しないでください。洗剤がローラに残留し搬送エラーの原因になります。

- 7 ▶ 取り外したローラを取り付けます。
- ピックアップローラを取り付け (→P.103)
 - ピックアップフィードの取り付け (→P.106)
 - リタードローラを取り付け (→P.109)

- 8 ▶ 上部ユニットを静かに閉じます。そして、上部ユニットの両端を両手で押し、カチッと音がして確実に閉じたことを確認してください。



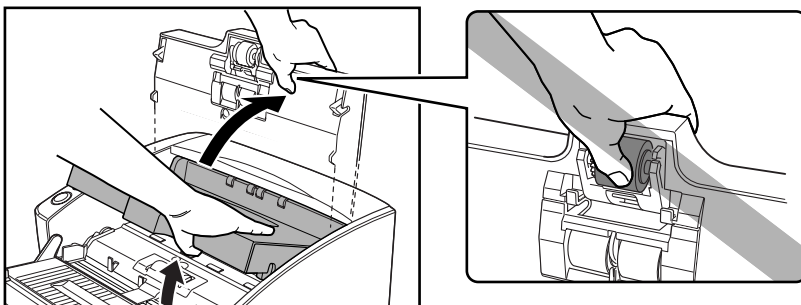
! お願い

上部ユニットを無理に閉じないでください。本体の故障の原因になります。

シェーディング板の清掃

シェーディング板は、プラテンローラの奥に収納されている白基準板です。シェーディング板が汚れると、読み取った画像の色がおかしくなったり、スジが入る原因になります。

- 1 電源をオンにします。
- 2 上部ユニットを図のようにつかみ、止まるまでゆっくりと開きます。



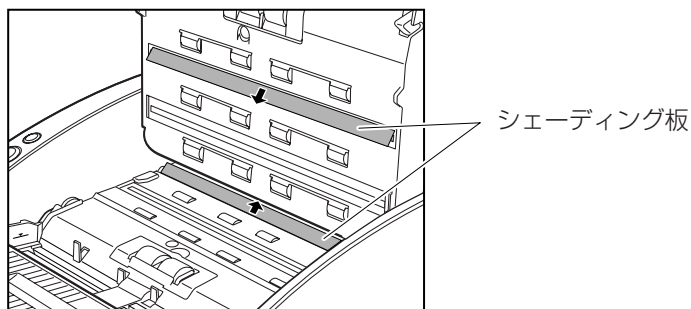
注意

上部ユニット中央の凸部には、ピックアップローラがあります。上部ユニットを開く際に凸部を持たないでください。ピックアップローラの変形や搬送エラーの原因になります。

お願い

上部ユニットは、必ず止まるまで開いてください。途中で止まっているとシェーディング板を出すことができません。

- 3 スタートキーを約2秒間押し続けます。
プラテンローラ（上下）の上にシェーディング板が出ます。



- 4 ▶ ローラを回転させながら、水を含ませて固くしぼった布で、ローラの汚れを拭きとります。

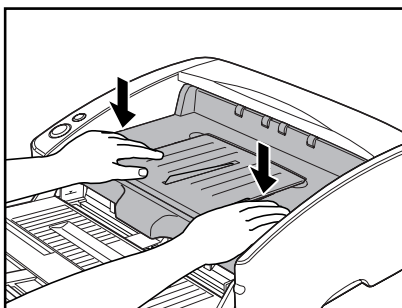
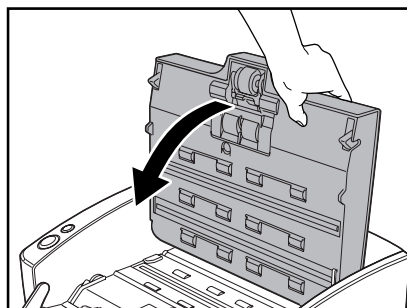


お願い

シェーディング板は、上下に二つありますので、両方ともきれいに拭いてください。

- 5 ▶ ストップキーを押します。
シェーディング板が収納されます。

- 6 ▶ 上部ユニットを静かに閉じます。そして、上部ユニットの両端を両手で押し、カチッと音がして確実に閉じたことを確認してください。



お願い

上部ユニットを無理に閉じないでください。本体の故障の原因になります。

2. ローラの取り外し / 取り付け

ピックアップローラ、フィードローラ、リタードローラの清掃および交換の際は、それぞれの手順にしたがってローラの取り外し、取り付けを行ってください。



お願い

搬送ローラは消耗品です。ローラが磨耗してくると紙詰まりや原稿が正しく給紙されないなどの不具合が起きやすくなります。このようなときは、交換用ローラキットをお買い求めの上、ピックアップローラ、フィードローラ、リタードローラの交換を行ってください。

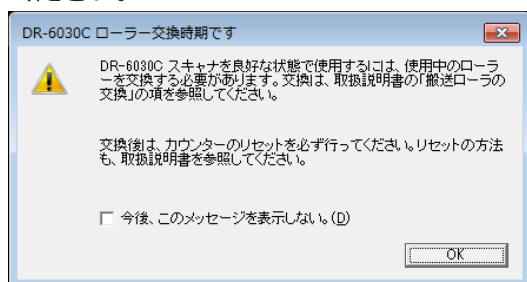


注意

- ピックアップローラの取り外し / 取り付けは、スキャナの電源をオンにした状態で行います。電源が入った状態で作業するため十分注意してください。
- ローラの取り外し、取り付けを行うときは、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

ローラの交換時期

使用中のローラの搬送枚数が25万枚を越えた場合、コンピュータを再起動したときにローラ交換のメッセージが表示されます。交換ローラキットをお買い求めになり、ピックアップローラ、フィードローラ、リタードローラの交換を行ってください。



お願い

- メッセージが表示される前でも、搬送の不具合が起きやすくなってきたらローラの磨耗を確認の上、ローラを交換してください。
- ローラを交換後、カウンタは必ずリセットしてください。(→ P.99 「カウンタのリセット」)

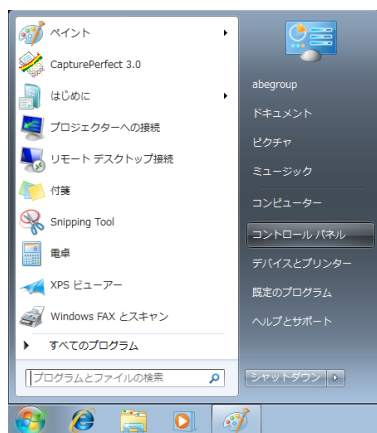
- 交換ローラキット（ピックアップローラ、リタードローラ、フィードローラ）についてはお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

カウンタのリセット

搬送ローラを交換後、以下の手順でカウンタをリセットしてください。

- 1 [Canon DR-6030C USB のプロパティ]（または、[CANON DR-6030C SCSI]）を以下の手順で開きます。

1. [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックしてコントロールパネルを開きます。



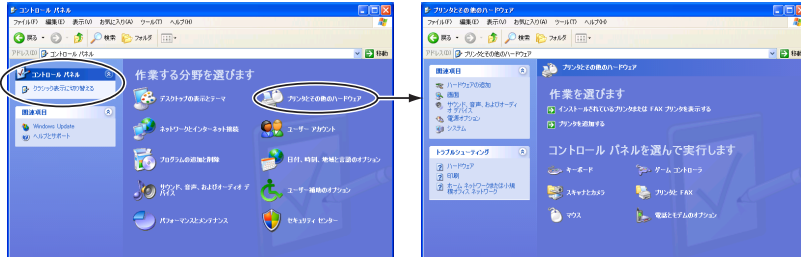
2. お使いのオペレーティングシステムにしたがって操作します。

■ Windows XP の場合

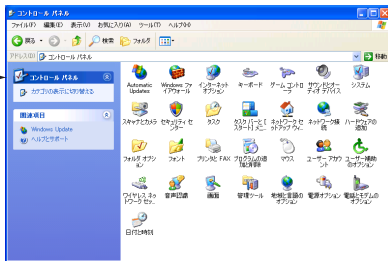
コントロールパネルをクラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で「プリンタとその他のハードウェア」を選択してください。

コントロールパネル (カテゴリ表示)

プリンタとその他のハードウェア



コントロールパネル (クラシック表示)



■ Windows Vista の場合

コントロールパネルをクラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で「ハードウェアとサウンド」を選択してください。

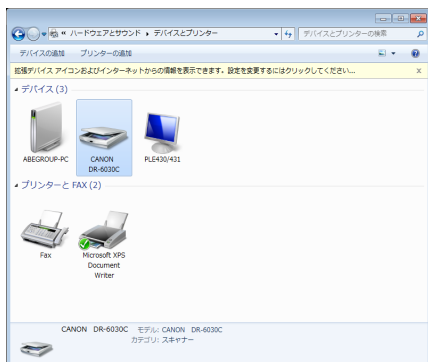
■ Windows 7 の場合

コントロールパネル右上の「表示方法」をクリックして、一覧から「大きいアイコン」または「小さいアイコン」を選択します。または、カテゴリで「ハードウェアとサウンド」を選択してください。

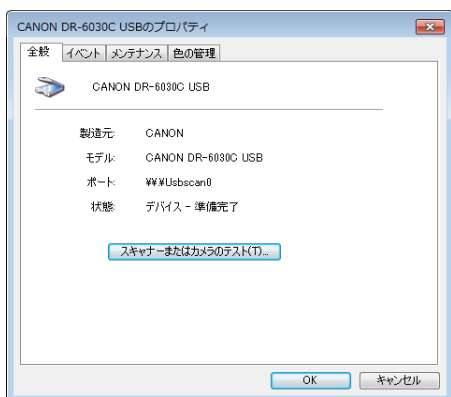
3. 「デバイスとプリンターの表示」(Windows XP および Windows Vista の場合は「スキャナとカメラ」) をクリックします。



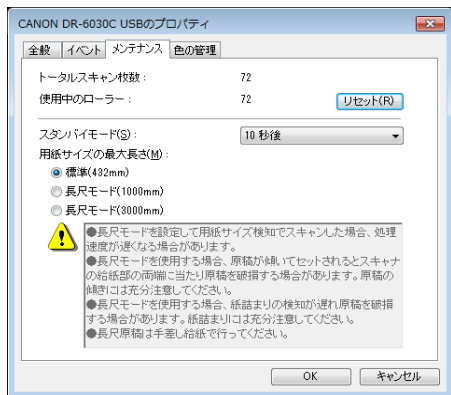
4. [CANON DR-6030C] (または、[CANON DR-6030C SCSI]) を選択して右クリックし、[スキャンプロパティ] (Windows XP および Windows Vista の場合は選択して [プロパティ]) をクリックします。



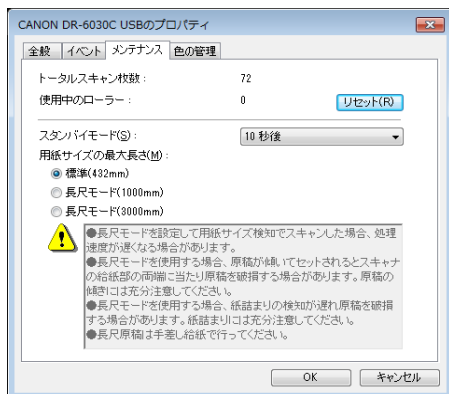
[Canon DR-6030C USB のプロパティ] (または、[CANON DR-6030C SCSI]) が表示されます。



- 2 [メンテナンス] タブをクリックします。



- 3 [リセット] ボタンをクリックし、「使用中のローラー」のカウンタが0にリセットされたことを確認します。



ピックアップローラの取り外し / 取り付け

ピックアップローラの取り外し / 取り付けは、スキャナの電源をオンにしたあと、以降の手順にしたがって行ってください。



注意

- ピックアップローラの取り外し / 取り付けは、スキャナの電源をオンにした状態で行います。電源が入った状態で作業するため十分注意してください。
- ローラの取り外し、取り付けを行うときは、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

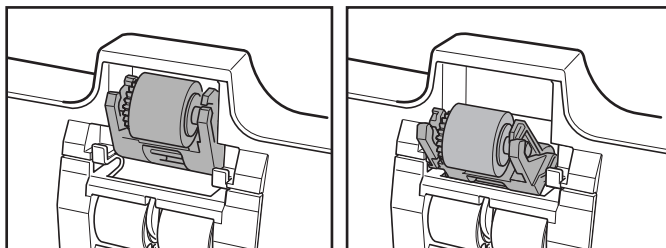
ピックアップローラの取り外し

- 1 電源をオンにします。



メモ

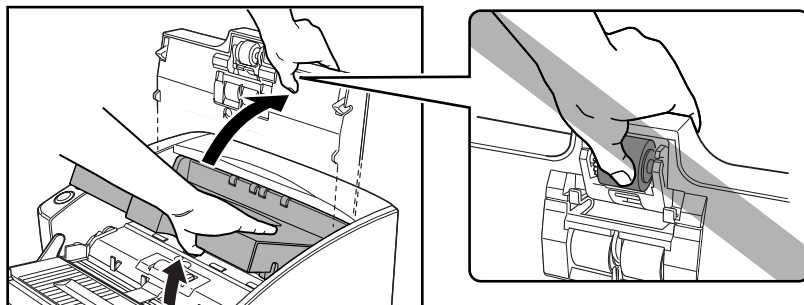
電源がオフの場合、ピックアップローラがロックされるため、上部ユニットを開いた時にピックアップローラが手前に倒れません。



電源オフ時

電源オン時

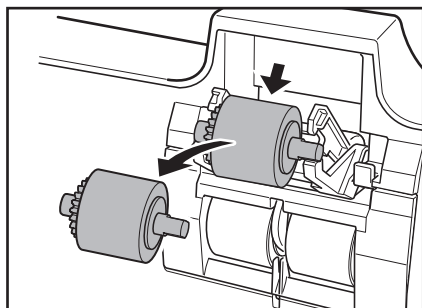
- 2 上部ユニットの端を図のようにつかみ、止まるまでゆっくりと開きます。



! 注意

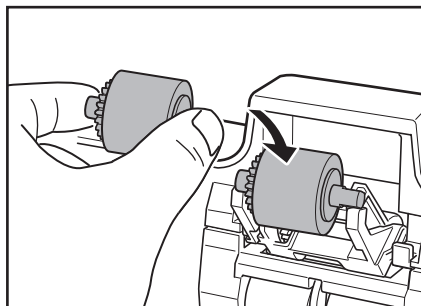
上部ユニット中央の凸部には、ピックアップローラがあります。上部ユニットを開く際に凸部を持たないでください。ピックアップローラの変形や搬送エラーの原因になります。

- 3 ピックアップローラを押し下げてフックを開き、ピックアップローラを取り外します。



ピックアップローラの取り付け

- 1 ピックアップローラの軸の両側を持ち、フックの上に持っていきます。



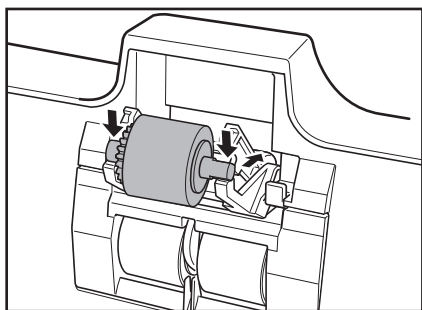


お願い

ピックアップローラの向きに注意してください。逆向きで無理に押し込むと本体の故障の原因になります。

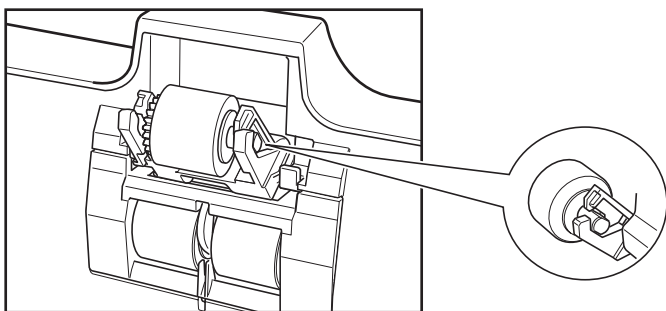
2

ピックアップローラの軸でフックを押し下げて、ピックアップローラを押し込みます。



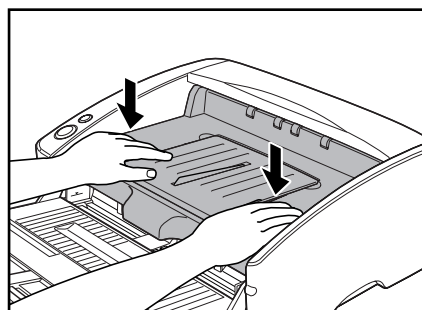
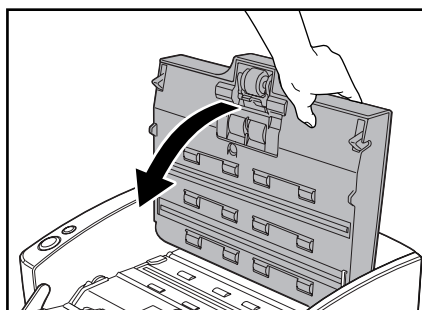
3

ピックアップローラの軸が正常にはさまれていることを確認します。



4

上部ユニットを静かに閉じます。そして、上部ユニットの両端を両手で押し、カチッと音がして確実に閉じたことを確認してください。



お願い

上部ユニットを無理に閉じないでください。本体の故障の原因になります。

フィードローラの取り外し / 取り付け

フィードローラの清掃および交換の際は、以降の手順にしたがってローラの取り外し、取り付けを行ってください。

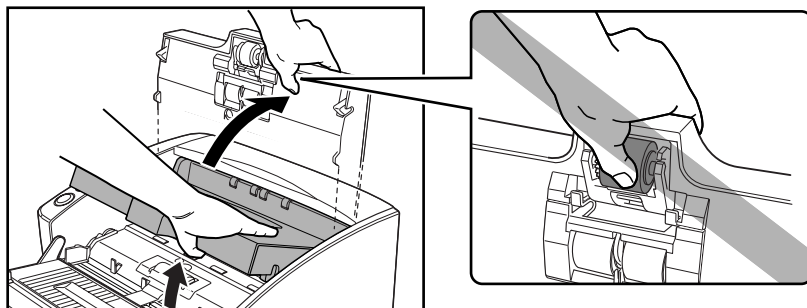


注意

ローラの取り外し、取り付けを行うときには、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

フィードローラの取り外し

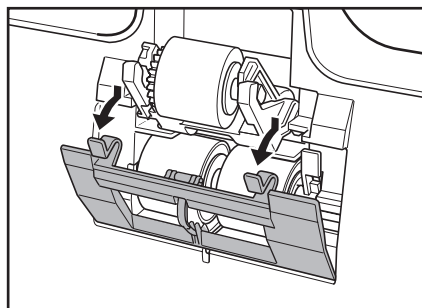
- 1▶ 上部ユニットを図のようにつかみ、止まるまでゆっくりと開きます。



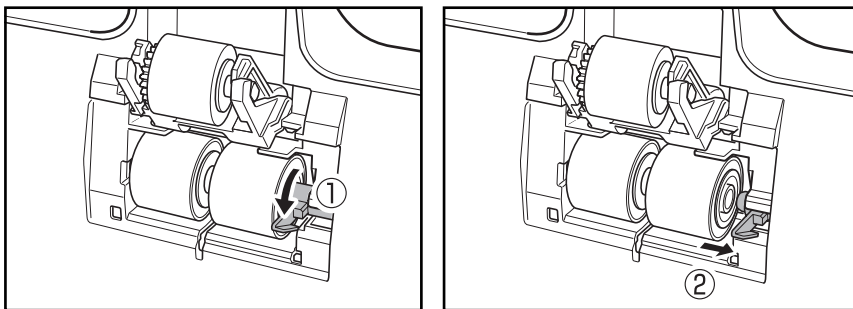
注意

上部ユニット中央の凸部には、ピックアップローラがあります。上部ユニットを持ち上げる際に凸部を持たないでください。ピックアップローラの変形や搬送エラーの原因になります。

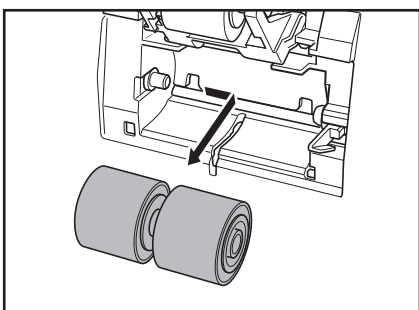
- 2▶ ローラカバーのフックを下げて、ローラカバーを手前に取り外します。



- 3** ローラ固定レバーを手前に倒し (①)、右方向へスライドさせます (②)。

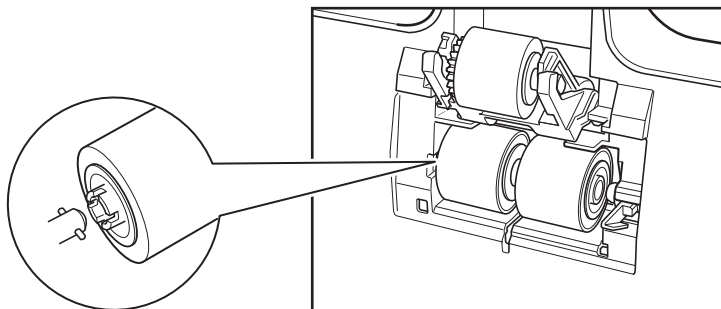


- 4** フィードローラを右に寄せて、取り外します。

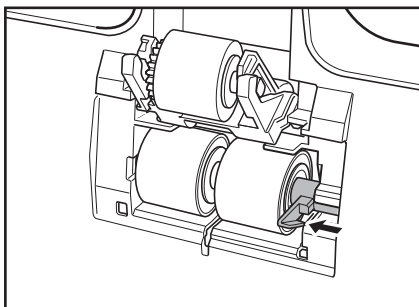


フィードローラの取り付け

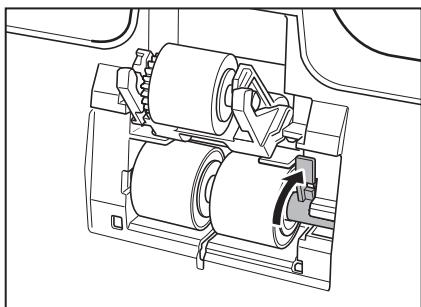
- 1** フィードローラをセットし、ローラの切り欠き部を本体側の軸に合わせます。



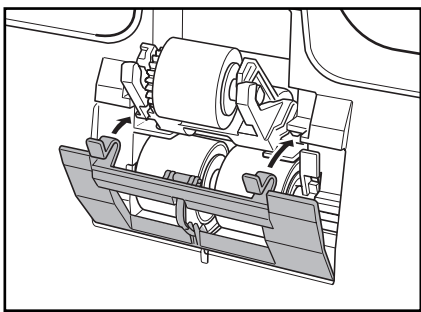
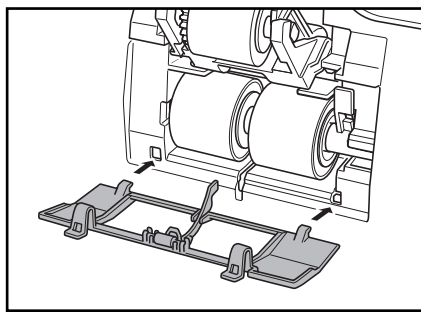
- 2** ローラ固定レバーを左にスライドさせ、フィードローラの穴にはめ込みます。



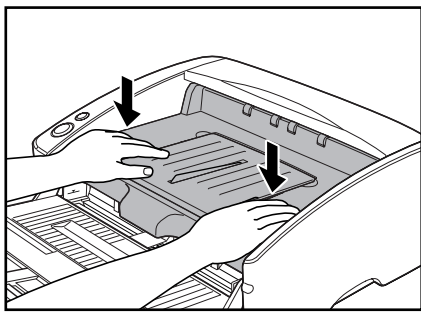
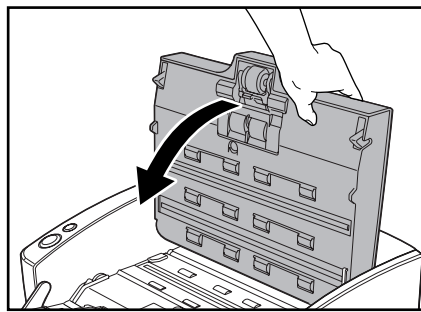
3 ▶ ローラ固定レバーを起こしてフィードローラを固定します。



4 ▶ ローラカバーを取り付けます。



5 ▶ 上部ユニットを静かに閉じます。そして、上部ユニットの両端を両手で押し、カチッと音がして確実に閉じたことを確認してください。



お願い

上部ユニットを無理に閉じないでください。本体の故障の原因になります。

リタードローラの取り外し / 取り付け

リタードローラの清掃および交換の際は、以降の手順にしたがってローラの取り外し、取り付けを行ってください。

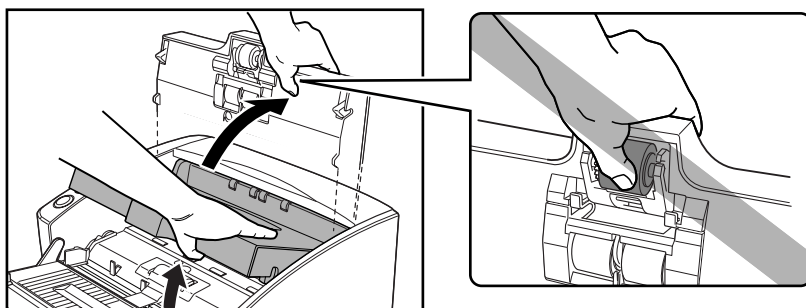


注意

ローラの取り外し、取り付けを行うときには、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

リタードローラの取り外し

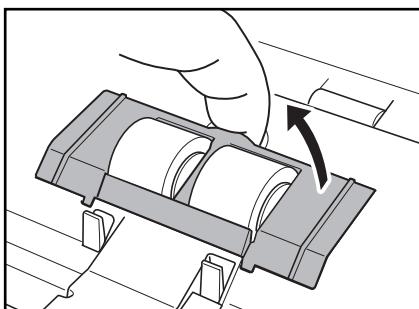
- 1 上部ユニットの端を図のようにつかみ、止まるところまでゆっくりと開きます。



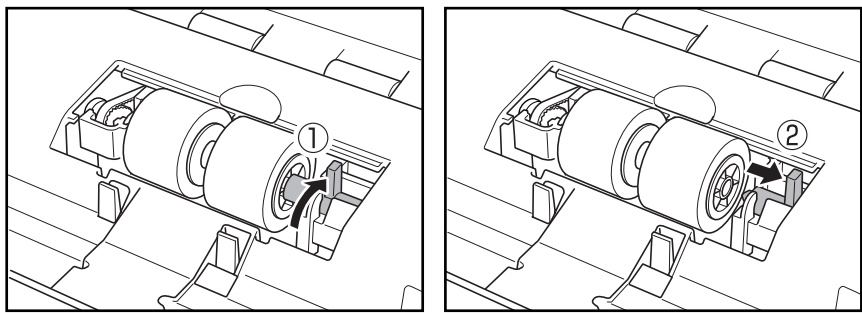
注意

上部ユニット中央の凸部には、ピックアップローラがあります。上部ユニットを開く際に凸部を持たないでください。ピックアップローラの変形や搬送エラーの原因になります。

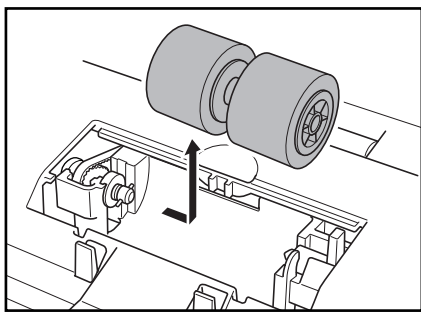
- 2 ローラカバーに指をかけて取り外します。



3 ▶ ローラ固定レバーを起こし (①)、右方向へスライドさせます (②)。

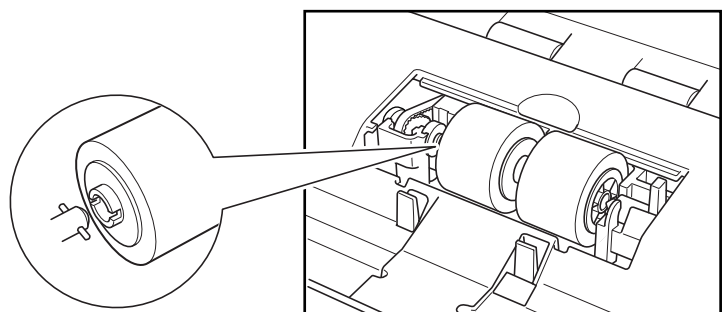


4 ▶ リタードローラを右に寄せて、取り外します。

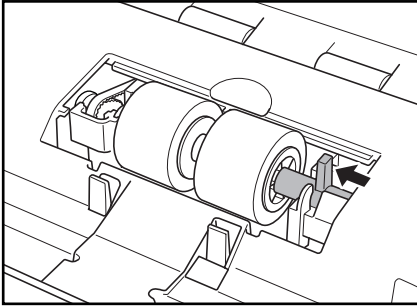


リタードローラの取り付け

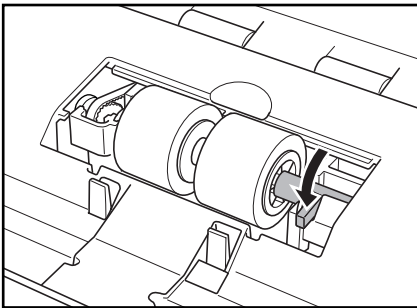
1 ▶ リタードローラをセットし、ローラの切り欠き部を本体の軸に合わせます。



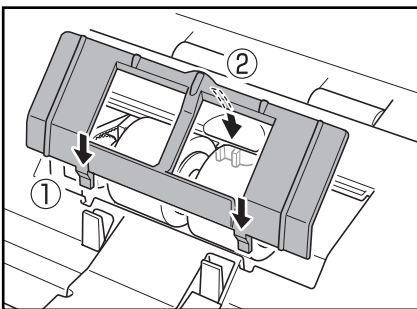
- 2 ▶ ローラ固定レバーを左にスライドさせ、リタードローラの穴にはめ込みます。



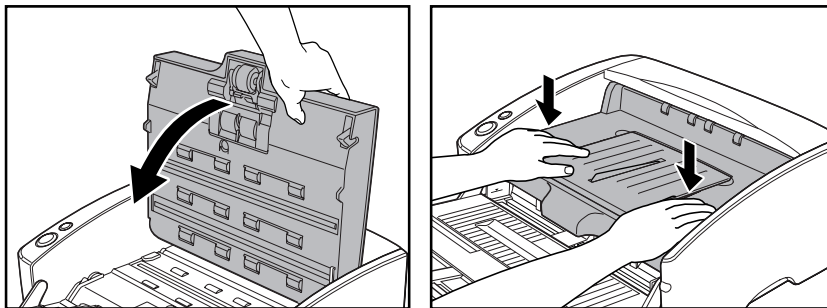
- 3 ▶ ローラ固定レバーを手前に倒してリタードローラを固定します。



- 4 ▶ ローラカバーを①→②の順に取り付けます。



- 5** 上部ユニットを静かに閉じます。そして、上部ユニットの両端を両手で押し、カチッと音がして確実に閉じたことを確認してください。



お願い

上部ユニットを無理に閉じないでください。本体の故障の原因になります。

3. 困ったときは

ここでは、スキャナ使用時に起こりうる問題とその対処方法を説明しています。遭遇したトラブルに該当する参照先をお読みください。

電源が入らない	P.112
スキャナが認識されない (USB 接続の場合)	P.112
スキャナが認識されない (SCSI 接続の場合)	P.113
スキャンされない	P.115
スキャン速度が遅い	P.115
正しく給紙されない	P.116
保存した画像ファイルが開けない	P.117
スキャン結果がおかしい	P.118

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または128ページに記載されているサービス窓口にご相談ください。

× 電源が入らない

スキャナの電源が入らない時は、次のことを確認してください。

- 電源コードは正しく接続されていますか？
- 電源コードはコンセントに差し込まれていますか？

電源コードの接続については、簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」を参照してください。

× スキャナが認識されない (USB 接続の場合)

コンピュータがスキャナを認識しないときは、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

原因	スキャナが正しく接続されていない。
対処方法	スキャナとコンピュータが、USB ケーブルで正しく接続されていることを確認してください。(→簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」)
原因	スキャナの電源がオフになっている。
対処方法	前述の「電源が入らない」を参照して、スキャナの電源がオンになっているか確認してください。スキャナの電源が入っていないときは、スキャナの電源をオンにしてください。

原因	USB インタフェースがスキャナに対応していない。
対処方法	本製品は、すべてのUSB インタフェースでの動作を保証していません。詳細については、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。(→P.14「動作環境の確認」)
原因	USB ケーブルがスキャナに対応していない。
対処方法	同梱のUSB ケーブルをご使用ください。
原因	USB HUB がスキャナに対応していない。
対処方法	USB HUB を取り外してご使用ください。

× スキャナが認識されない (SCSI 接続の場合)

コンピュータがスキャナを認識しないときは、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

原因	スキャナが正しく接続されていない。
対処方法	スキャナと、コンピュータが、SCSI ケーブルで正しく接続されていることを確認してください。(→簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」)
原因	SCSI カードがコンピュータに正しく取り付けられていない。
対処方法	SCSI カードおよびコンピュータの説明書を参照して、SCSI カードをコンピュータに正しく取り付けてください。 また、使用しているオペレーティングシステムに応じて次のことを確認してください。 Windows XP [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]で「SCSI コントローラ」に「×」や「！」が表示されていないか確認してください。表示されているときは、SCSI カードの取扱説明書を参照して、SCSI カードの設定をし直してください。 Windows Vista [スタート]-[コントロールパネル]-[システムとメンテナンス]-[システム]-[デバイスマネージャ]で「SCSI コントローラ」に「×」や「！」が表示されていないか確認してください。表示されているときは、SCSI カードの取扱説明書を参照して、SCSI カードの設定をし直してください。

Windows 7

[スタート]-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[デバイススマネージャー]で「SCSI コントローラ」に「×」や「！」が表示されていないか確認してください。表示されているときは、SCSI カードの取扱説明書を参照して、SCSI カードの設定をし直してください。

原因	他の SCSI 機器と SCSI ID が重複している。
対処方法	接続されているすべての SCSI 機器の SCSI ID を確認し、重複しないように設定し直してください。(→簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」)
原因	本機に接続されている他の SCSI 機器のターミネータが正しく設定されていない。
対処方法	デジチェーンの間に接続する SCSI 機器のターミネータを無効にしてください。(→簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」)
原因	他の SCSI 機器とのデジチェーン接続による不具合。
対処方法	デジチェーン接続を中止してください。(→簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」)
原因	スキャナの電源をコンピュータよりも後からオンにした。
対処方法	コンピュータとスキャナの電源をいったんオフにし、スキャナの電源をオンにしてからコンピュータの電源をオンにしてください。(→簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」)
原因	スキャナの電源がオフになっている。
対処方法	スキャナの電源が入っていないときは、コンピュータの電源をいったんオフにし、スキャナの電源をオンしてからコンピュータの電源をオンにしてください。(→簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」)
原因	SCSI カードがスキャナに対応していない。
対処方法	推奨の SCSI カードをご使用ください。(→P.14「動作環境の確認」)

× スキャンされない

読み取りの動作を行ってもスキャンされないときは、次のことを確認してください。

- アプリケーションソフトウェアは正しくインストールされていますか？ また、アプリケーションソフトウェアでの設定は正しく行われていますか？
- コンピュータのシステムに異常はありませんか？



お願い

- 読み取りのための設定をしても正常に読み取りが行われない場合は、スキャナドライバまたはアプリケーションソフトウェアが正常に動作していない可能性があります。スキャナドライバまたはアプリケーションソフトウェアを再インストールしてください。
- システムエラーなどによりスキャナがまったく動作しなくなったときは、スキャナの電源をオフにし、10秒以上待ってからスキャナの電源を入れてください。その後、エラーが続けて発生するようなときは、コンピュータを再起動してください。
- 読み取りを続けるときは、最後の原稿が正しく読み取られていることを確認してください。

× スキャン速度が遅い

スキャン速度が遅いときは、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

原因	他のアプリケーションが起動している。
対処方法	起動中の他のアプリケーションを終了させてください。
原因	ウイルス対策アプリケーションなど常駐しているアプリケーションによりメモリが不足している。
対処方法	常駐しているアプリケーションを終了させてください。
原因	ハードディスクの空き容量が少ないため、TEMPフォルダに一時ファイルを作れない。
対処方法	ハードディスクのファイルを整理してハードディスクの空き容量を増やしてください。

原因	お使いの USB ポートが Hi-Speed USB2.0 に対応していない。
対処方法	コンピュータに標準搭載されている USB ポートが Hi-Speed USB2.0 に対応していない場合、スキャン速度が低下します。Hi-Speed USB2.0 に対応した USB を標準搭載しているコンピュータでお使いください。(→ P.14 「動作環境の確認」)
原因	USB ケーブルが Hi-Speed USB2.0 に対応していない。
対処方法	同梱の USB ケーブルをご使用ください。
原因	USB HUB が Hi-Speed USB2.0 に対応していない。
対処方法	USB HUB を取り外してご使用ください。

× 正しく給紙されない

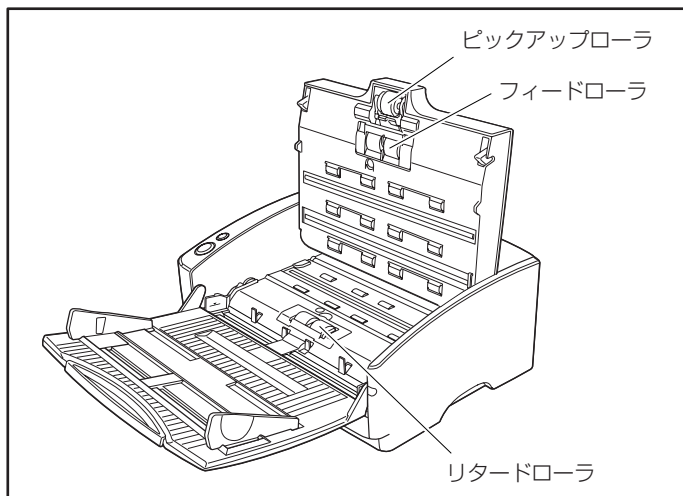
原稿が正しく給紙されないときは、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

原因	静電気などが原因で原稿が密着し、スキャナで正常に分離できない。
対処方法	原稿をセットする前に、原稿の束をよくさばいてからスキャナにセットしてください。(→ P.25 「原稿のセット」)
原因	スキャナで読み取ることができないサイズ・紙厚・紙質の原稿を読み取ろうとした。
対処方法	原稿のサイズ・紙厚・紙質を確認してください。原稿についての注意事項は、P.18 「原稿について」を参照してください。
原因	スキャナ内部の搬送ローラが汚れていたり摩耗している。
対処方法	スキャナ内部の搬送ローラを清掃してください。 (→ P.93 「読み取りガラスとローラの清掃」)



お願い

ピックアップローラ、フィードローラ、リタードローラは消耗品です。ローラを清掃しても改善が見られないようなときは、ピックアップローラ、フィードローラ、リタードローラの交換が必要です。お買い求めの販売店に連絡し、交換ローラキットをお買い求めのうえ、ピックアップローラ、フィードローラ、リタードローラの交換を行なってください。



× 保存した画像ファイルが開かない

CapturePerfect で保存した画像ファイルが他のアプリケーションで開けない場合には、以下の原因が考えられます。状況を確認し、対応する処置をしてください。

現象 CapturePerfect で保存したマルチページ TIFF ファイルが他のアプリケーションで開けない。

原因 開こうとしたアプリケーションがマルチページ TIFF ファイルに対応していません。

対処方法 マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションで開けてください。

現象 CapturePerfect で保存した TIFF ファイルが他のアプリケーションで開けない。

原因 CapturePerfect で保存した TIFF ファイルが圧縮されている場合、開こうとしたアプリケーションが、CapturePerfect で保存した圧縮形式に対応していません。

対処方法 画像ファイルの圧縮形式を [なし] に設定して CapturePerfect で保存し直してください。

× スキャン結果がおかしい

読み取った画像が鮮明でなかったり、画像に筋や汚れが付いているなど、スキャン結果の画像に問題があるときは、ISIS/TWAIN ドライバの設定が正しくなかったり、スキャナ内部の読み取りユニットに問題があることが原因として考えられます。また、ISIS/TWAIN ドライバが、正常にインストールされていなかったり、使用しているアプリケーションが ISIS/TWAIN ドライバの機能に対応していないこともスキャン結果がおかしくなる原因となります。

現象	スキャンした画像が濃い（または薄い）
原因	「明るさ」の設定が適正な値になっていません。
対処方法	画像が濃い場合には「明るさ」の設定値を高く、画像が薄い場合には「明るさ」の設定値を低く調整してください。（→P.66「明るさ」）

現象	原稿の裏面の文字が画像に写り込む。（裏写り）
原因	「明るさ」の設定値が低過ぎる。または、紙厚が薄い。
対処方法	「明るさ」の設定を高くしてください（→P.66「明るさ」）

現象	両面スキャンができない。
原因	「読み取り面」の設定が「片面」になっている。
対処方法	「読み取り面」の設定を「両面」にしてください。

現象	スキャンした原稿の周りに黒い枠ができる。
原因	設定した用紙サイズより小さい原稿をスキャンした。または、セットした原稿の位置がずれている。
対処方法	「用紙サイズ」の設定を「自動検知」に設定する。または、「黒枠消し」の設定をオンにします。（→P.64「用紙サイズ」、P.70「黒枠消し」）

現象	スキャンした画像がななめになる。
原因	原稿が斜めに搬送されている。（斜行）
対処方法	「斜行補正」をオンにします。（→P.61「斜行補正」）

現象	画像にスジや汚れが入る。
原因	読み取りガラスやフィーダ内部のローラが汚れています。
対処方法	読み取りガラスおよびローラを清掃してください。 （→P.92「日常のお手入れ」） 読み取りガラスにキズが付いている場合にも画像にスジが入る原因になります。このようなときは、お買い求めの販売店に連絡してください。

現象	原稿によって画像が異常になる。
原因	原稿の端まで文字や写真などがある原稿をスキャンするときに、自動サイズ検知や、斜行補正、黒枠消しなどの機能を使用した。 (原稿の端を正確に処理できない)
対処方法	原稿の端まで文字や写真などがある原稿の場合は、自動サイズ検知や、斜行補正、黒枠消しなどの機能を無効にしてスキャンしてください。

現象	アプリケーションによって画像が異常になる。
原因	アプリケーションが対応していない機能を使用した。
対処方法	アプリケーションによっては、用紙サイズの自動検知などには対応していないことがあります。このようなアプリケーションで読み取りを行った場合、異常なスキャン結果になることがあります。用紙サイズの自動検知などを行わずにスキャンしてみてください。

現象	白黒原稿がカラー画像として保存される。 カラー原稿が白黒画像として保存される。
原因	カラー白黒検知の設定が、適正な値になっていない。
対処方法	カラー白黒検知の設定画面で「色の感度」や「カラー画素の割合」を調整してください。白黒と判定させたい場合は値を小さく、カラーと判定させたい場合は値を大きく調整してください。

4. ソフトウェアのアンインストール

ISIS/TWAIN ドライバ、CapturePerfect が正常に動作しないような時は、次の手順でソフトウェアをアンインストールしてください。そして、DR-6030C セットアップディスクから、ソフトウェアを再インストールしてください。（→簡単スタートガイド「Step.3 ソフトウェアのインストール」）

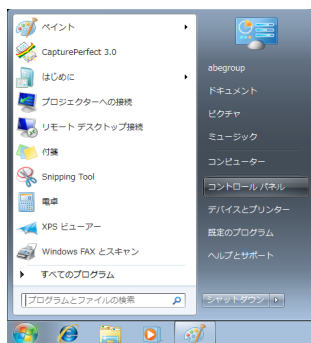


お願い

Windows にログオンするときは、必ず Administrator 権限でログオンしてください。



1 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。



[コントロールパネル] ウィンドウが表示されます。



2 [プログラムのアンインストール] をクリックします。

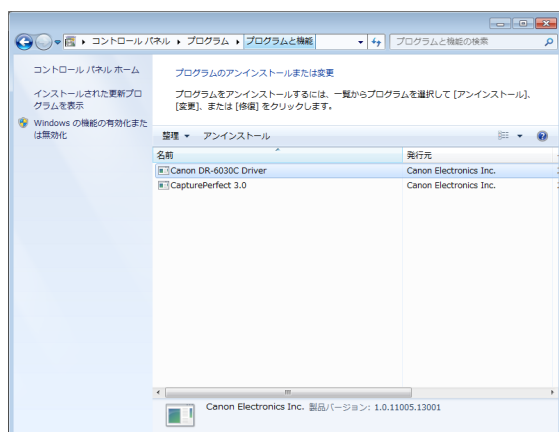


メモ

Windows XP の場合は [プログラムの追加と削除] をクリックします。



[プログラムのアンインストールまたは変更]画面が表示されます。



メモ

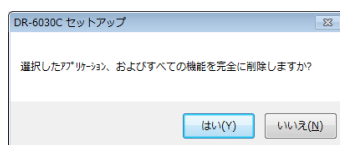
Windows XP の場合は [プログラムの追加と削除] ダイアログボックスが表示されます。



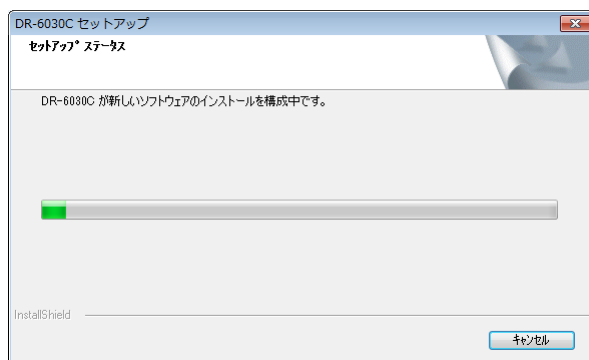
3 プログラムの一覧から、削除するアプリケーション（[Canon DR-6030C Driver] または [CapturePerfect 3.0]）を選択し、[アンインストール] ボタン（Windows XP の場合は [削除] ボタン）をクリックします。



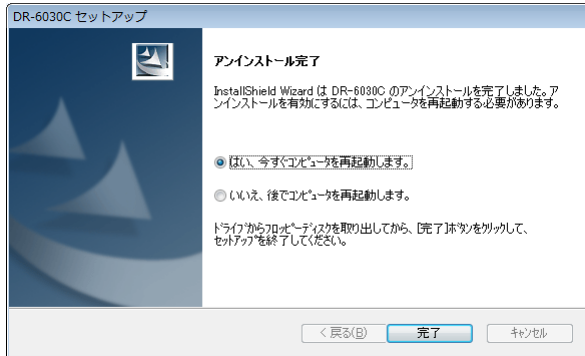
4 ファイル削除の確認画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。



アンインストールを行ないます。



- 5 ▶ アンインストールが完了したら[完了]ボタンをクリックし、プログラムの削除を終了させます。



5. 仕様

本体仕様

形式	卓上型シートスルーキャナ
読み取り原稿サイズ	
幅：	53 mm - 300 mm
長さ：	70 mm - 432 mm
	70 mm - 3000 mm (長尺モードの場合)
厚さ：Uターンパスの場合	
(分離給紙)	52g/m ² - 128g/m ² (0.06 mm - 0.15 mm)
(非分離給紙)	42g/m ² - 157g/m ² (0.05 mm - 0.21 mm)
厚さ：ストレートパスの場合	
(分離給紙)	52g/m ² - 157g/m ² (0.06 mm - 0.15 mm)
(非分離給紙)	42g/m ² - 546g/m ² (0.05 mm - 0.66 mm)
ISO/JIS 規格準拠カード対応	*エンボス付きカードを除く
サイズ	53.9 mm x 85.5 mm、
カード厚	0.76 mm ± 0.08 mm
給紙方法	自動 / 手差し
読み取りセンサ	コンタクトイメージセンサ
光源	LED
読み取り面	片面 / 両面
読み取りモード	カラー白黒検知、白黒、 アドバンスドテキストエンハンスメント、 アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ、 高速テキストエンハンスメント、誤差拡散、 256階調グレースケール、24ビットカラー
読み取り解像度 (主走査×副走査)	100×100dpi / 150×150dpi / 200×200dpi 240×240dpi / 300×300dpi / 400×400dpi 600×600dpi
読み取り速度 (A4サイズの原稿の読み取り時)	
グレースケール	片面 200×200dpi 60枚/分 300×300dpi 60枚/分 600×600dpi 18枚/分 両面 200×200dpi 120面/分 300×300dpi 120面/分 600×600dpi 20面/分

24ビットカラー	片面	200 × 200dpi	60 枚 / 分
		300 × 300dpi	60 枚 / 分
		600 × 600dpi	14 枚 / 分
	両面	200 × 200dpi	120 面 / 分
		300 × 300dpi	80 面 / 分
		600 × 600dpi	23 面 / 分
自動給紙積載量	最大 10mm *カール量含む、80g/m ² 紙で約 100 枚		
インタフェース	SCSI Ⅲ / Hi-Speed USB 2.0 / Full Speed USB		
その他の機能	重送検知、斜行検知、長尺モード		
寸法(トレイが閉じている)	398.4 (幅) x 312 (奥行き) x 191.4 (高さ) mm		
寸法(トレイが開いている)	398.4 (幅) x 668 (奥行き) x 194.0 (高さ) mm		
質量	約 10.2kg		
電源	AC100V(50/60Hz)		
消費電力	動作時	: 46.5W	
	スリープモード時	: 3.7W	
騒音	61dB 以下		
使用環境	温度	: 10°C-32.5°C	
	湿度	: 20%-80%RH	

- 上記の機能はお使いのアプリケーションソフトウェアで対応している場合に使用できます。
- お使いのコンピュータの性能やソフトウェアによっては実現しない場合があります。

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

交換部品

交換ローラキット (商品コード：0434B002)

搬送ローラ (ピックアップローラ、フィードローラ、リタードローラ) の交換キットです。

- ローラの交換については、P.98「ローラの取り外し / 取り付け」を参照してください。
- 交換部品についての詳細については、お買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

別売品

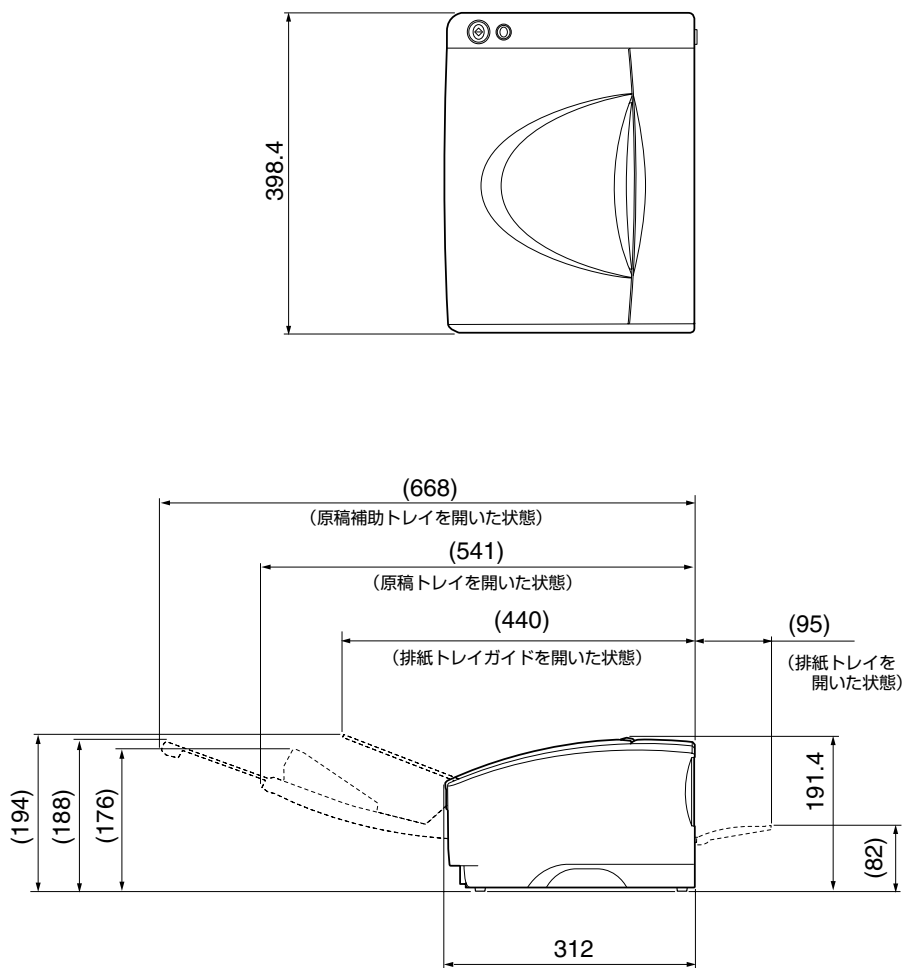
バーコードモジュール (商品コード：1922B001)

ISIS/TWAIN ドライバでバーコードを認識させるためのアドオンソフトです。

- オプション品についての詳細については、お買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

外形寸法図

単位：mm



保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または次ページに記載されているサービス窓口へご相談ください。

■修理を依頼される前に

112ページの「困ったときは」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

サービス&サポートのご案内

● お客様相談センター

取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター

全国共通電話番号



050-555-90072

受付時間： <平日> 9:00～12:00 / 13:00～17:00

(土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませさせていただきます。)

- ※ 本製品にバンドルされているアドビ製品についてのお問い合わせについては、130ページ「アドビシステムズ社製品について」をご参照ください。
- ※ 上記番号は050から始まるIP電話（株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー（NTT-ME）のXePhion Call Direct）を利用しています。
NTTの固定電話（一般回線）から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金（10.4円／3分）でご利用になれます。
- ※ 携帯電話・PHSをご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部のPHSからはご利用いただけませんのでご了承ください。
- ※ お客さまが050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。IP電話からのご利用は、IP電話事業者間の接続状況によります。NTT-MEのXePhion Call Directの上記番号との通話（接続）可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。IP電話からつながらない場合の事象（話中音、アナウンス、ブザー音など）はプロバイダーによって異なります。
また、IP電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- ※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、043-211-9156におかけくださいますようお願いいたします。
- ※ お客様相談センターの詳細につきましてはキャノンホームページ (<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>) をご参照ください。

● 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキャノン製品取扱店およびキャノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

● キャノンホームページ <http://canon.jp/>

- ※ <http://canon.jp/support> では、製品情報、最新ドライバのダウンロード、QA検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。
- ※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- ※ 通信料はお客様のご負担になります。

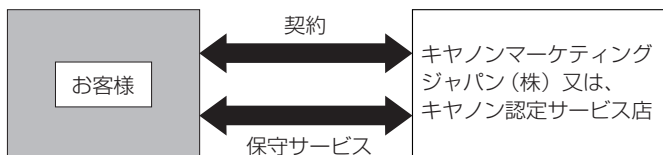
保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはドキュメントスキャナをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行ないます。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



■ 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキヤノンの保守契約制度です。

キヤノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

※天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。

※消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

購入時契約のおすすめ

ご愛用品を安心してお使いいただくために、保守契約に加入をお勧めいたします。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いします。

アドビシステムズ社製品について

この製品には「Adobe Acrobat」がバンドルされています。「Adobe Acrobat」のインストールおよびサポートについては、以下をご参照ください。

■ インストール

Adobe Acrobat DVD を DVD-ROM ドライブに挿入し、Adobe Acrobat をインストールして使用します。DVD から Acrobat ソフトウェアを直接起動し、実行することはできません。

画面に表示される指示に従ってインストールします。詳細については DVD に収納されている **How To Install** ファイルをご覧ください。なお、インストールの際には Adobe Acrobat DVD が収納されているソフトケースに記載されているシリアル番号が必要になりますので、シリアル番号の控えを手元に保管、管理していただくようお願い致します。

■ アドビ製品のサポートについて

本製品にバンドルされておりますアドビ製品 Adobe® Acrobat® 製品のサポートについては、オンラインで提供されている無償のサービス&サポートデータベースやアドビユーザフォーラム、お電話での有償サポートをご利用いただけます。

サポートの内容について

1. インターネット（アドビホームページ）からの技術情報提供

営業時間	年中無休（メンテナンス期間を除く）
サポート料金	無料
サポート内容	以下の Web サイトよりサポート、技術情報や FAQ の検索ができます。 http://www.adobe.com/jp/support/acrobat/

2. 製品テクニカルサポート

アドビ製品 Adobe® Acrobat® についての技術的なご質問に関するサポートは、有償サポートを通してのみご利用いただけます。有償テクニカルサポートプログラムのお申込み、契約内容については以下の Web ページをご覧ください。

Adobe- サポートプログラム
<http://www.adobe.com/jp/support/programs/>

最新のサポート情報につきましては、以下のサポートページをご覧ください。

<http://www.adobe.com/jp/support/>

■ アドビ製品のユーザ登録について

アドビ製品の情報をいち早く入手するために、ユーザ登録をお勧めします。
シリアル番号は、お客様のライセンスを特定する個別の番号で非常に重要なものです。
ユーザ登録は以下の方法で行うことができます。

1. 製品インストール時に表示されるユーザ登録画面から登録できます。(インターネット環境が必要です)
2. アドビのホームページからオンライン登録します。

<http://www.adobe.com/jp/register>

アドビのプライバシーポリシーについては、
<http://www.adobe.com/jp/misc/privacy.html>
をご覧ください。

■ ライセンス認証について

Adobe 製品を使用するには、正規にご購入いただいたお客様の使用権利を守るため、「ライセンス認証」という簡単な手続きが必要です。2008年6月以降にリリースされたバージョン (Adobe® Acrobat® 9を含む) では、インターネット接続が検出されたときに、ライセンス認証手続きを促すメッセージが自動的に表示されます。その指示にしたがえば、ライセンス情報がアドビに送信され、検証が行われます。

詳しくは、下記の Web ページをご覧ください。

製品ライセンス認証センター
<http://www.adobe.com/jp/activation/>

その他：

上記情報は、アドビの都合により変更される場合がありますので、適宜、アドビのホームページによりご確認くださいませようお願い申し上げます。

(本ドキュメントの内容は2008年1月現在のものです)

索引

C

CapturePerfect3.0.....	16, 30
スタートキーによる起動.....	36
操作手順.....	32

D

DR-6030C Driver.....	16
----------------------	----

I

ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス	56
「明るさ」タブ.....	66
「画像処理」タブ.....	69
「基本」タブ.....	57
「その他」タブ.....	71

U

Uターンパス.....	21
-------------	----

ア行

アドビシステムズ社製品について.....	130
アンインストール.....	120
イベントの設定.....	37

カ行

カウンタ.....	99
各部の名称.....	12
紙詰まり.....	45
簡単スタートガイド.....	1
給紙切替レバー.....	25, 28
給紙トレイ.....	20
原稿	
原稿について.....	18
原稿のセット.....	25
原稿ガイド.....	26
積載制限マーク.....	27
原稿ガイド2.....	26
原稿排紙補助ガイド.....	23
困ったときは.....	112
こんなときは.....	83

サ行

サービス.....	128
サポート.....	128
シェーディング板.....	96
斜行検知機能.....	48
重送検知機能.....	48
仕様	
外形寸法図.....	126
交換部品.....	125
別売品.....	125
本体仕様.....	123

スキャナ

移動.....	7
準備.....	20
設置場所.....	6
スキャン方法.....	30
スタートキー.....	96
スタンバイモード.....	52
ストレートパス.....	22
清掃	
搬送路.....	92
本体.....	92
読み取りガラス.....	93
ローラ.....	93
セットアップディスク.....	16
その他の機能.....	48

タ行

長尺モード.....	18, 49
電源について.....	7
動作環境.....	14
特長.....	10

ナ行

日常の取り扱い.....	8
--------------	---

ハ行

廃棄.....	9
排紙トレイ.....	21
排紙トレイ2.....	22
はじめに.....	1
パッチコード	
使い方.....	43
パッチコードシート.....	42
パッチコードパターン.....	43
ピックアップローラ.....	29, 93
非分離給紙.....	28
分離給紙.....	25
保守サービス	
案内.....	129
キヤノン保守契約制度.....	129
保証とアフターサービス.....	127

マ行

マニュアルの構成.....	1
マルチストリーム機能.....	53

ラ行

ローラ.....	98
ローラ交換	
交換時期.....	98
ピックアップローラ.....	102
フィードローラ.....	105
リタードローラ.....	108

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 **CANON S TOWER**